Form No. 3406-999 Rev A

バルブコンバージョンキット

Multi Pro® 5800-D ターフスプレーヤ

モデル番号132-4276

取り付け要領

このキットは、ターフ用液剤散布車のための散布コントロールバルブおよびその関連機器を新しいものにするためのキットです。

弊社のウェブサイトwww.Toro.comで、製品の安全な取扱いや運転に関する講習資料、アクセサリ情報の閲覧、代理店についての情報閲覧、お買い上げ製品の登録などを行っていただくことができます。

⚠ 警告

カリフォルニア州
第65号決議による警告
米国カリフォルニア州では、この製品に、ガンや先天性異常などの原因となる化学物質が含まれているとされております。
米国カリフォルニア州では、この製品を使用した場合、ガンや先天性異常などを誘発する物質に触れる可能性があるとされております。

安全について

⚠ 警告

この散布装置で取り扱う農薬は人体や動植物、土壌などに危険を及ぼす可能性があるので取り扱いには十分注意すること。

- **自分自身の安全を守るために、農薬を取り扱う前に、容器に張ってあるラベルや安全データシートMSDSなど取り扱い上の注意をよく読んで理解し、薬剤メーカーの指示を守る。たとえば、保護めがねゴグル、手袋など、薬剤との接触を防止し危険から身を守ることのできる適切な保護対策を講じる。**
- **散布する薬剤は一種類とは限らないので、取り扱っているすべての薬剤に関して注意事項を必ず確認する。**
- **上記安全確保に必要な情報が手に入らない場合には、この装置の運転を拒否してください。**
- **散布装置の整備や修理をする時は、その前に必ず、その装置が薬剤メーカーの指示通りに3回のすすぎ洗いや必要な中和処理を実行済みであること、さらに、すべてのバルブにそれぞれ3回の開閉操作洗浄が実施されていることを確認する。**
- **十分な量の水と石鹸を身近に常備し、薬剤が皮膚に直接触れた場合には、直ちに洗い流すこと。**

© 2016—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

製品の登録は www.Toro.com.

CE

この文書は翻訳です。(JA)
Printed in the USA
禁無断転載

3406-999 A

安全ラベルと指示ラベル

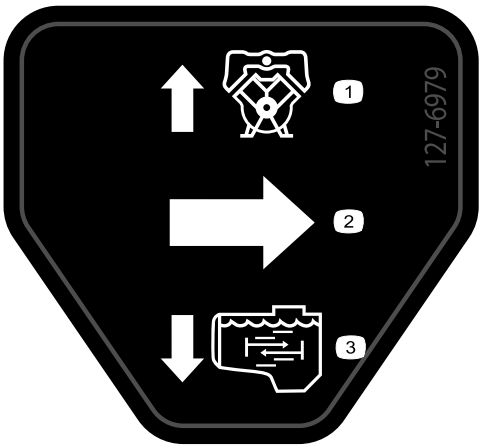
以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。 破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼付してください。



decal127-6976

127-6976

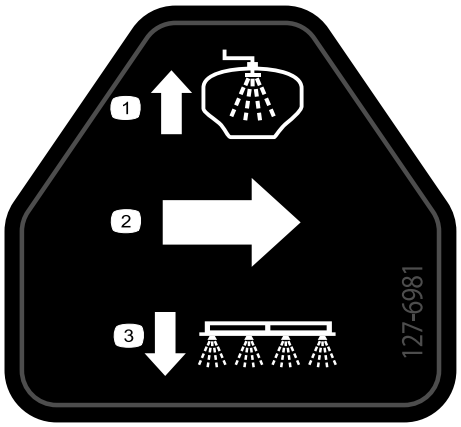
1. 下げる
2. 上げる



decal127-6979

127-6979

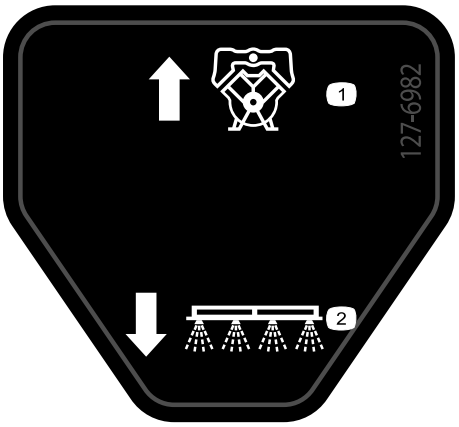
1. ポンプ戻りフロー
2. 流量
3. 攪拌フロー



decal127-6981

127-6981

1. バイパス戻りフロー
2. 流量
3. ブームスプレー



decal127-6982

127-6982

1. ポンプ戻りフロー
2. ブームスプレー

取り付け

付属部品

すべての部品がそろっているか、下の表で確認してください。

手順	内容	数量	用途
1	必要なパーツはありません。	–	キット取り付けの準備。
2	必要なパーツはありません。	–	オプション機器についている後ワイヤハーネスのコネクタ接続を外す。
3	必要なパーツはありません。	–	ダッシュボード用の水圧検知チューブを外します。
4	後方ワイヤハーネス	1	後ワイヤハーネスを機体から外します。
5	必要なパーツはありません。	–	バイパス、ドレン、攪拌関係機器を外します。
6	必要なパーツはありません。	–	給液ホースを分解する
7	必要なパーツはありません。	–	バルブサポートとブームバルブを取り外します。
8	散布バルブアセンブリ カバー52mm ガスケット25 x 35 mm フランジクランプ40~64 mm バルブマウント フランジヘッドボルト5/16 x /1 インチ フランジロックナット5/16 インチ	1 1 1 1 1 5 5	バルブをバルブマウントに取り付けます。
9	必要なパーツはありません。	–	バルブマウントを機体に取り付けます。
10	ねじ6/-32 x 5/8 インチ ハンドル 攪拌スロットルバルブ ブラケット ナイロン製 攪拌バルブブラケット ボルト6 x 12mm 攪拌給液ホース 攪拌ノズルアセンブリ 攪拌バイパスホース25 x 254 mm ガスケット25 x 35 mm フランジクランプ40~64 mm	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	攪拌停止バルブ、ノズル、ホースを取り付けます。
11	マニホルド給液ホース1 x 25 インチ ガスケット25 x 35 mm フランジクランプ40~64 mm	1 1 1	マニホルド給液ホースを取り付けます。

手順	内容	数量	用途
12	エダクタ停止バルブ 停止バルブブラケット フランジロックナット1/4 インチ ガスケット25 x 35 mm フランジクランプ40~64 mm 攪拌バイパスホース25 x 337 mm ガスケット25 x 35 mm フランジクランプ40~64 mm 水圧解放ホース25 x 29.8 cm スプレーヤ給液ホース25 x 48.6 cm エダクタ給液ホース25 x 156.5 cm	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	薬剤プレミックスキット用の停止バルブとホースを取り付けます。
13	バイパスホースドレンホースアセンブリ サポートクランプ フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ ワッシャ5/16 インチ	1 1 1 1	ブームバイパスホースドレンホースアセンブリを取り付けます。
14	給液ホース左側ブーム2 x 205cm 給液ホース中央ブーム2 x 58cm 給液ホース右側ブーム2 x 170cm	1 1 1	散布ノズル用ホースを取り付けます。
15	フランジ停止バルブ ブラケット ナイロン製 90° エルボ圧力ポート付き ガスケット25 x 35mm フランジクランプ40~64mm ワッシャ5/16 x 13/16in ボルト6 x 16mm ホースクランプ クイックコネクトフィッティングソケット バーブ付きストレートフィッティング (1/2 インチ) ホース1.3 x 762cm ホース1.3 x 180cm ケーブルタイ	1 1 1 1 1 4 4 2 1 1 1 1 3	オプションのスプレーガンキットや電動ホースリールキットに停止バルブとホースを接続します。
16	後方ワイヤハーネス ケーブルタイ	1 3	後方ワイヤハーネスを車体に取り付けます。
17	必要なパーツはありません。	–	後方ワイヤハーネスを接続します。
18	ジャンパハーネスオプションのスプレーガンキットまたは電動ホースリールキット	1	後ワイヤハーネスをオプション機器に接続する
19	必要なパーツはありません。	–	ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを接続します。
20	必要なパーツはありません。	–	バルブコンバージョンキットの取り付けの最終作業を行います。

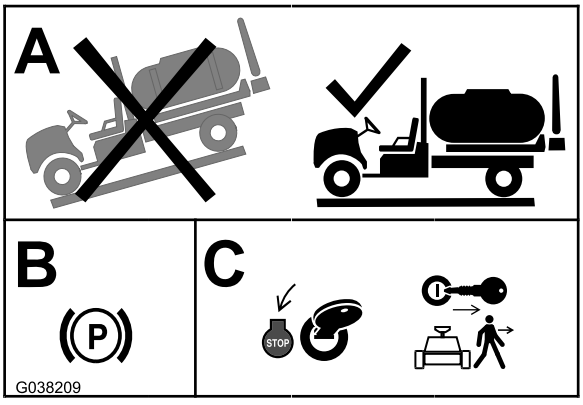
1

キット取り付けの準備

必要なパーツはありません。

マシンの準備を行う

1. 平らな場所に駐車する図 1。



g038209

図 1

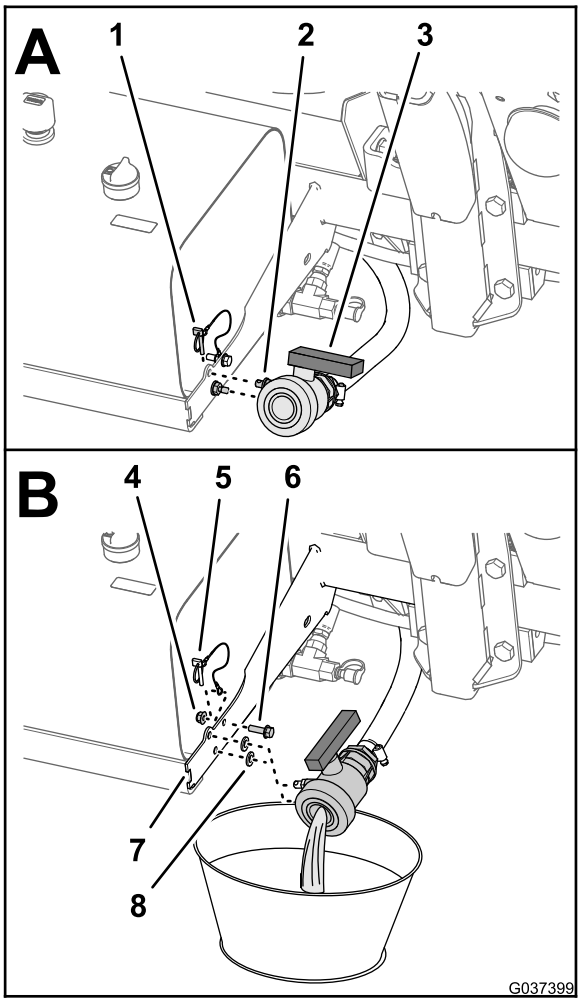
2. 駐車ブレーキを掛ける図 1。
3. エンジンを止め、キーを抜き取る図 1。

散布装置とオプションのすすぎタンクの準備を行う

1. スプレーヤを洗浄する *オペレーターズマニュアル*の「スプレーヤの洗浄」を参照。

   重要 このキットの取り付けを行う前に、タンクを完全に空にする必要があります。

2. **オプションのすすぎキットを搭載している車両では以下の作業を行う**すすぎタンクから液剤タンクへ水を移動させるすすぎキットの *取り付け要領書* の「すすぎキットの使用方法」を参照。
3. 液剤タンク図 2を空にする散布車の *オペレーターズマニュアル*の「スプレーヤの洗浄」を参照。



g037399

図 2

1. リンチピン
2. 固定用ペグ
3. ドレンバルブ
4. フランジロックナット5/16 インチ
5. ケーブルリンチピン)
6. フランジヘッドボルト5/16 x 1 インチ
7. サポート油圧オイルタンク)
8. ゴム製ワッシャ

4. リンチピンのケーブル油圧タンクのサポートに固定しているフランジヘッドボルト5/16 x 1 インチとフランジロックナット5/16 インチを外す図 2。

   注 リンチピン、フランジロックナット、フランジヘッドボルト、ワッシャ2枚は、ドレンバルブを取り付ける (ページ 35)で再利用します。

バッテリーの接続を外す

1. 左右のブームを散布位置に降下させる。
2. キースイッチをOFF 位置にして抜き取る; *オペレーターズマニュアル*を参照。
3. バッテリーについているカバーを外し、バッテリーのマイナス黒端子からケーブルを外す 図 3 と 図 4。

⚠ 警告

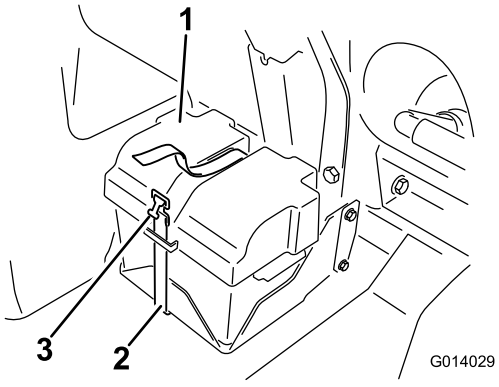
配線から出た火花で水素ガスが爆発を起こし人身事故に至る恐れがある。

バッテリーケーブルの接続ルートが不適切であるとケーブルがショートを起こして火花が発生する。

- **ケーブルを取り外す時は、必ずマイナス黒ケーブルから取り外し、次にプラス赤ケーブルを外す。**
- **ケーブルを取り付ける時は、必ずプラス赤ケーブルから取り付け、それからマイナス黒ケーブルを取り付ける。**

バッテリーの端子に金属製品や車体の金属部分が触れるとショートを起こして火花が発生する。

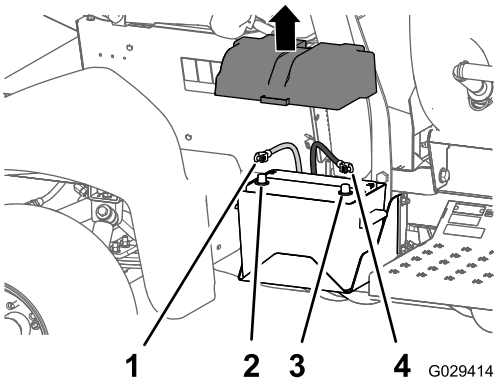
- **バッテリーの取り外しや取り付けを行うときには、端子と金属部を接触させないように注意する。**
- **バッテリーの端子と金属を接触させない。**
- **バッテリー押さえは必ず取り付ける。**



g014029

図 3

1. バッテリーカバー
2. ストラップ
3. バックル



g029414

図 4

1. プラス+ケーブル
2. プラス端子
3. マイナス端子
4. マイナス-ケーブル

4. バッテリー端子からプラス赤ケーブルを外す 図 4。
5. 座席をふたつとも前に倒し、中央コンソールのベース部のスロットの端にあるへこみ部分に支え棒を移動させて座席を支える。
6. エンジンが完全に冷えるのを待つ。

2

オプション機器についている後ワイヤハーネスのコネクタ接続を外す

必要なパーツはありません。

オプションのスプレーガンキットや電動ホースリールキットについているワイヤハーネスを外す。

1. 液剤タンクの後部にある、スプレーガンキットや電動ホースリールキット用のワイヤハーネスを探し出す (図 5)。

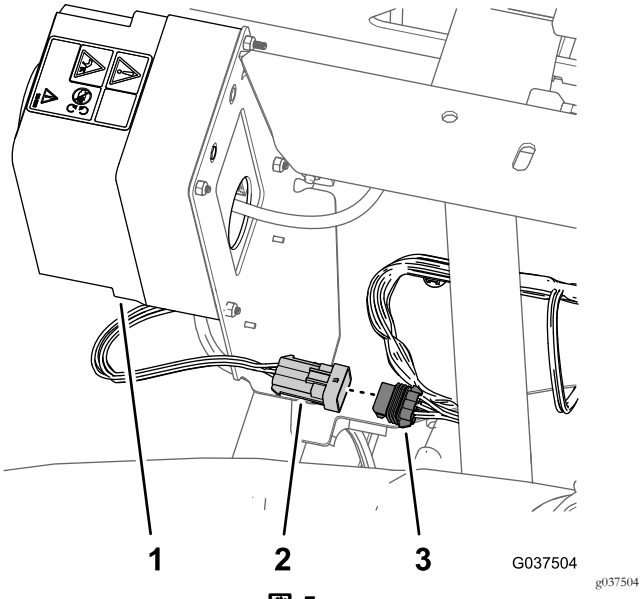


図 5

1. コントロールボックススプレーガンキットや電動ホースリールキット
2. 6ピンコネクタスプレーガンキットや電動ホースリールキットのハーネス
3. 6ソケットコネクタ後方ワイヤハーネス

2. 後方ハーネスの6ソケットコネクタから、スプレーガンキットや電動ホースリールキットのハーネスの6ピンソケットを外す図 5。

フォームマーカーキット用のコンプレッサを取り外す

1. フォームマーカーのタンクの後部にあるコンプレッサ用ハーネスを探し出す (図 6)。

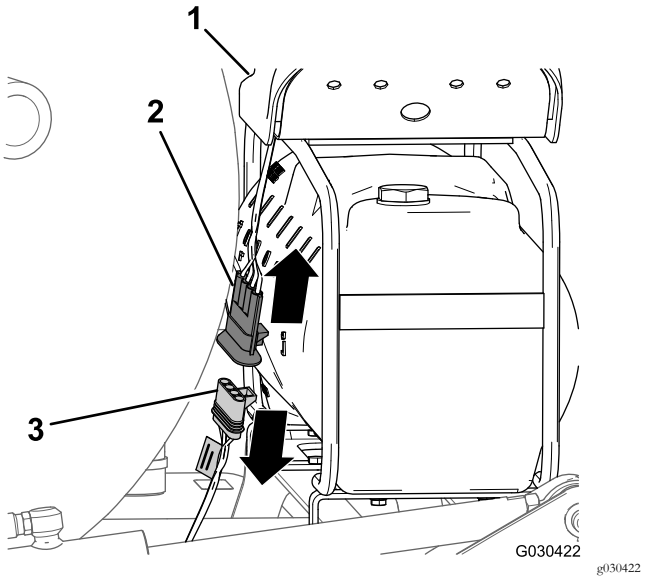


図 6

1. コンプレッサ
2. 4ピンコネクタコンプレッサのワイヤハーネス
3. 4ソケットコネクタ仕上げキットのワイヤハーネス

2. 車両用の後ワイヤハーネスの4ソケットコネクタから、コンプレッサ用の4ピンコネクタを外す図 6。

すすぎキットのポンプを取り外す

1. 機体後部で、すすぎ用ポンプのカバーを両側から押し、カバーについているタブがサドルプレートのスロットをかわすまでカバーを上に持ち上げて、カバーを取り外す図 7。

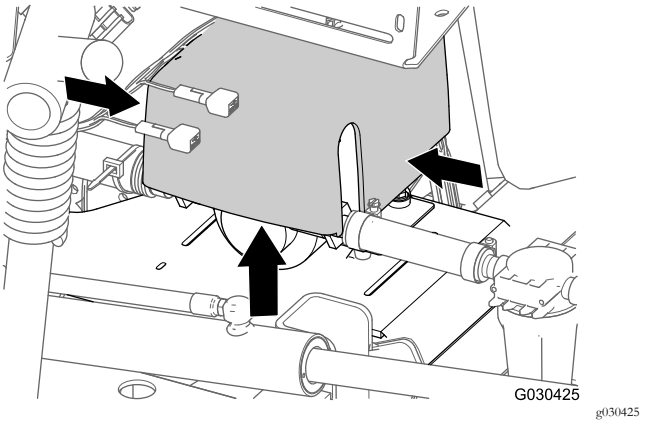


図 7

2. 後方ワイヤハーネスの6ソケットコネクタから、すすぎポンプハーネスの6ピンコネクタを外す図 8。

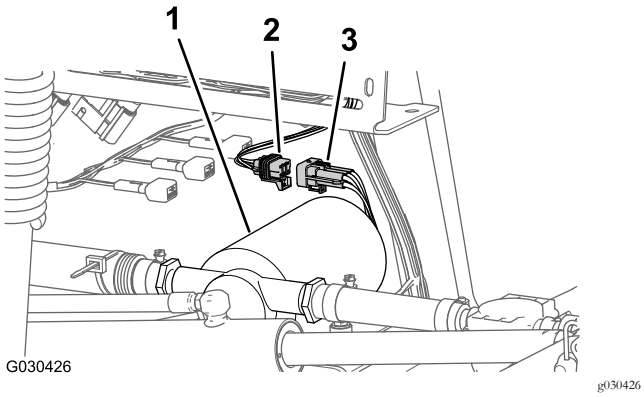


図 8

1. すすぎポンプ
2. 6ソケットコネクタ後方ワイヤハーネス
3. 6ピンコネクタすすぎポンプのハーネス

オプションのプロコントロールキットについているワイヤハーネスを外す

車両の後方ワイヤハーネスの3ソケットコネクタから、フローメータハーネス用の3ピンコネクタを外す図 9。

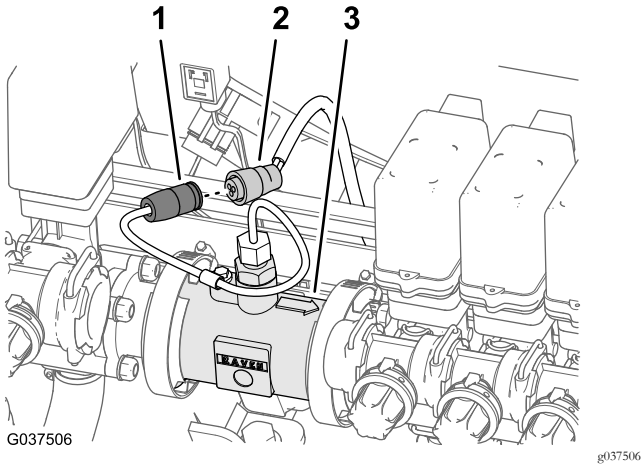


図 9

1. 3ピンコネクタフローメータのハーネス
2. 3ソケットコネクタ後方ワイヤハーネス車両
3. フローメータ

3

ダッシュボード用の水圧検知チューブを外す

必要なパーツはありません。

ダッシュボードのゲージ用の水圧検知チューブを外すオプションのホースリールキットを搭載していない車両

注 スプレーガンキットオプションを搭載している車両では、水圧検知チューブと散布ホースを外すオプションのスプレーガンキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両 (ページ 9)を参照してください。

1. 右側ブーム用バルブのポート付きキャップフィッティングのチューブカップラにあるカラーを押し込む図 10。

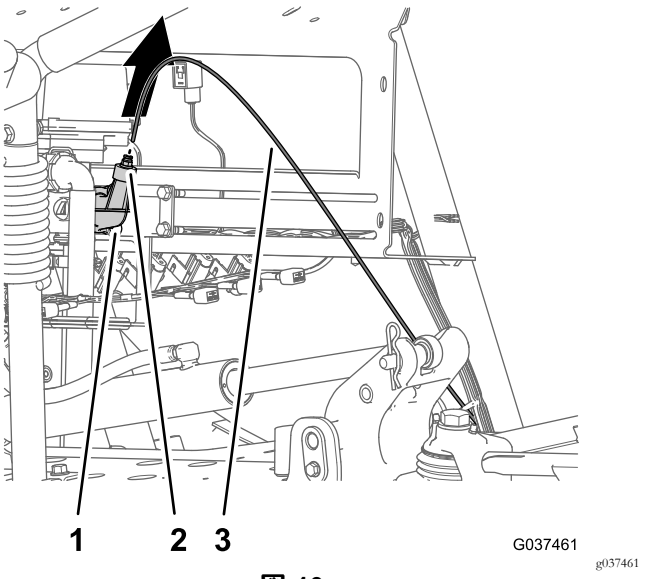


図 10

1. チューブカップラ右ブームバルブのエンドキャップ
2. ポート付きキャップフィッティング
3. 水圧検知チューブ

2. ダッシュボード用の水圧検知チューブを抜き出す図 10。

水圧検知チューブと散布ホースを外すオプションのスプレーガンキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両

1. 水圧ポートフィッティングのT字フィッティングにあるチューブカップラ用のカラーを押し込む図 11または図 12。

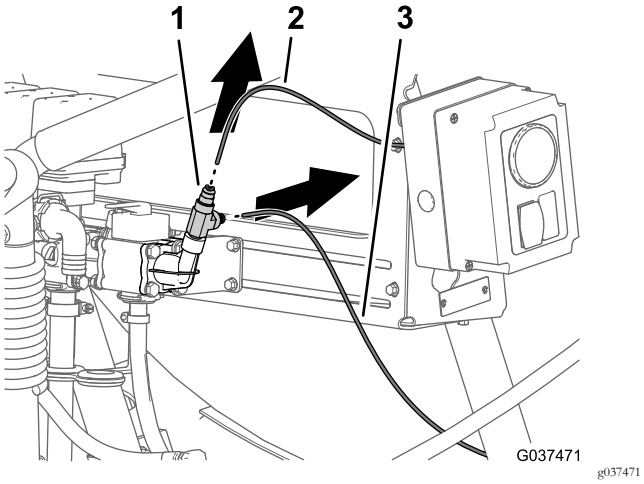


図 11
オプションのスプレーガンキット

1. チューブカップラ水圧フィッティングバイパスバルブ
2. 水圧検知チューブスプレーガンの水圧計用
3. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用

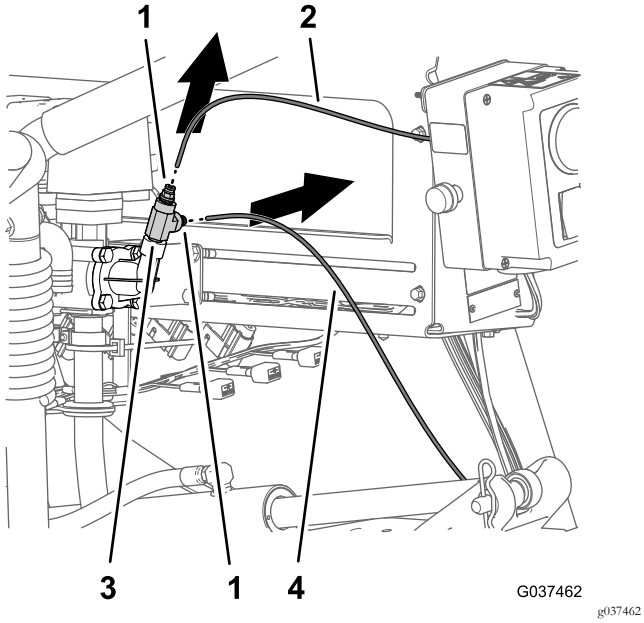


図 12
電動ホースリールキット

1. チューブカップラ水圧フィッティングバイパスバルブ
2. 水圧検知チューブスプレーガンの水圧計用
3. T 字フィッティング
4. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用

2. チューブカップラからダッシュボード用の水圧検知チューブを抜き出す図 11または図 12。
3. チューブカップラからスプレーガン用の水圧検知チューブを抜き出す図 11または図 12。
4. 水圧ポートフィッティングからT字フィッティングを取り外す図 13。

注 T字フィッティングは 水圧検知チューブを接続するオプションのスプレーガンキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両 (ページ 50)で使用するので廃棄しないでください。

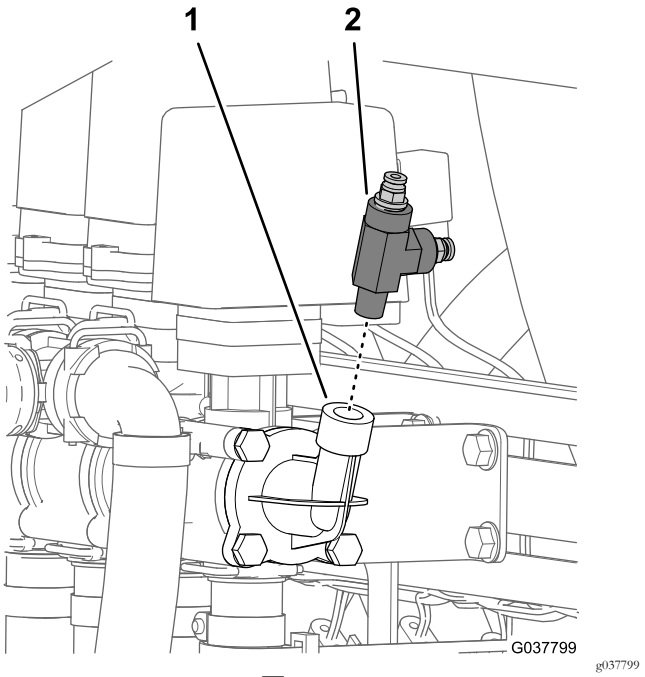


図 13

1. 水圧ポートのフィッティング
2. T 字フィッティングチューブ

4

後ワイヤハーネスを機体から外す

この作業に必要なパーツ

1	後方ワイヤハーネス

前ハーネスと後ろハーネスの接続を外す

注 前ハーネスと後ろハーネスの接続を外す時は、ホイストで機体を持ち上げてください。

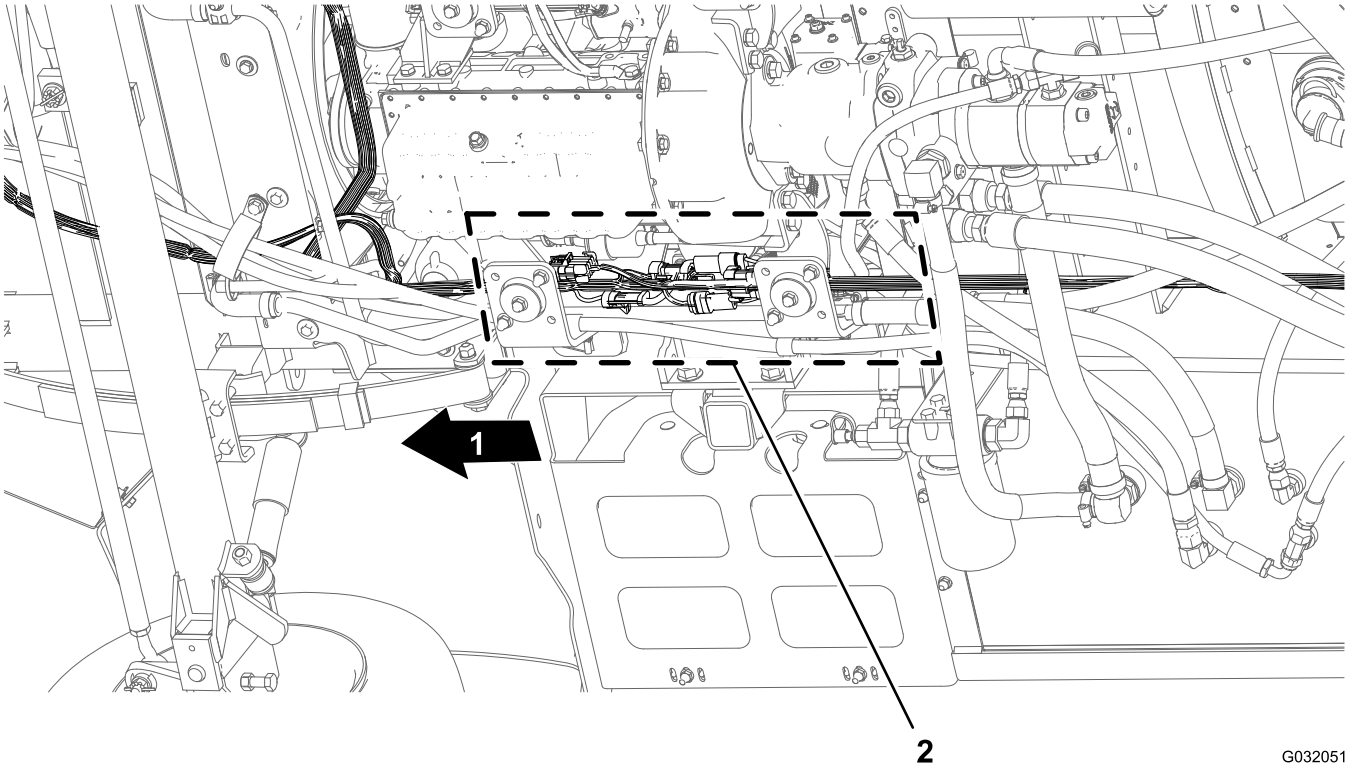


図 14

1. 機体前方
2. コネクタのインタフェース前と後ろハーネス

1. 機体の下の右フレームチューブに沿って配設されている前後のワイヤハーネスの相互コネクタを探し出す図 14。
2. 図図 15図 19に示すように、前後のワイヤハーネスを接続している6組のコネクタの接続を外す。

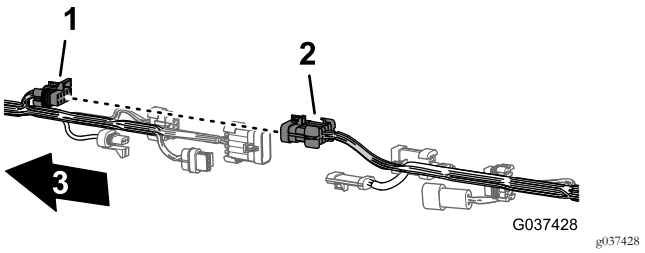


図 15

1. 10ソケットコネクタスプレーヤ用ハーネス前ハーネス
2. 10ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
3. 機体前方

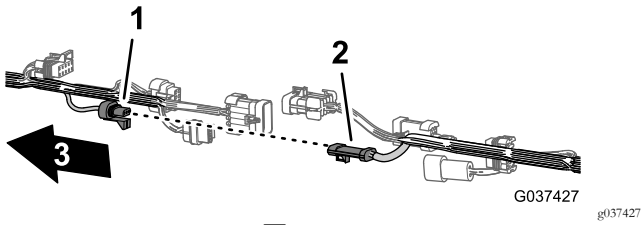


図 16

1. 3ソケットコネクタフローメータ前ハーネス
2. 3ピンコネクタフローメータ後ハーネス
3. 機体前方

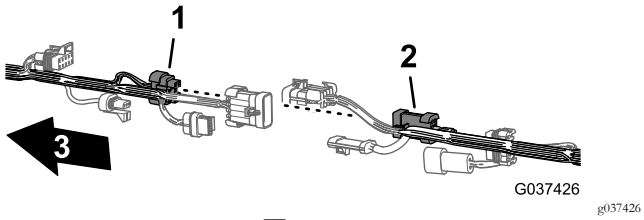


図 17

1. 8ソケットコネクタスプレーヤ用ハーネス前ハーネス
2. 8ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
3. 機体前方

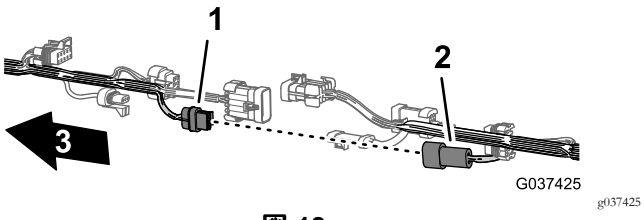


図 18

1. 2ソケットコネクタすすぎポンプ前ハーネス
2. 2ピンコネクタすすぎポンプ後ハーネス
3. 機体前方

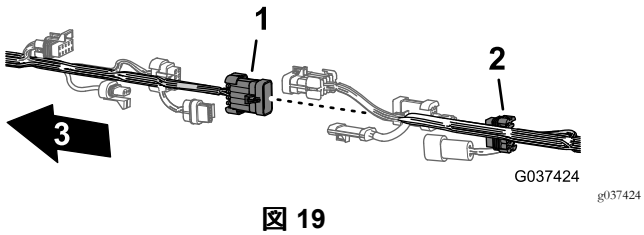


図 19

1. 10ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
2. 10ソケットコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
3. 機体前方

3. 後ワイヤハーネスを機体の右側フレームチューブの穴に固定している押し込み型ファスナ3個を外す図 20。

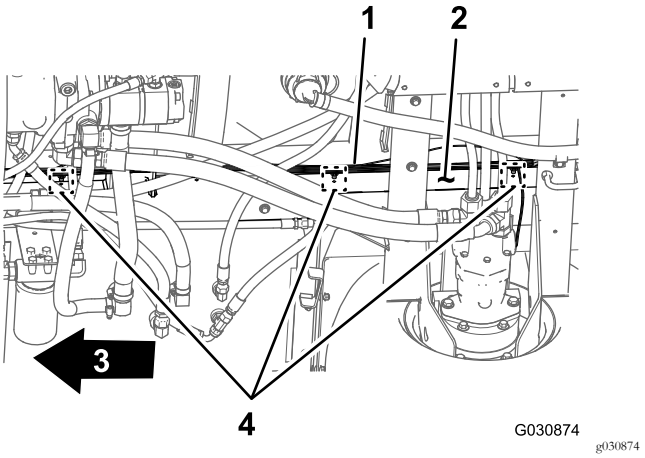


図 20

1. 後方ワイヤハーネス
2. 右側フレームチューブ
3. 機体前方
4. プッシュインファスナー

スプレーヤ関連機器からワイヤハーネスを外す

1. 機体後部右側フレームチューブと右側フェンダとの間で、後方ワイヤハーネスの3ソケットコネクタから、速度センサーハーネス右側油圧走行モータにあるの3ピンコネクタを外す図 21。

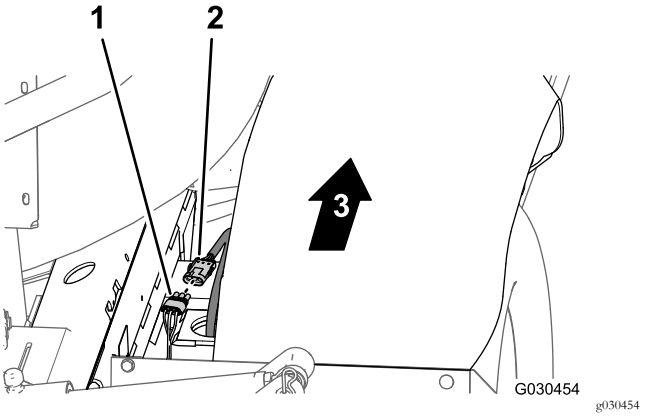


図 21

1. 3ソケットコネクタ後方ワイヤハーネス
2. 3ピンコネクタ油圧モータのハーネス
3. 機体前方

2. マニホルドマウント後部で、攪拌バルブから3ソケットコネクタを外し、ブームバルブ全部で3つから、それぞれ3ソケットコネクタを外す図 22。

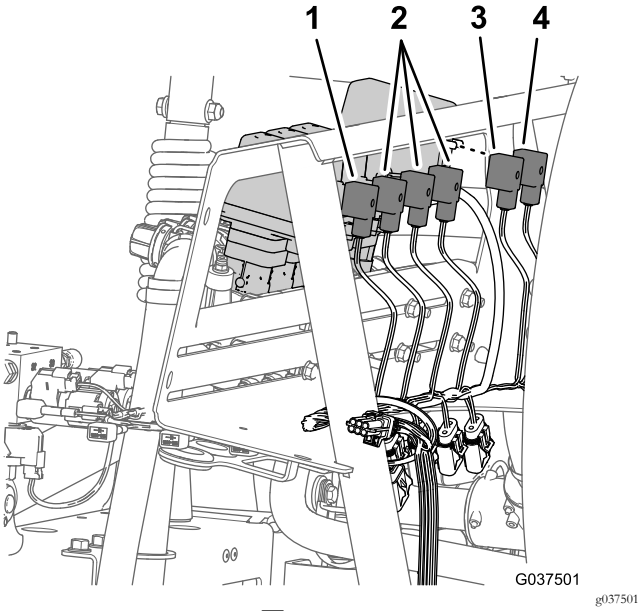


図 22

1. 3ソケットコネクタスプレーガンバルブ
2. 3ソケットコネクタ右側散布バルブ / 中央散布バルブ / 右側散布バルブ
3. 3ソケットコネクタ攪拌バルブ
4. 3ソケットコネクタエダクタバルブ

3. 後ワイヤハーネスをマニホルドマウントの前側および下部プレートに固定しているお押し込み型ファスナを外す図 23。

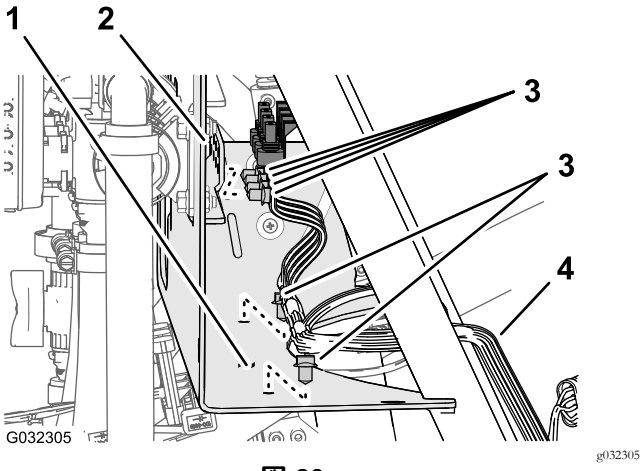


図 23

1. マニホルドマウント下部プレート
2. マニホルドマウント前側
3. 押し込みファスナー
4. 後方ワイヤハーネス

4. ウルトラソニックブームキットを搭載していない車両機体後部で、昇降シリンダマニホルド用の2ソケットコネクタ図 24を、以下のように外す
   - 右—上昇ソレノイド
   - 左—上昇ソレノイド
   - 作動許可ソレノイド
   - 右—下降ソレノイド
   - 左—下降ソレノイド

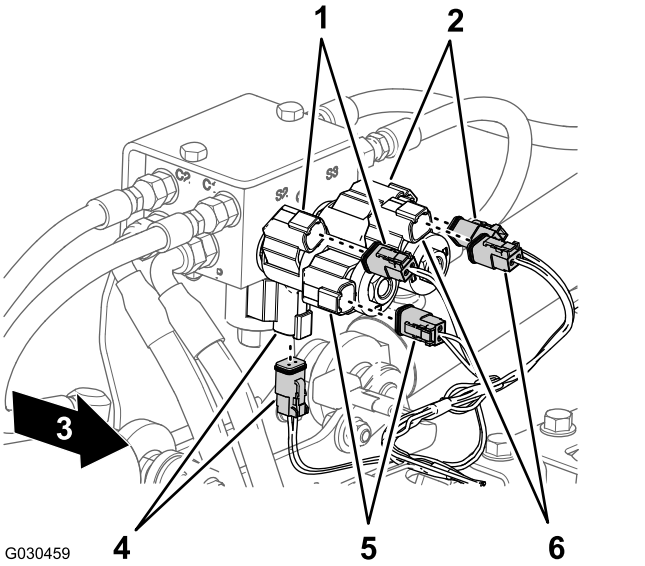


図 24

1. 右—上昇 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
2. 左—上昇 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
3. 機体前方
4. 作動許可 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
5. 右—下降 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)
6. 左—下降 (ソレノイドとメインハーネスのコネクタ)

5. 機体後部、スプレーヤポンプの車軸側で、ポンプ用リレーの2ピンコネクタから、後ワイヤハーネスの2ソケットコネクタを外す図 25。

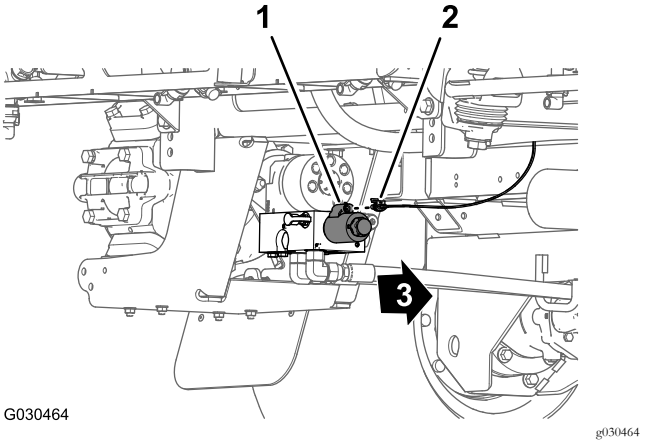


図 25

1. 2ピンコネクタポンプ用リレー
2. 2ソケットコネクタ後方ワイヤハーネス
3. 機体前方

6. 後ワイヤハーネス図 26を後クロスチューブ油圧走行モータの後方に固定している押し込み型ファスナを外す。

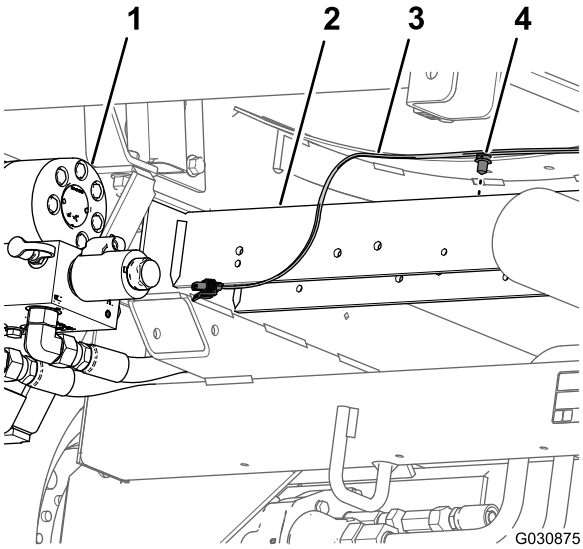


図 26

1. スプレーヤのポンプ
2. 後部のクロスチューブ
3. 後方ワイヤハーネス
4. プッシュインファスナー

7. 車両の後部ワイヤハーネスから、ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを抜き出す図 27。

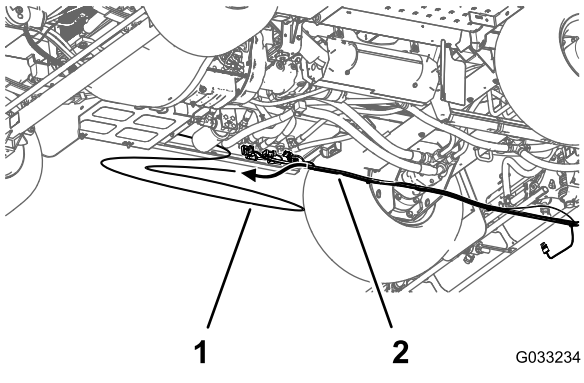


図 27

1. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用
2. 後方ワイヤハーネス

8. 後ワイヤハーネスを機体から外す。

   注 機体から外した後ワイヤハーネスは廃棄して構いません。

5

バイパス、ドレン、攪拌関係機器を外す

必要なパーツはありません。

バイパス用とドレン用のホースを取り外す

1. 90° フィッティングを液剤ポンプの底部のアダプタフィッティングに固定しているリテーナを取り外す 図 28。

   注 リテーナは タンクドレンホースを取り付ける (ページ 33)で使用します。

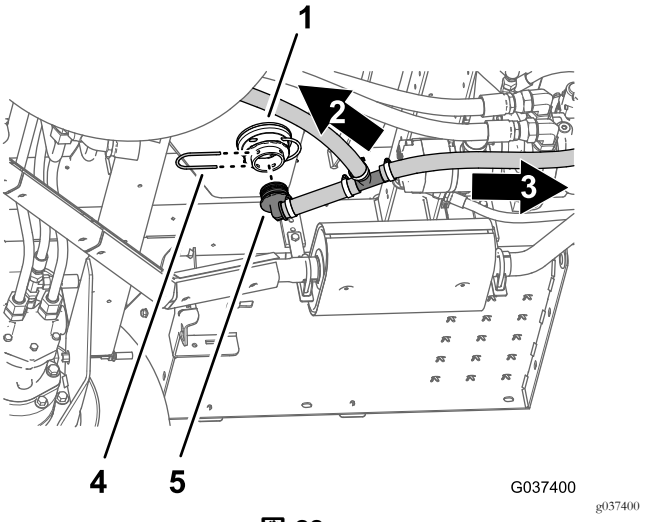


図 28

1. アダプタフィッティング液剤タンク底部
2. バイパスバルブへ
3. リテーナ
4. ドレンバルブへ
5. 90° ホースフィッティング

2. 90° フィッティングをアダプタフィッティングから外す図 28。
3. 90° フィッティングを右側ブームバルブのバイパスバルブに固定しているリテーナを取り外す 図 29。

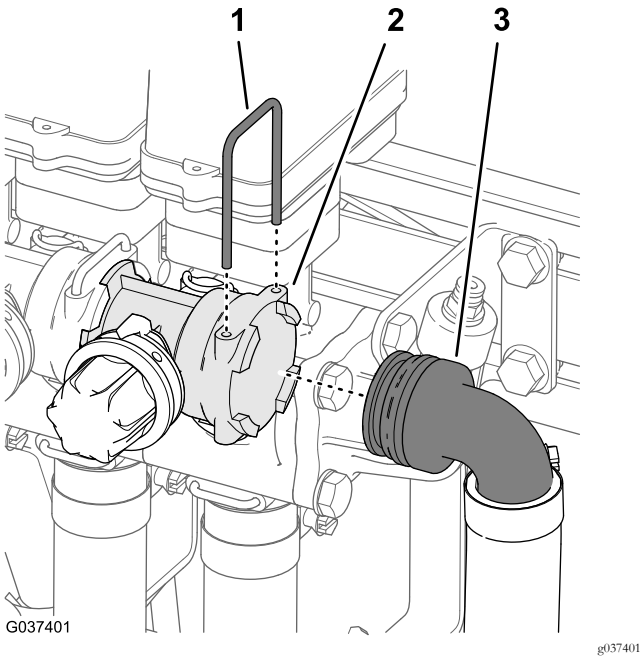


図 29

1. リテーナ
2. ソケットバイパスバルブ
3. 90°フィッティング バイパスホース

4. 90° フィッティングをバイパスバルブから外す図 29。

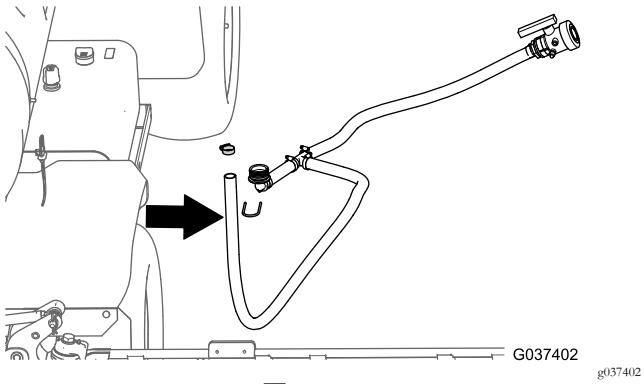


図 30

5. 機体から、パイパスホースとドレンホースを外す図 30。
6. ドレンバルブのバーブ付きフィッティングとドレンホースをつないでいるホースクランプを外して、ホースからフィッティングを外す図 31。

   注 ホースクランプ、ドレンバルブ、バーブ付きフィッティング、リテーナは タンクドレンホースを取り付ける (ページ 33)で使用します。 パイパスホースとドレンホースは廃棄して構いません。

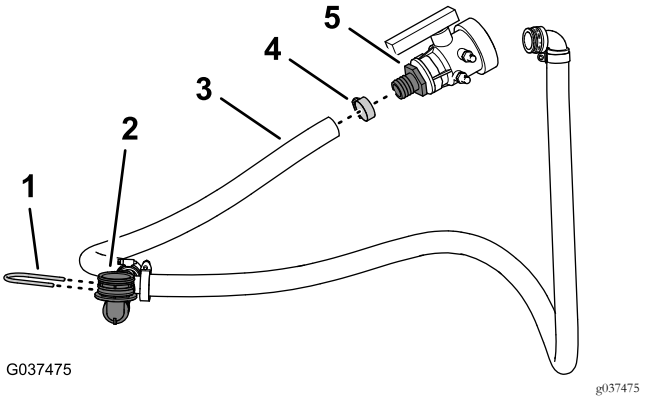


図 31

1. リテーナ
2. 90° ホースフィッティング
3. ドレンホース
4. ホースクランプ
5. バーブ付きフィッティングドレンバルブ

攪拌ノズルとホースを取り外す

1. 液剤ポンプで、ボールバルブのバーブ付きフィッティングに攪拌ホースを固定しているホースクランプを外す図 32。

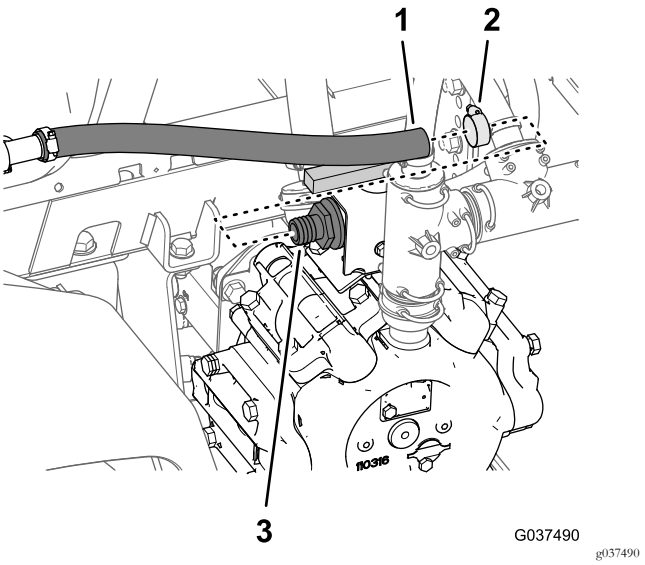


図 32

1. ホース攪拌の給水側
2. ホースクランプ
3. バーブ付きフィッティングボールバルブ

2. バーブ付きフィッティングから攪拌給水ホースを取り外す図 32。
3. 液剤ポンプ側面で、攪拌ノズルを液剤タンクの壁に固定しているリテーナ4個を外す図 33。

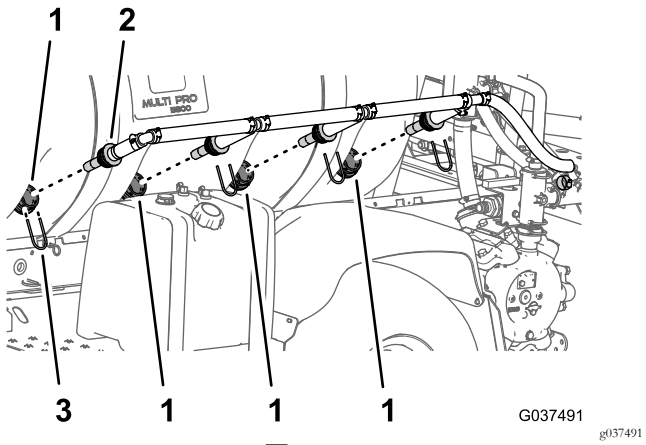


図 33

1. バルクヘッドフィッティング
2. 撹拌ノズル
3. リテーナ

4. タンクのフィッティングについているノズル4個すべてをゆるめる。
5. ノズルとノズルについているホースを機体から外す図 33。

   注 リテーナ4個は 撹拌ノズルアセンブリとホースを取り付ける (ページ 24)で使用します。ホースクランプ、撹拌ノズルと付属のホースは不要です。

撹拌スロットルバルブを取り外す

1. 液剤散布ポンプの上部で、撹拌スロットルバルブをスロットルバルブブラケットに固定しているフランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ2本を取り外す図 34。

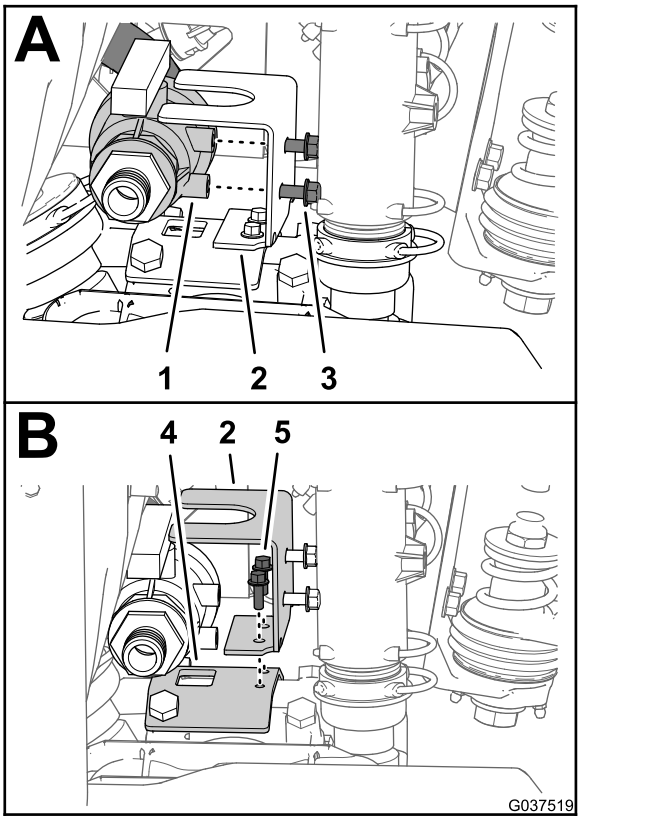


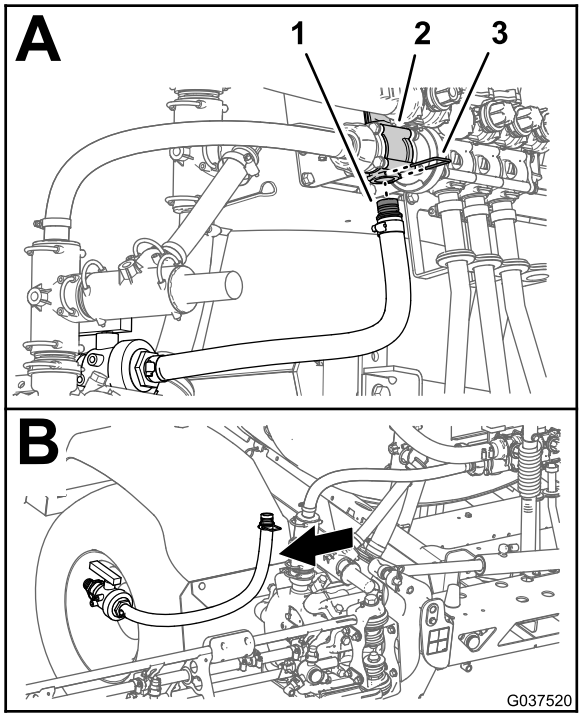
図 34

1. 撹拌スロットルバルブ
2. スロットルバルブブラケット
3. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
4. 散布ポンプのブラケット
5. フランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ

2. スロットルバルブブラケットをポンプブラケットに固定しているフランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ2本を取り外して、ブラケットを外す図 34。

   注 フランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ2本は 撹拌スロットルバルブを取り付ける (ページ 23)で使用します。フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ2本は不要です。

3. 撹拌給液ホースのバーブ付きストレートフィッティングを撹拌バルブに固定しているリテーナを外す 図 35。



g037520

図 35

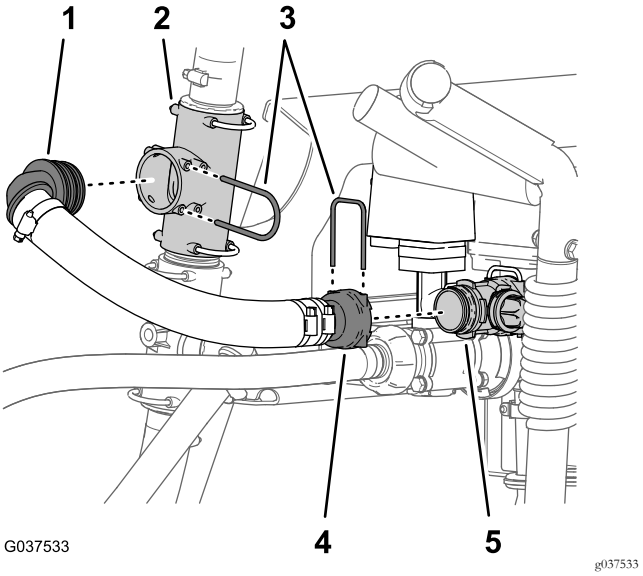
1. バーブ付きストレートフィッティング
2. 攪拌バルブ
3. リテーナ

4. 機体から、ボールバルブと攪拌給液ホースを外す図 35。

   注 取り外したボールバルブと攪拌給液ホースは不要です。

攪拌バイパスホースとスプレーヤ給液ホースを取り外す

1. 攪拌バイパスホースを攪拌バイパスバルブに固定しているバーブ付きストレートフィッティングを外す 図 36。



g037533

図 36

1. バーブ付き90°フィッティング 攪拌バイパスホース
2. 字フィッティング 上側
3. リテーナ
4. バーブ付きストレートフィッティング 攪拌バイパスホース
5. 攪拌バイパスバルブ

2. 攪拌バイパスホース用のバーブ付き90° フィッティングを上T字フィッティングに固定しているリテーナを外す 図 36。
3. 機体から攪拌バイパスホースを取り外す図 36。
4. マスターコントロールバルブのねじ付きフィッティングについている、スプレーヤ給液ホースのフライナットを、完全にゆるめる図 37。

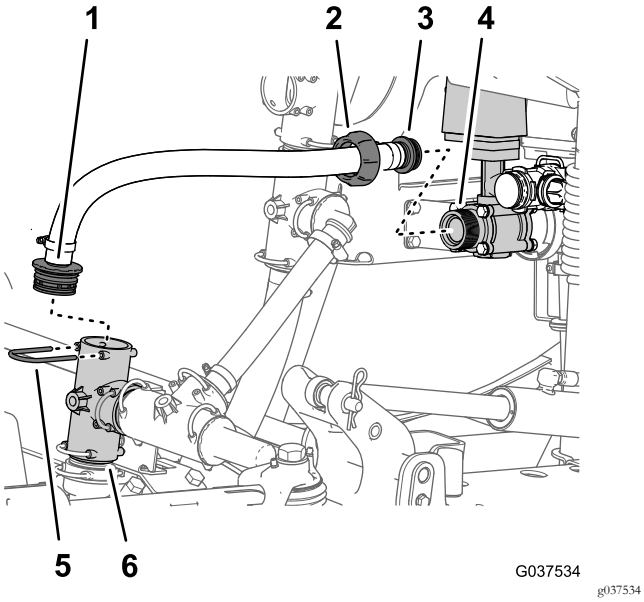


図 37

1. バーブ付きストレートフィッティング スプレーヤ給液ホース
2. フライナットスプレーヤ給液ホース
3. バーブ付きストレートフィッティング ーー フライナット 攪拌給液ホース
4. ねじ付きフィッティングマスターコントロールバルブ
5. リテーナ
6. T字フィッティング液剤ポンプ

5. スプレーヤ給液ホースのバーブ付きストレートフィッティングをスプレーヤポンプのT字フィッティングに固定しているリテーナを取り外す図 37。
6. 機体からスプレーヤ給液ホースを取り外す図 37。

   注 ステップ1、2、5で取り外したリテーナは、ブームバイパスホースを取り付ける (ページ 26) と11 マニホルド給液ホースを取り付ける (ページ 27) で使用します。攪拌パイパスホースとスプレーヤ給液ホースは不要です。

フローメータを取り外す

オプションのプロコントロールキットを搭載している車両

1. フローメータを攪拌コントロールバルブおよび左側ブームバルブの各フランジに固定しているフランジクランプ2個を外す図 38。

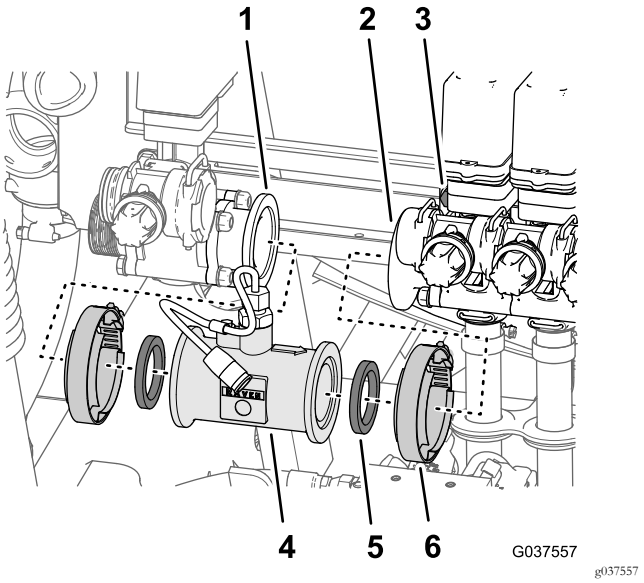


図 38

1. フランジ 攪拌コントロールバルブ
2. フランジ 左側ブームバルブ
3. ボルト･ナットブームバルブ
4. フローメータ
5. ガスケット
6. フランジクランプ

2. 機体から、フローメータとガスケット2枚を外す図 38。

   注 必要に応じ、つのブームバルブをバルブサポートに固定しているフランジヘッドボルト4本とフランジロックナット4個をゆるめてください図 38。

6

給液ホースを分解する

オプションのスプレーガンキットや電動ホースリールキット、エダクタキットを搭載している車両

必要なパーツはありません。

給液ホースからスプレーガンを取り外す

スプレーガンキットを搭載している車両

1. 給液ホースをスプレーガンのバーブに固定しているホースクランプを外す図 39。

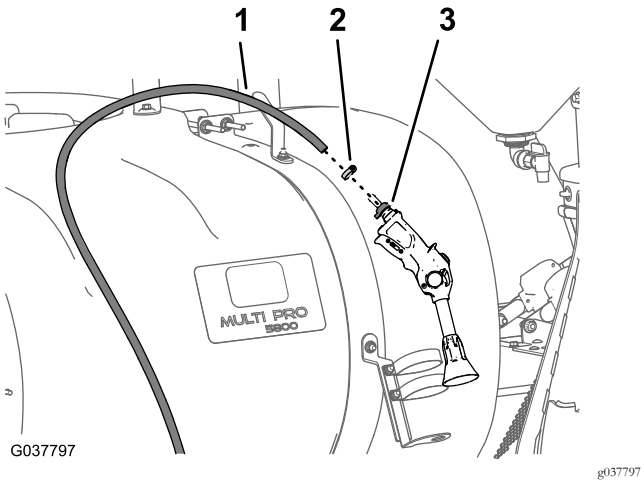


図 39

1. 給液ホース
2. ホースクランプ
3. ホースバーブスプレーガン

2. ホースバーブからホースを取り外す図 39。

   注 外したホースクランプ2個とスプレーガンは給液ホースを取り付けるスプレーガンキットを搭載している車両 (ページ 39)取り付けます。散布ホースはバルブと共に、 バルブサポートを取り外す (ページ 19)で外します。

ホースリールから散布ホースを取り外す

電動ホースリールキットを搭載している車両

1. 給液ホースをホースリールのストレートホースバーブに固定しているホースクランプを外す図 40。

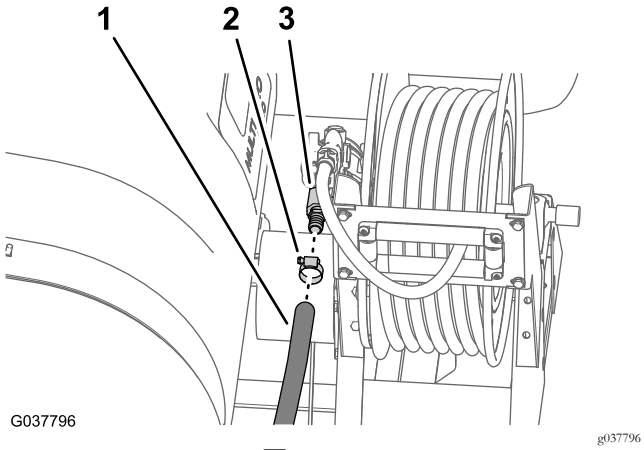


図 40

1. 給液ホース
2. ホースクランプ
3. ストレートホースバーブ

2. ホースバーブからホースを取り外す図 40。

   注 散布ホースはバルブと共に、 バルブサポートを取り外す (ページ 19)で外します。

エダクタからエダクタ給液ホースを取り外す。

オプションのエダクタキットを搭載している車両

1. エダクタ給液ホースのバーブ付きストレートフィッティングをエダクタの入り口フランジに固定しているフランジクランプを取り外す図 41。

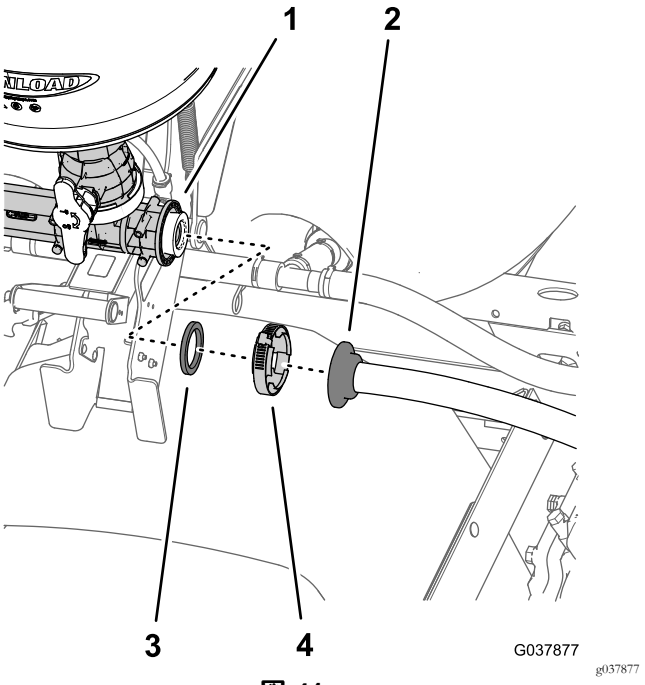


図 41

1. フランジ エダクタ入口
2. バーブ付きストレートフィッティング
3. ガスケット
4. フランジクランプ

2. バーブ付きストレートフィッティングをエダクタから外してガスケットを外す図 41。

   注 外したフランジクランプとガスケットはエダクタ給液ホースを取り付ける (ページ 33)で取り付けに使用します。給液ホースはバルブと共に、 バルブサポートを取り外す (ページ 19)で外します。

7

バルブサポートとブームバルブを取り外す

必要なパーツはありません。

ブームホースを取り外す

1. ブームの外端部で、給液ホースをバーブ付きT字フィッティングに固定しているホースクランプを外す図 42。

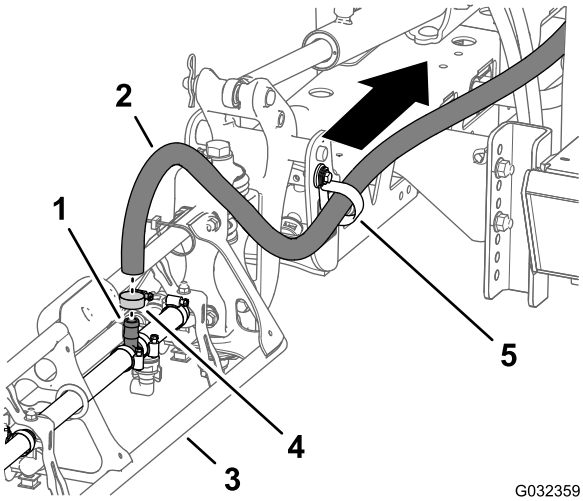


図 42

1. バーブ付き字フィッティング
2. 給液ホースブーム端部
3. ブーム外側端部
4. ホースクランプ
5. R クランプ

2. 字フィッティングからホースを取り外す図 42。
3. ホース端部をRクランプから外す 図 42。
4. 機体の反対側のブームでも、ステップ 13 の作業を行う。
5. センターブームの下で、センターブームに給液しているホースをバーブ付き T 字フィッティングに固定しているクランプを外す図 43。

   注 各ブームから外したホースクランプは、14 ブームホースを取り付ける (ページ 36)で使用しますが、各ブームのホースは廃棄して構いません。

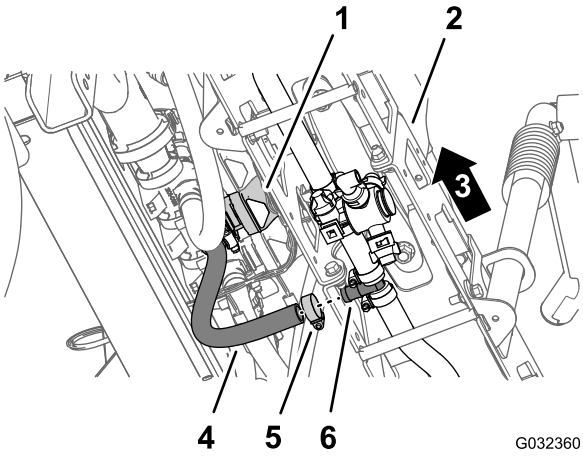


図 43

1. センターブームのバルブ
2. センターブーム
3. 機体の左側
4. ホースセンターブーム
5. ホースクランプ
6. バーブ付き字フィッティング

バルブサポートを取り外す

バルブサポート、バルブ、ブームホースの重量約 20.4kg

以下の作業は、もう一人に手伝ってもらって二人で行う。

1. バルブサポートに下部T字フィッティングを固定しているプラスねじ#10 x 5/8 インチ 2本とワッシャ#102枚を取り外す図 44。

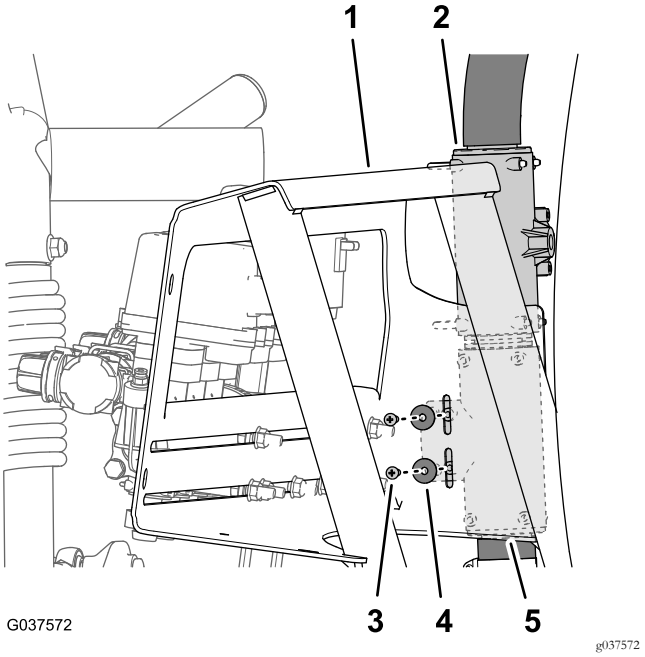


図 44

1. バルブサポート
2. 字フィッティング 上側
3. ワッシャ#10
4. 十字頭ねじ#10 x 5/8 インチ
5. 字フィッティング 下側

2. バルブマウントを保持しながら、バルブマウントを機体のフレームに固定しているフランジヘッドボルト3/8 x 1インチ 4本、フランジロックナット3/8 インチ4個を外す図 45。

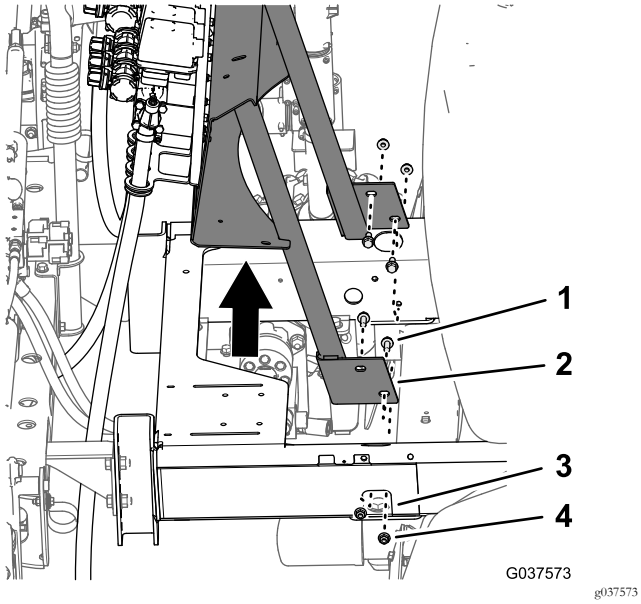


図 45

1. フランジヘッドボルト3/8 x 1 インチ
2. バルブマウント
3. フレーム車両
4. フランジロックナット3/8 インチ

3. 機体から、バルブサポート、バルブ、ブームホースを外す図 45。

注 外したフランジヘッドボルト4本、フランジナット4個、プラスねじ2本、ワッシャ2枚は9 バルブマウントを機体に取り付ける (ページ 22)で使用しますが、撹拌バルブ、ブームバルブ、各ブームのホースは不要です。

8

散布バルブアセンブリをバルブマウントに取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	散布バルブアセンブリ
1	カバー52mm
1	ガスケット25 x 35 mm
1	フランジクランプ40~64 mm
1	バルブマウント
5	フランジヘッドボルト5/16 x /1 インチ
5	フランジロックナット5/16 インチ

カバーを90°エルボに取り付ける

1. ガスケット25 x 35 mmとカバー52 mmを、90°エルボのフランジにに取り付ける図 46。

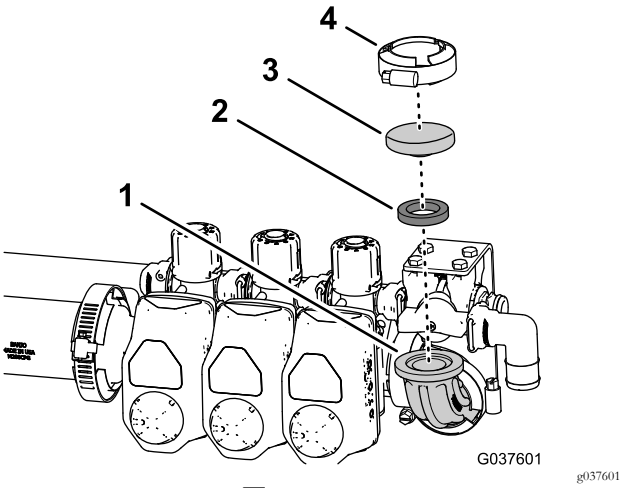


図 46

1. 90°エルボ
2. ガスケット25 x 35 mm
3. カバー52mm
4. フランジクランプ40~64 mm

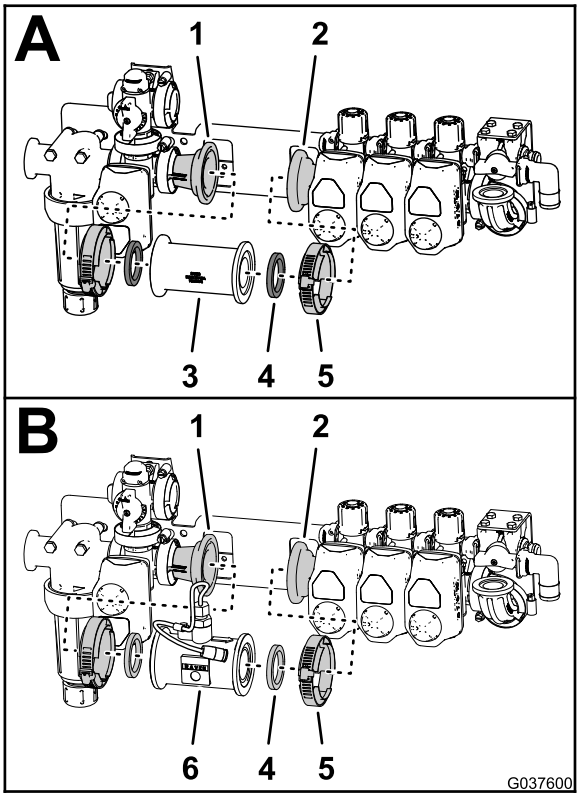
2. ガスケットとカバーをエルボに固定するフランジクランプ40~64 mmを使用し 図 46に示すように取り付ける。

フローメータを組み付ける

オプションのプロコントロールキットを搭載している車両

1. 撹拌バルブと左ブームバルブのところでガスケット2枚とストレートカップリングをアダプタカップラに固定しているフランジクランプ2個を外す図 47。

   注 必要に応じ、つのブームバルブをバルブブラケットに固定しているフランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ 4本とフランジロックナット1/4 インチをゆるめてください。外したアダプタカップリングは廃棄して構いません。



g037600

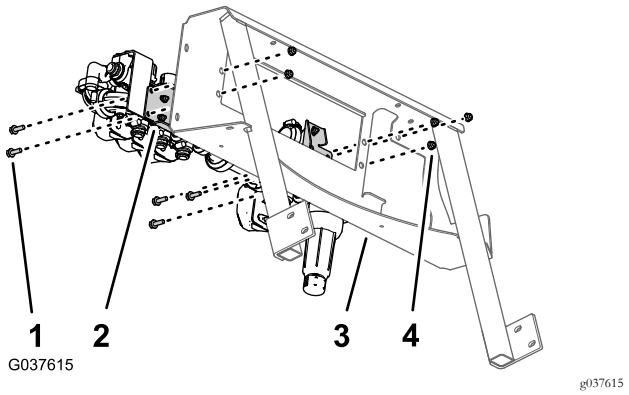
図 47

1. アダプタカップリング攪拌バルブのところ
2. アダプタカップリング左ブームバルブのところ
3. ストレートカップリング
4. ガスケット
5. フランジクランプ
6. フローメータ

2. ステップ 1 で外したガスケットを、フローメータを取り外す (ページ 17)で外したフローメータにセットする。
3. ガスケットとフローメータを、攪拌バルブと左ブームバルブのところのアダプタカップラのフランジ合わせる図 47。
4. フローメータをアダプタカップリングに取り付けるステップ 1 で外したフランジクランプ2個を使う図 47。
5. つのブームバルブをバルブブラケットに固定しているフランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ 4 本とフランジロックナット1/4 インチをゆるめてある場合には、ここでこれらを102 ~124 N·m 1.0~1.3kg.m = 90~110in-lbにトルク締めする。

バルブアセンブリをバルブマウントに取り付ける

1. スプレーヤバルブアセンブリについているバルブブラケットの穴を、バルブマウントの穴に合わせる図 48と図 49。



g037615

図 48

1. フランジヘッドボルト5/16 x /1 インチ
2. バルブブラケットスプレーヤバルブアセンブリ)
3. バルブマウント
4. フランジロックナット5/16 インチ

2. バルブブラケットを、バルブマウントに組み付ける 図 48と図 49フランジヘッドボルト 5/16 x 1 インチ 5本とフランジロックナット 5/16 インチ5個を使用する。

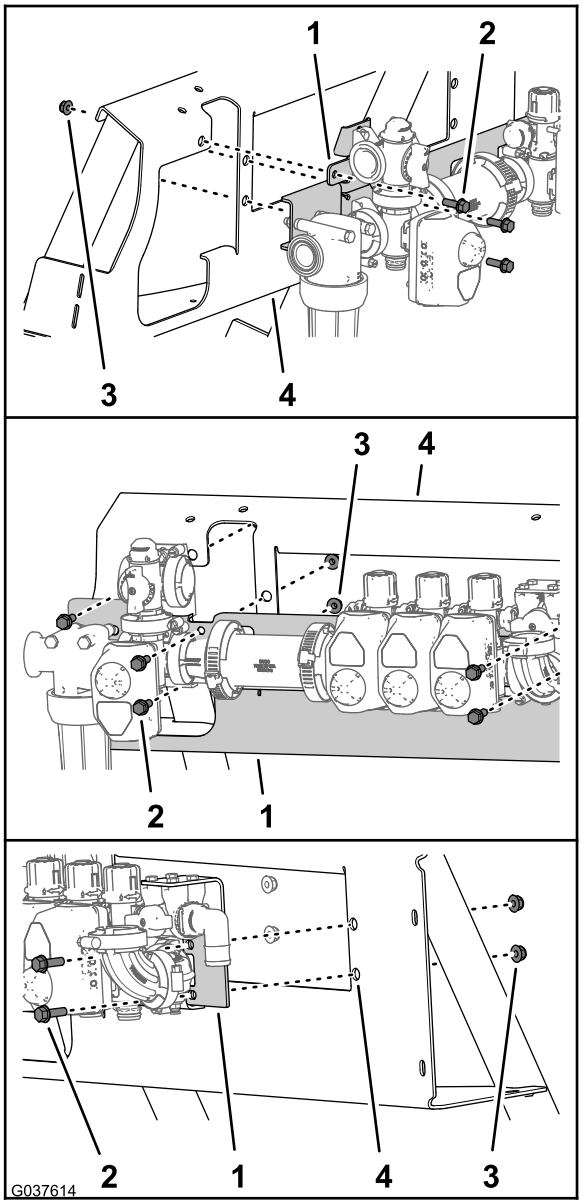


図 49

1. バルブブラケットスプレーヤバルブアセンブリ)
2. フランジヘッドボルト5/16 x /1 インチ
3. フランジロックナット5/16 インチ
4. バルブマウント

3. フランジヘッドボルトとフランジロックナットを199254N·m 2.02.6kg.m = 175225in-lb にトルク締めする。

9

バルブマウントを機体に取り付ける

必要なパーツはありません。

手順

バルブサポート、バルブ、ブームホースの重量約30kg

以下の作業は、もう一人に手伝ってもらって二人で行う。

1. バルブマウントの穴を、機体のフレームについている穴に合わせる図 50。

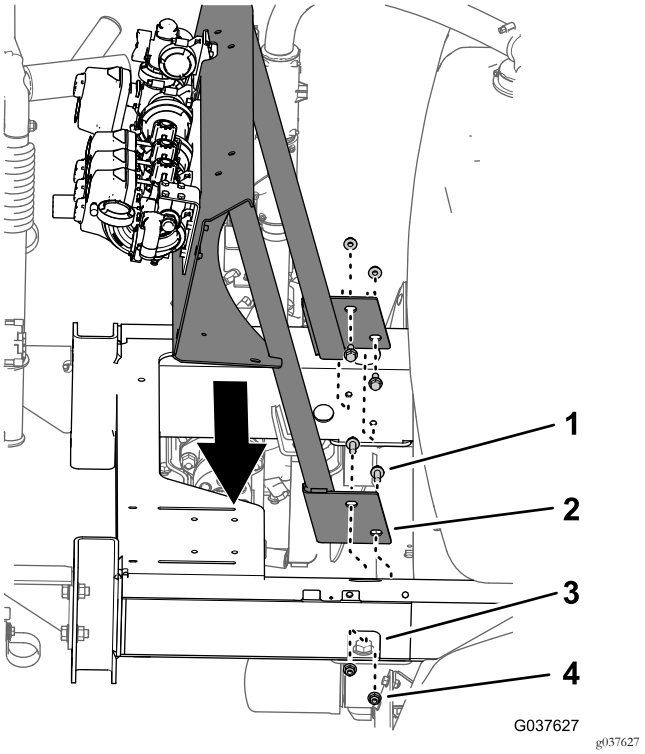


図 50

1. フランジヘッドボルト3/8 x 1 インチ
2. バルブマウント
3. 機体のフレーム
4. フランジロックナット3/8 インチ

2. バルブマウントをフレームに取り付ける図 50 バルブサポートを取り外す (ページ 19)で取り外したフランジヘッドボルト3/8 x 1 インチ4本とフランジロックナット3/8 インチ4個を使用する。
3. フランジヘッドボルトとフランジロックナットを3745N·m 3.74.6kg.m = 2733 ft-lb にトルク締めする。

4. 下部T字フィッティングの穴を、バルブマウントのスロットに合わせる図 51。

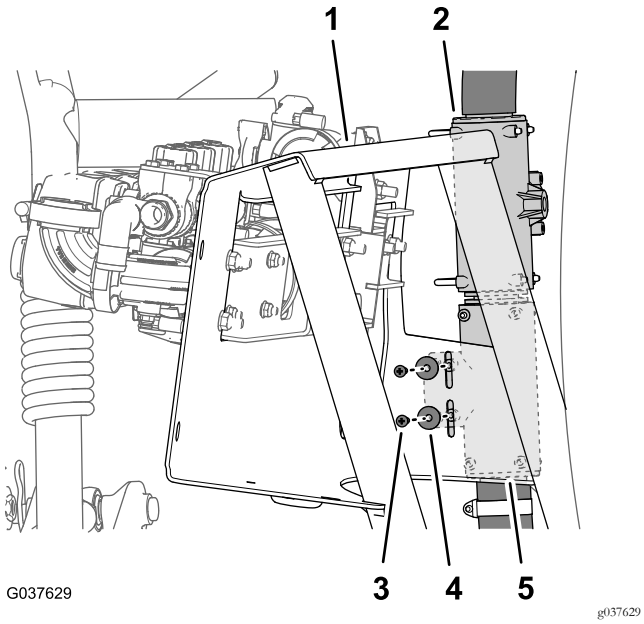


図 51

1. バルブサポート
2. 字フィッティング上側
3. ワッシャ#10
4. 十字頭ねじ#10 x 5/8 インチ
5. 字フィッティング下側

5. T字フィッティングをバルブマウントに固定する バルブサポートを取り外す (ページ 19)で取り外したプラスねじ#10 x 5/8 インチ2本とワッシャ#102枚を使用する。

10

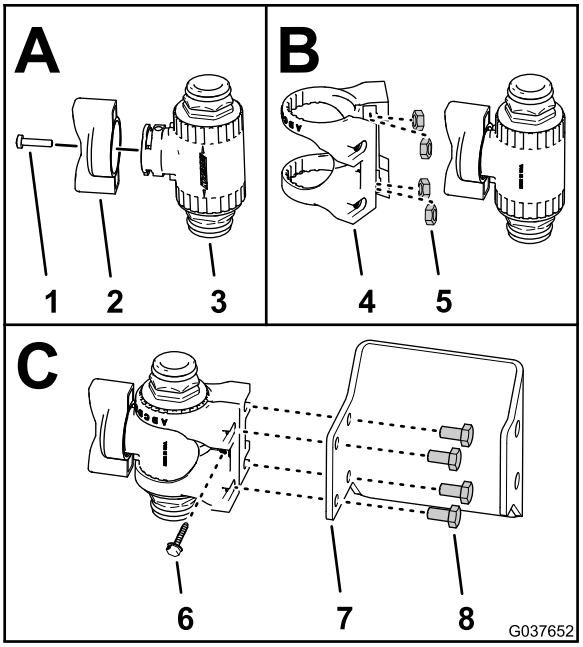
攪拌停止バルブ、ノズル、ホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	ねじ6/-32 x 5/8 インチ
1	ハンドル
1	攪拌スロットルバルブ
1	ブラケット ナイロン製
1	攪拌バルブブラケット
1	ボルト6 x 12mm
1	攪拌給液ホース
1	攪拌ノズルアセンブリ
1	攪拌バイパスホース25 x 254 mm
1	ガスケット25 x 35 mm
1	フランジクランプ40~64 mm

攪拌スロットルバルブを取り付ける

1. 攪拌スロットルバルブにハンドルを取り付ける図 52ねじ6-32 x 5/8 インチを使用する。

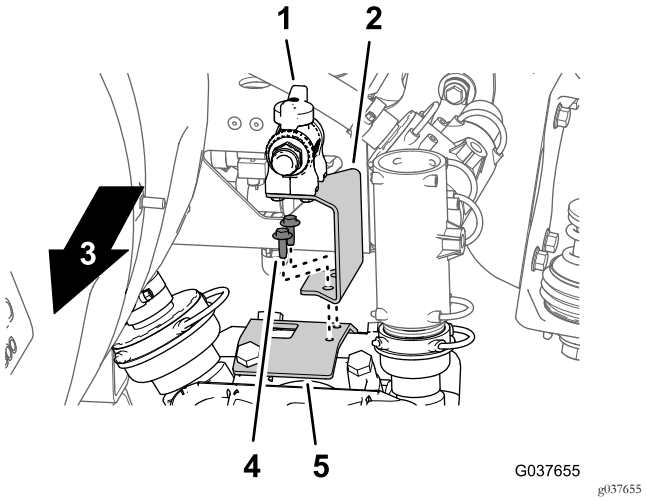


g037652

図 52

1. ねじ6/-32 x 5/8 インチ
2. ハンドル
3. 攪拌スロットルバルブ
4. スロットルバルブマウントナイロン
5. ナットステンレス6 mm—スロットルバルブマウント
6. ウオッシャヘッドねじ#6 — スロットルバルブマウント
7. 攪拌バルブブラケット
8. ボルト6 x 12mm

2. ステンレス製ナット4個をまだ組み付けていない場合は、ナイロン製スロットルバルブマウント攪拌スロットルバルブに取り付ける図 52。
3. 図 52攪拌スロットルバルブをスロットルバルブマウントに組み付ける。
4. スロットルバルブマウントを攪拌スロットルバルブに固定するねじ6-32 x 5/8 インチを使用する図 52。
5. スロットルバルブとマウントを攪拌バルブブラケットに固定するボルト6 x 12 mm4本を使用する図 52。
6. 攪拌バルブブラケットについている穴を、散布ポンプのブラケットの穴にあわせる 図 53。



g037655

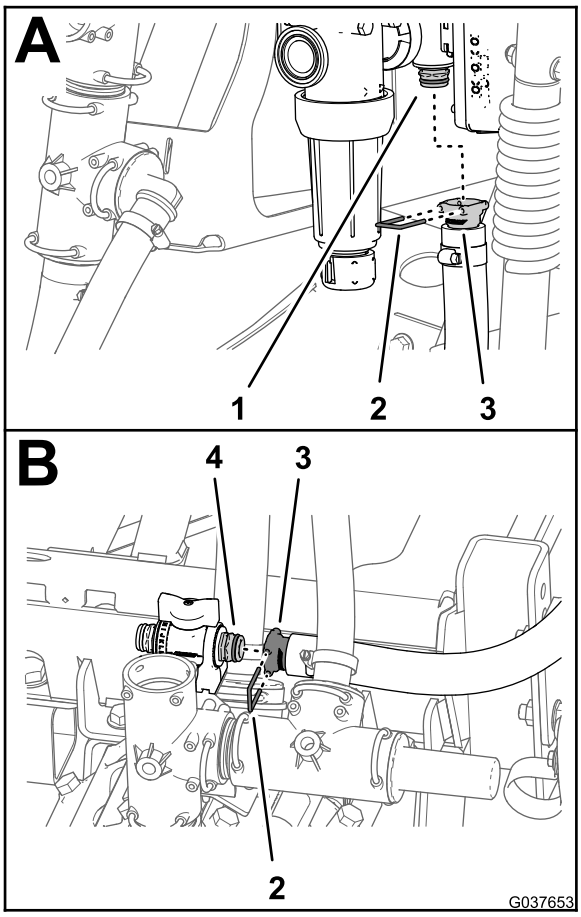
図 53

1. 攪拌スロットルバルブ
2. 攪拌バルブブラケット
3. 機体前方
4. フランジヘッドボルトネジ山形成、1/4 x 3/4 インチ
5. 散布ポンプのブラケット

7. 攪拌バルブブラケットをポンプブラケットに固定する図 53フランジヘッドボルト1/4 x 3/4 インチ2本を使用する。

攪拌ノズルアセンブリとホースを取り付ける

1. 給液ホースのバーブ付きストレートフィッティング1 x 33-1/2 インチを、攪拌スロットルバルブのクイックカップリングに組み付けるホースに付属しているリテーナを使用する図 54。

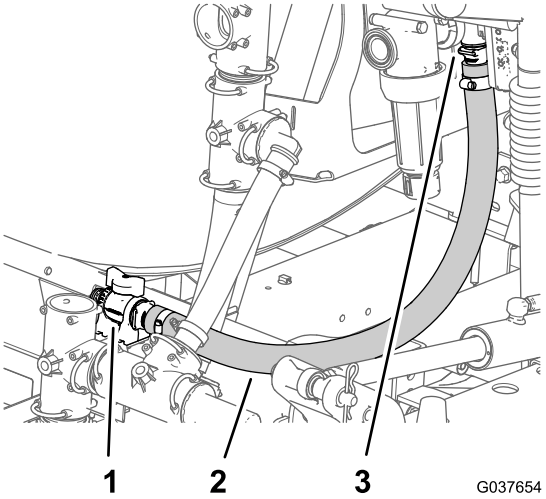


g037653

図 54

1. クイックコネクトフィッティング攪拌コントロールバルブ
2. リテーナ
3. バーブ付きストレートフィッティング 攪拌給液ホース
4. クイックコネクトフィッティング攪拌スロットルバルブ

2. ホースを攪拌スロットルバルブに配設する図 55。

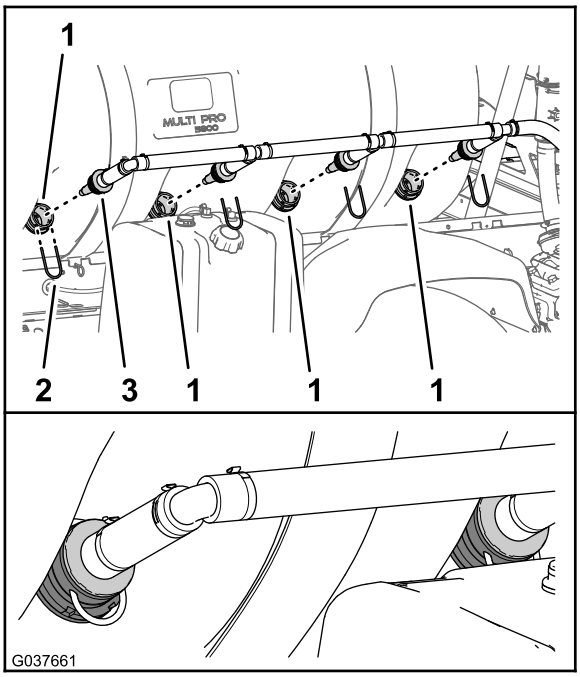


g037654

図 55

1. 攪拌スロットルバルブ
2. 攪拌給液ホース1 x 33-1/2 インチ
3. 攪拌コントロールバルブ

3. 攪拌給液ホースのバーブ付きストレートフィッティングを、攪拌スロットルバルブのクイックカップリングに組み付けるホースに付属しているリテーナを使用する図 54。
4. 攪拌ノズルアセンブリの4つのノズルを、液剤タンクのバルクヘッドフィッティングに入れる図 56。

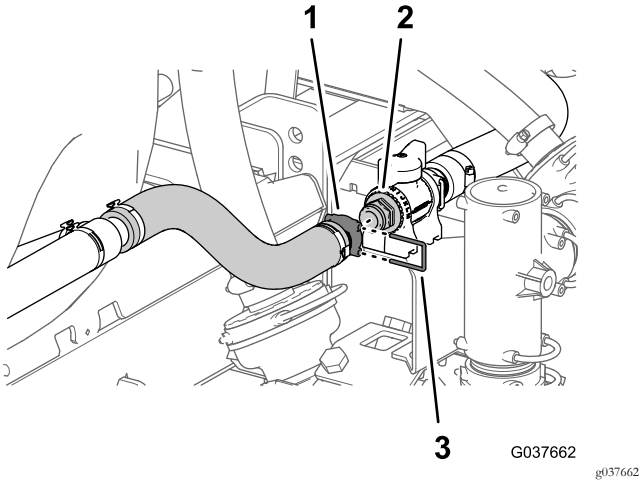


g037661

図 56

1. バルクヘッドフィッティング
2. リテーナ
3. 攪拌ノズル攪拌ノズルアセンブリ

5. 攪拌ノズルを固定するステップ 3 攪拌ノズルとホースを取り外す (ページ 14) で外したリテーナを使用する。
6. 攪拌ノズルアセンブリのバーブ付きストレートフィッティングを、攪拌スロットルバルブのクイックカップリングに組み付ける攪拌ホースアセンブリに付属しているリテーナを使用する図 57。



g037662

図 57

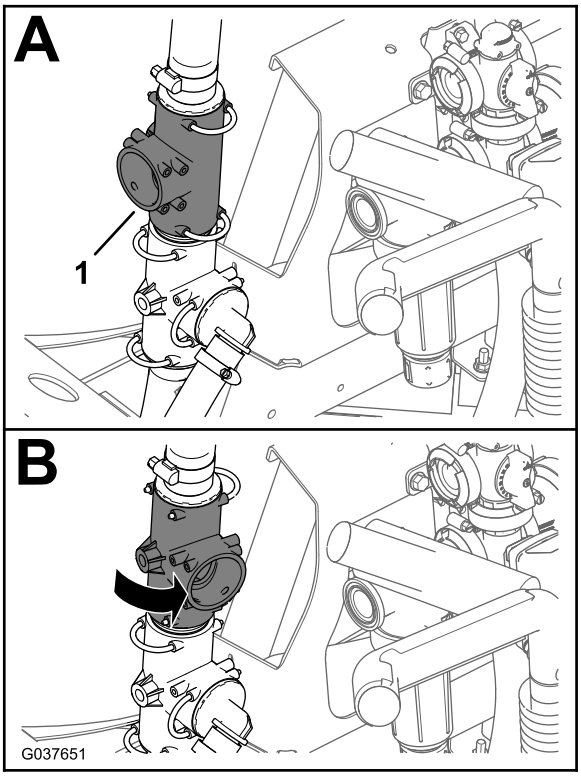
1. バーブ付きストレートフィッティング 攪拌ノズルアセンブリ
2. クイックコネクトフィッティング攪拌スロットルバルブ
3. リテーナ

ブームバイパスホースを取り付ける

オプションのエダクタキットを搭載していない車両

重要 エダクタキットを搭載している車両では、以下の作業を飛ばして 12 エダクタキット用の停止バルブとホースを取り付ける (ページ 28)へ進んでください。

1. 上側T字フィッティングを右まわりに 80°程度回転させる図 58。

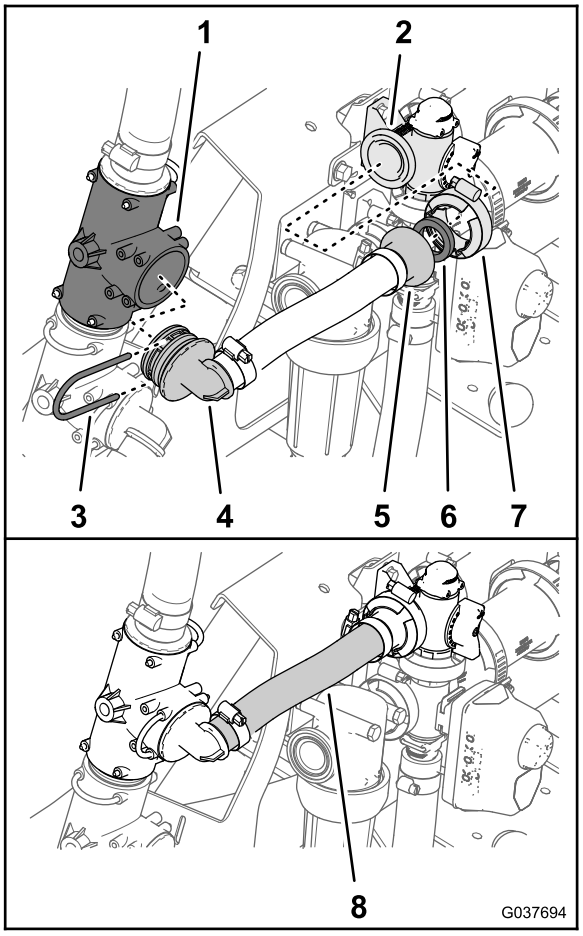


g037651

図 58

1. 上側字フィッティング

2. 攪拌バイパスホース25 x 254 mmのバーブ付き90°フィッティングを上側のT字フィッティング図 59 に取り付けるステップ 2 攪拌バイパスホースとスプレーヤ給液ホースを取り外す (ページ 16)で取り外したリテーナを使用する。



g037694

図 59

1. 上側字フィッティング
2. フランジ攪拌バイパスバルブ
3. リテーナ
4. 90°鋸歯フィッティング
5. バーブ付きフランジフィッティング
6. ガスケット25 x 35 mm
7. フランジクランプ40~64 mm
8. 攪拌バイパスホース25 x 254 mm

3. 攪拌バイパスホースのバーブ付きフランジフィッティングとガスケット25 x 35 mm (1 x 1-3/8 インチ)を、攪拌バイパスバルブのフランジに組み付けるフランジクランプ40~64 mmを使用する図 59。

11

マニホルド給液ホースを取り付ける

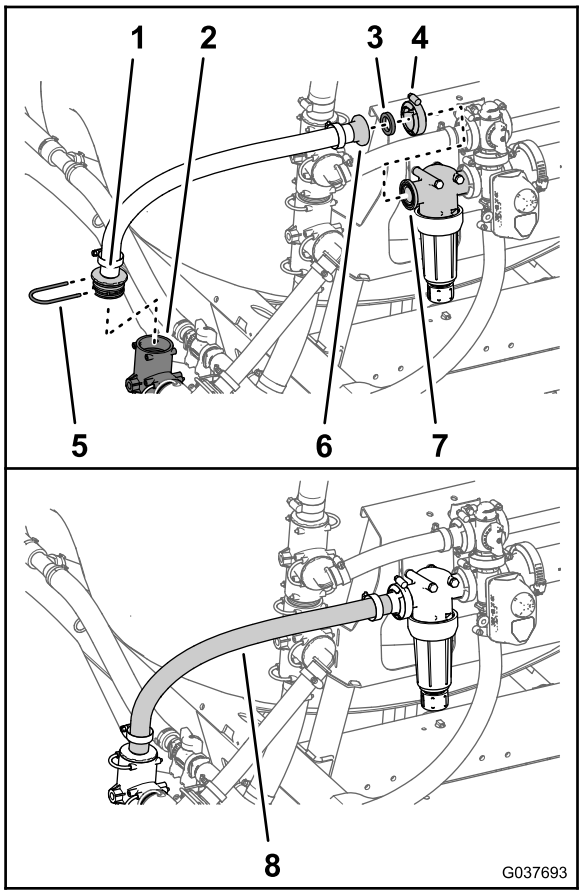
この作業に必要なパーツ

1	マニホルド給液ホース1 x 25 インチ
1	ガスケット25 x 35 mm
1	フランジクランプ40~64 mm

手順

重要 エダクタキットを搭載している車両では、以下の作業を飛ばして 12 エダクタキット用の停止バルブとホースを取り付ける (ページ 28)へ進んでください。

1. マニホルド給液ホースのバーブ付きストレートフィッティングを液剤散布ポンプのT字フィッティング図 60に取り付けるステップ 5 攪拌バイパスホースとスプレーヤ給液ホースを取り外す (ページ 16)で取り外したリテーナを使用する。



g037693

図 60

1. バーブ付きストレートフィッティング
2. T字フィッティング液剤ポンプ
3. ガスケット25 x 35 mm
4. フランジクランプ40~64 mm
5. リテーナ
6. フランジフィルタのヘッド
7. バーブ付きフランジフィッティング
8. マニホルド給液ホース1 x 25 インチ

2. マニホルド給液ホースのバーブ付きフランジフィッティングとガスケット25 x 35 mm (1 x 1-3/8 インチ)を、フィルタヘッドのフランジ図 60に組み付けるフランジクランプ40~64 mmを使用する。

12

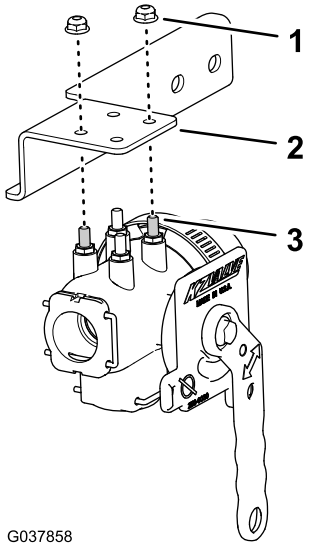
エダクタキット用の停止バルブとホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	エダクタ停止バルブ
1	停止バルブブラケット
1	フランジロックナット1/4 インチ
1	ガスケット25 x 35 mm
1	フランジクランプ40~64 mm
1	攪拌バイパスホース25 x 337 mm
1	ガスケット25 x 35 mm
1	フランジクランプ40~64 mm
1	水圧解放ホース25 x 29.8 cm
1	スプレーヤ給液ホース25 x 48.6 cm
1	エダクタ給液ホース25 x 156.5 cm

攪拌停止バルブを取り付ける

1. エダクタ停止バルブのスタッドを停止バルブ用ブラケットの穴にあわせる 図 61。



g037858

図 61

1. フランジロックナット1/4 インチ
2. 停止バルブブラケット
3. スタッドエダクタ停止バルブ

2. バルブをブラケットに組み付ける図 61フランジロックナット1/4 インチ2個を使い、5267N·m 0.50.7kg.m = 4660in-lb にトルク締めする。

3. バルブマウントの左前部で、水圧フィルタをマニホルドブラケットに固定しているフランジロックナット5/16インチ2個を取り外す図 62。

   注 水圧フィルタを固定しているボルト5/16 x 3-3/4 インチは外さないでください。

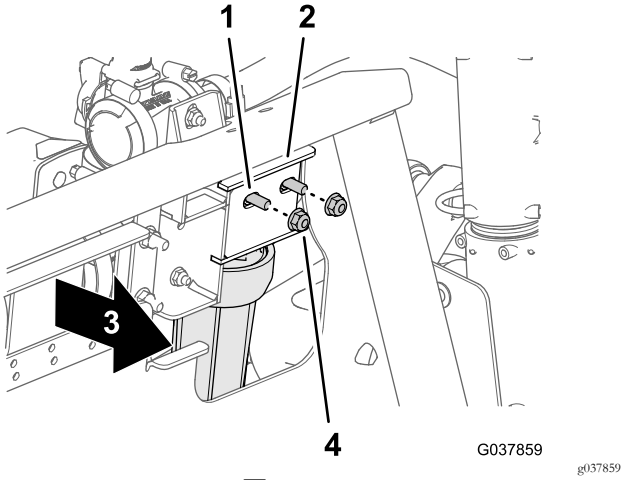


図 62

1. ボルト5/16 x 3-3/4 インチ
2. マニホルドブラケット
3. 機体前方
4. フランジロックナット5/16 インチ

4. エダクタ停止バルブのフランジとガスケット25 x 35 mmを、フィルタヘッドのフランジ図 63に組み付ける。

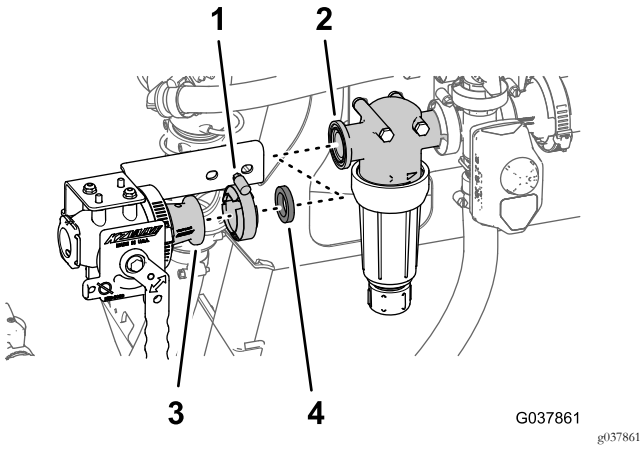


図 63

1. フランジクランプ40~64 mm
2. フランジフィルタのヘッド
3. フランジエダクタ停止バルブ
4. ガスケット25 x 35 mm

5. マニホルドブラケットの前側で、停止バルブブラケット図 64の穴をボルト5/16 x 3-3/4 インチ2本に合わせる。

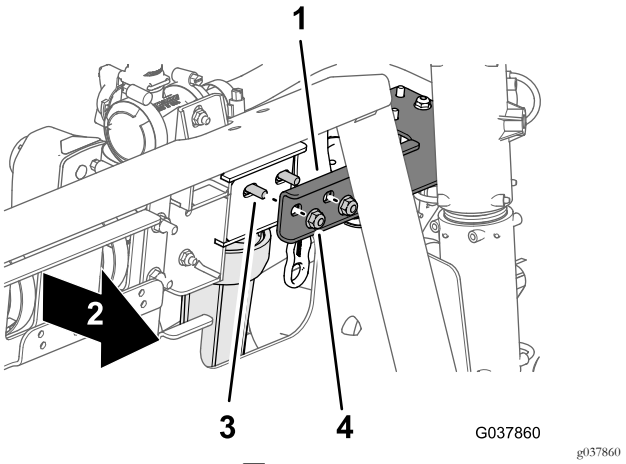


図 64

1. 停止バルブブラケット
2. 機体前方
3. ボルト5/16 x 3-3/4 インチ
4. フランジロックナット5/16 インチ

6. エダクタ停止バルブをフィルタヘッドに組み付ける図 63フランジクランプ40~64 mmを使用する。
7. 停止バルブブラケットをマニホルドブラケットに組み付ける図 64 ステップ3で外したフランジロックナット2個を使い、19782542N·m 2.02.6kg.m = 175225in-lb にトルク締めする。

圧力解放バルブの位置を変更する

1. 圧力解放ホースを圧力解放バルブのT字フィッティングに固定しているリテーナを外す 図 65。

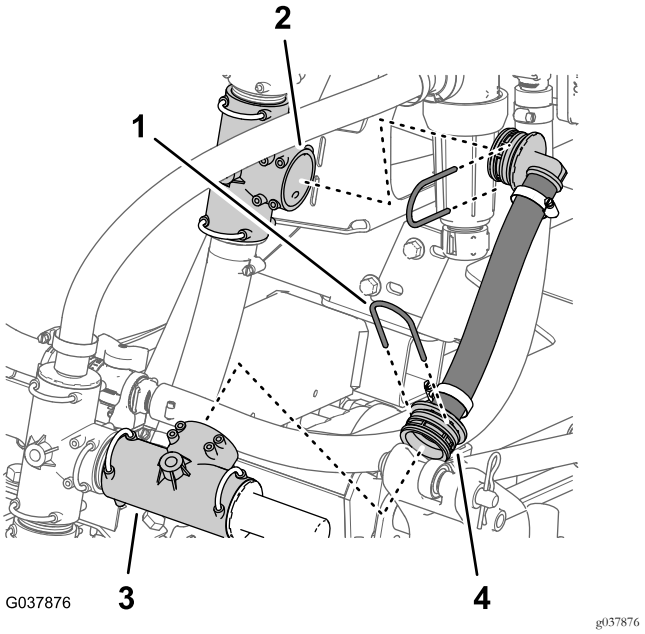


図 65

1. リテーナ
2. 下側T字フィッティング
3. T字フィッティング圧力解放バルブ
4. 圧力解放ホース

2. 圧力解放ホースを下側のT字フィッティングに固定しているリテーナを外して、圧力解放ホースを機体から外す 図 65。

   注 外したリテーナ2個は、ステップ 圧力解放ホースを取り付ける (ページ 31)で使用します。圧力解放ホースをは廃棄して構いません。

3. 圧力解放バルブのT字フィッティングをスプレーヤポンプ上部のT字フィッティングに固定しているリテーナを取り外す 図 66。

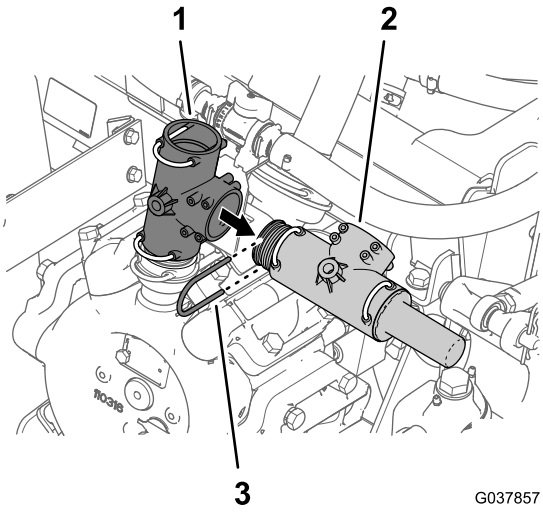


図 66

1. T字フィッティング液剤ポンプ
2. T字フィッティング圧力解放バルブ
3. リテーナ

4. 圧力解放バルブとT字フィッティングを、スプレーヤポンプ上部のT字フィッティングから取り外す 図 66。

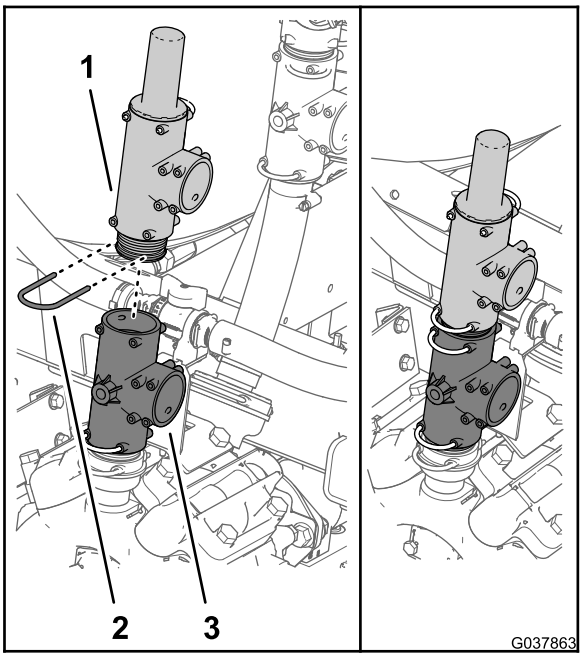


図 67

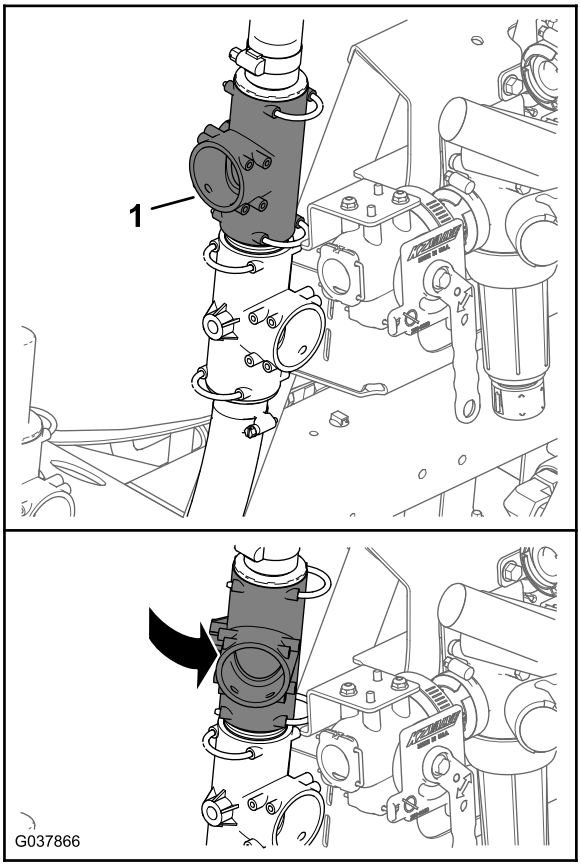
1. T字フィッティング圧力解放バルブ
2. リテーナ
3. T字フィッティング液剤ポンプ

5. 圧力解放バルブとT字フィッティングを、スプレーヤポンプ上部のT字フィッティングに組み付けるステップ3で外したリテーナを使って図 67のように取り付ける。

ブームバイパスホースを取り付ける

オプションのエダクタキットを搭載している車両

1. 上側T字フィッティングを右まわりに 35°程度回転させる図 68。

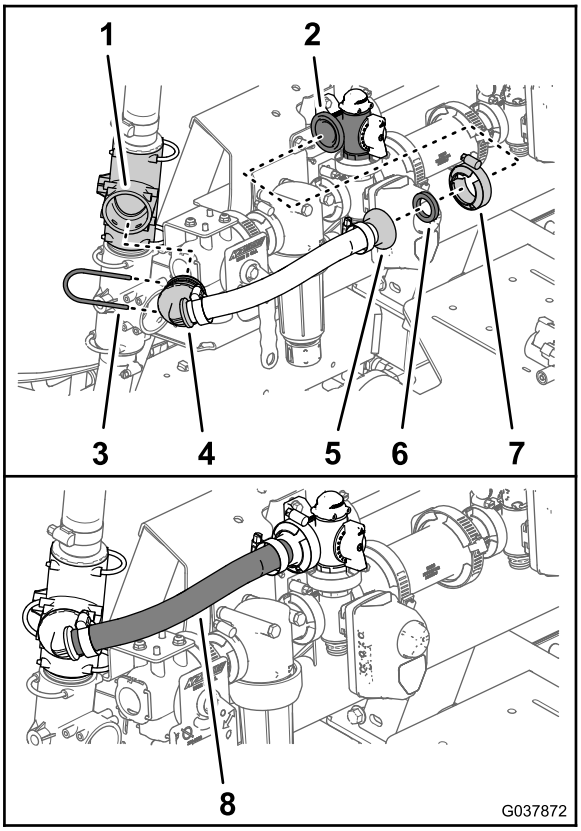


g037866

図 68

1. 上側字フィッティング

2. 攪拌バイパスホースのバーブ付き90°フィッティングを、上側のT字フィッティング図 69 に取り付けるステップ 2 攪拌バイパスホースとスプレーヤ給液ホースを取り外す (ページ 16) で取り外したリテーナを使用する。



g037872

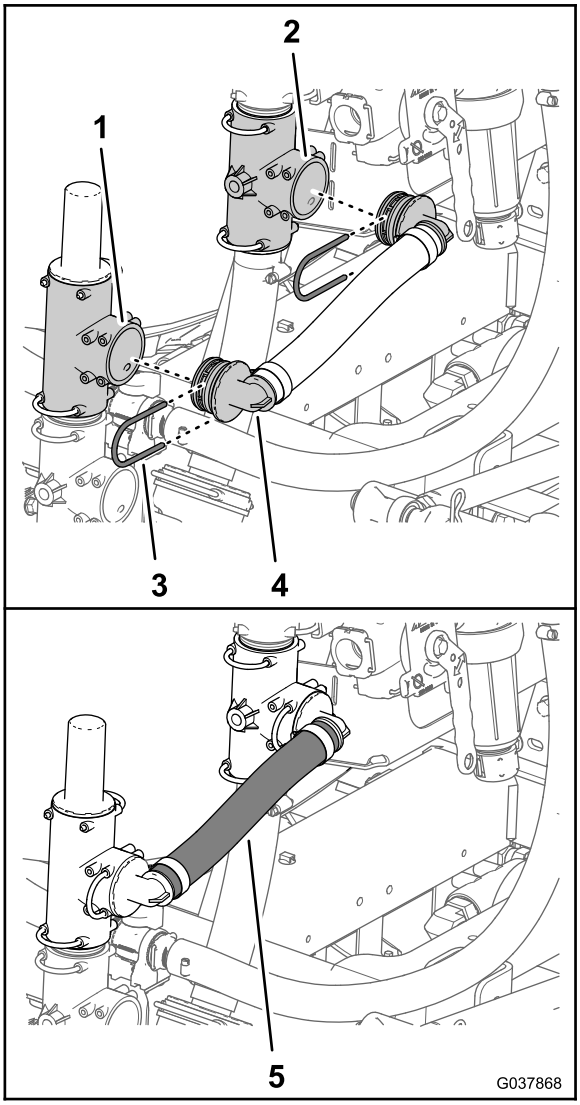
図 69

1. 上側字フィッティング
2. フランジ攪拌バイパスバルブ
3. リテーナ
4. 90°鋸歯フィッティング
5. バーブ付きフランジフィッティング
6. ガスケット25 x 35 mm
7. フランジクランプ40~64 mm
8. 攪拌バイパスホース25 x 337 mm

3. 攪拌バイパスホースのバーブ付きフランジフィッティングとガスケット25 x 35 mm (1 x 1-3/8 インチ)を、攪拌バイパスバルブのフランジに組み付けるフランジクランプ40~64 mmを使用する図 69。

圧力解放ホースを取り付ける

1. 圧力解放ホース25 x 298 mmのバーブ付き90°フィッティングを、圧力解放ポートのT字フィッティングの空いているポートに取り付ける図 70。



g037868

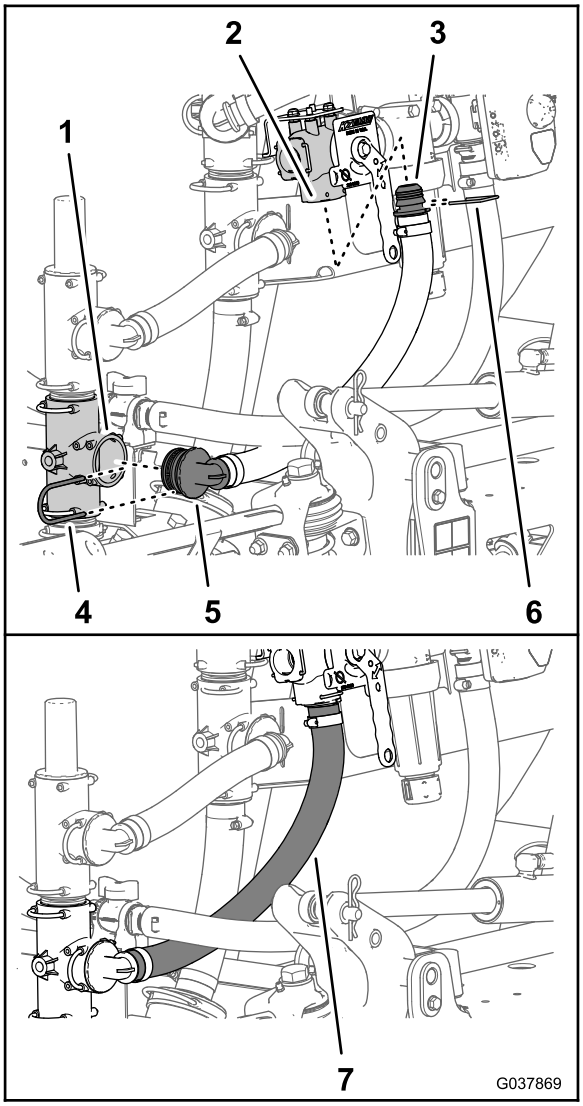
図 70

1. T字フィッティング圧力解放バルブ
2. 下側T字フィッティング
3. リテーナ
4. 90° フィッティング
5. 水圧解放ホース25 x 298 mm

2. 圧力解放ホースの 90° フィッティングを、下側T字フィッティングの空いているポートに組み付ける図 70。
3. 90° フィッティングをT字フィッティング図 70に固定するステップ 1 と 2 圧力解放バルブの位置を変更する (ページ 29)で外したリテーナ2個を使用する。

スプレーヤ給液ホースを取り付ける

1. スプレーヤ給液ホース25 x 486 mmのバーブ付きストレートフィッティングを、エダクタ停止バルブの入り口ポートに取り付ける図 71。



g037869

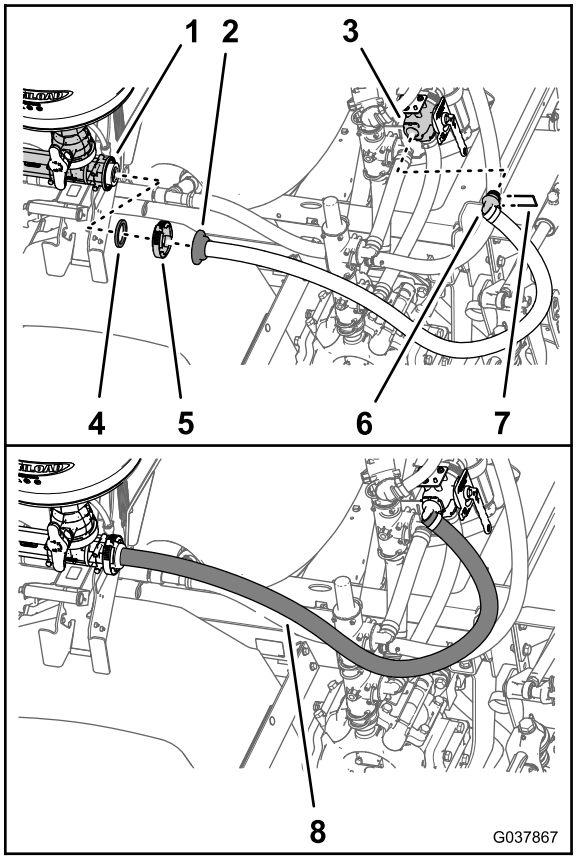
図 71

1. T字フィッティング液剤ポンプ
2. 入口ポートエダクタ停止バルブ
3. バーブ付きストレートフィッティング
4. リテーナ
5. 90° フィッティング
6. リテーナエダクタ停止バルブ
7. スプレーヤ給液ホース25 x 486 mm

2. バーブ付きストレートフィッティングを、エダクタ停止バルブに取り付ける停止バルブに付属しているリテーナを使用する図 71。
3. スプレーヤ給液ホースの 90° フィッティングを、スプレーヤポンプのT字フィッティングの空いているポートに組み付ける図 71。
4. 90° フィッティングを、T字フィッティング付きのリテーナ図 71 ステップ 5 撹拌バイパスホースとスプレーヤ給液ホースを取り外す (ページ 16)で外したものに取り付ける。

エダクタ給液ホースを取り付ける

1. エダクタ給液ホース25 x 156.5 cmの90°フィッティングを、エダクタ停止バルブの左側ポートに取り付ける図 72。



g037867

図 72

1. フランジ エダクタ入口
2. バーブ付きストレートフィッティング
3. エダクタ停止バルブ
4. ガスケット
5. フランジクランプ
6. 90° フィッティング
7. リテーナエダクタ停止バルブ
8. エダクタ給液ホース25 x 156.5 cm

2. 90°フィッティングを、エダクタ給液ホースに取り付ける停止バルブに付属しているリテーナを使用する図 72。
3. エダクタ給液ホースのバーブ付きストレートフィッティングとエダクタからエダクタ給液ホースを取り外す。 (ページ 18)で外したガスケットを、エダクタの入り口フランジに合わせる図 72。
4. バーブ付きストレートフィッティングとガスケットを、エダクタに固定する図 72 エダクタからエダクタ給液ホースを取り外す。 (ページ 18) で取り外したフランジクランプを使用する。

13

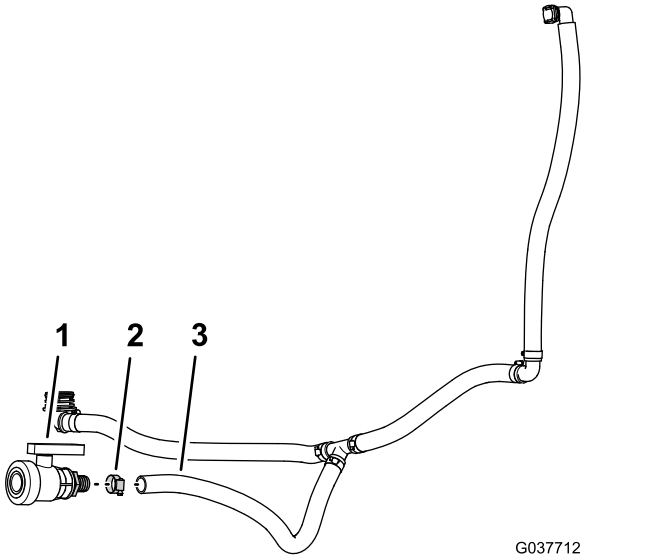
ブームバイパスホースドレンホースアセンブリを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	バイパスホースドレンホースアセンブリ
1	サポートクランプ
1	フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
1	ワッシャ5/16 インチ

タンクドレンホースを取り付ける

1. ステップ65 バイパス、ドレン、攪拌関係機器を外す (ページ 13)で外したドレンバルブのバーブ付きのフィッティングを、バイパスホースドレンホースアセンブリのドレンホース104cmに接続する図 73。



g037712

図 73

1. ドレンバルブ
2. ホースクランプ
3. ドレンホース2.5 x 104cmバイパスホースドレンホースアセンブリ

2. ドレンバルブをホースに固定するクランプ図 73はステップ65 バイパス、ドレン、攪拌関係機器を外す (ページ 13)で外したものを使用する。
3. バイパスホースドレンホースアセンブリを機体後部にセットする図 74。

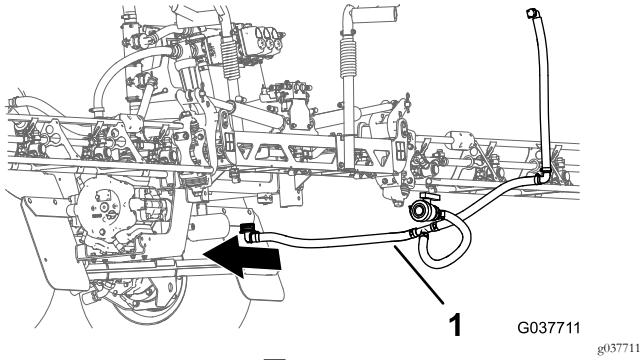


図 74

1. ドレンホースアセンブリ

4. ドレンホース25 x 67cmの90°ホースフィッティングを、タンク底部のアダプタフィッティングに取り付ける図 75と図 76。

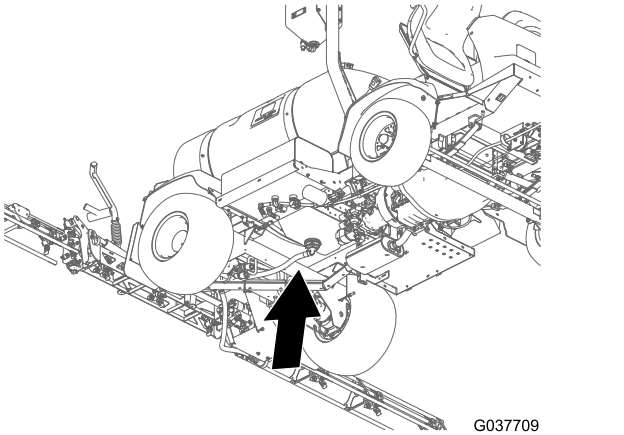


図 75

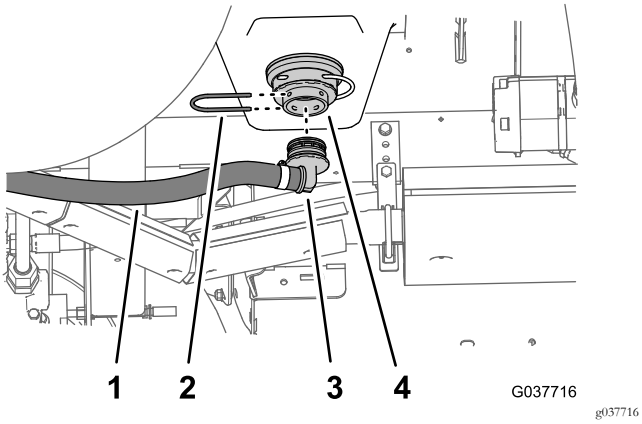


図 76

1. ドレンホース25 x 67cm
2. リテーナ
3. 90° ホースフィッティング
4. アダプタフィッティング液剤タンク底部

5. 90° ホースフィッティングを、アダプタフィッティング付きのリテーナ図 76 ステップ1 バイパス用とドレン用のホースを取り外す (ページ 13)で外したものに取り付ける。

バイパスホースを取り付ける

1. バイパスホース25 x 64cmの90°ホースフィッティングを、バイパス停止バルブのクイックコネクトフィッティングに取り付ける図 77と図 78。

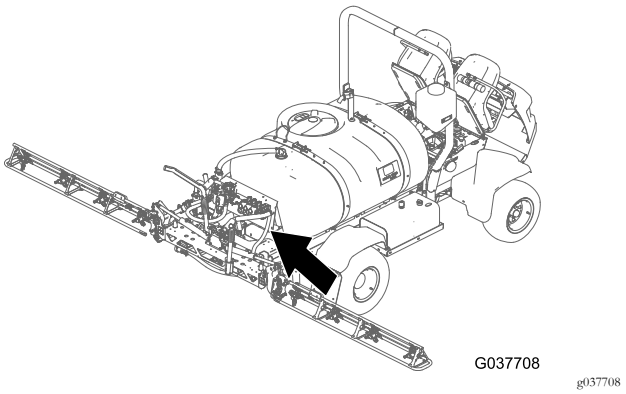


図 77

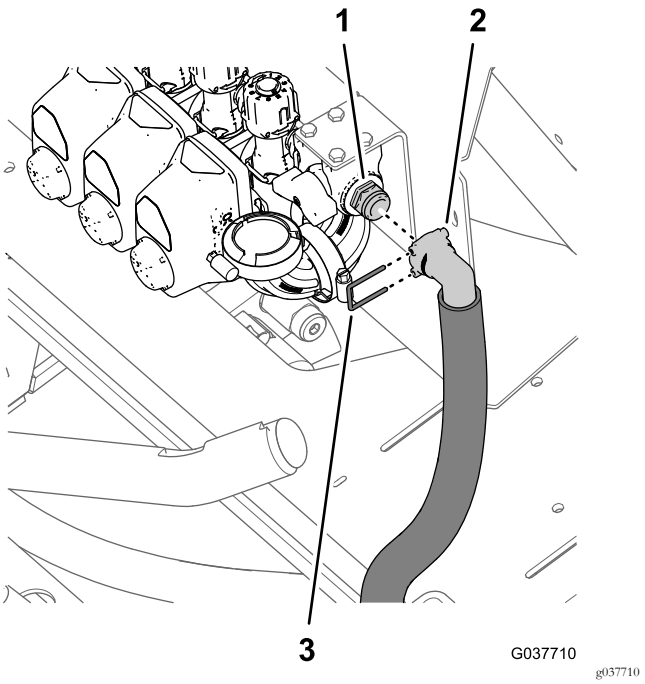


図 78

1. クイックコネクトフィッティングバイパス停止バルブ
2. バーブ付き90°フィッティング バイパスホース
3. リテーナ

2. バーブ付き90°フィッティングを、クイックコネクトフィッティングに取り付けるバイパスホースドレンホースアセンブリに付属しているリテーナを使用する図 78。

3. バイパスノースの底部を機体の後部サドルプレートに固定する 図 79サポートクランプ、フランジヘッドボルト 5/16 x 3/4 インチ、ワッシャを使用する。

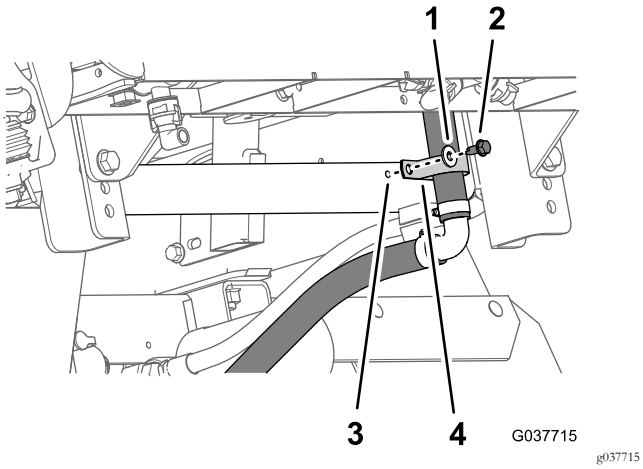


図 79

1. ワッシャ5/16 インチ
2. フランジヘッドボルト5/16 x 3/4 インチ
3. 後部サドルプレート 車両
4. サポートクランプ

ドレンバルブを取り付ける

1. ステップ4 マシンの準備を行う (ページ 5)で外したリンチピンのケーブル、フランジヘッドボルト5/16 x 1 インチ、フランジロックナット5/16 インチを、スプレーヤポンプブラケットの、後部外側コーナーの穴8mmに取り付ける図 80と図 81。

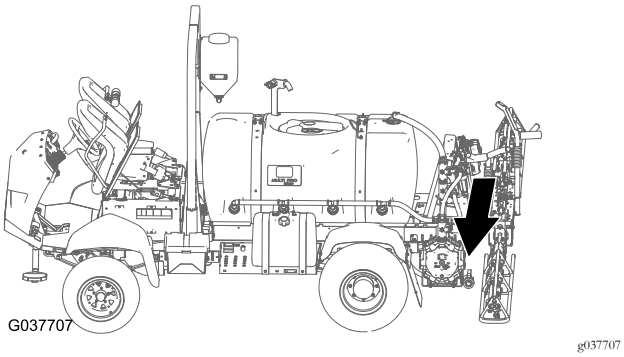


図 80

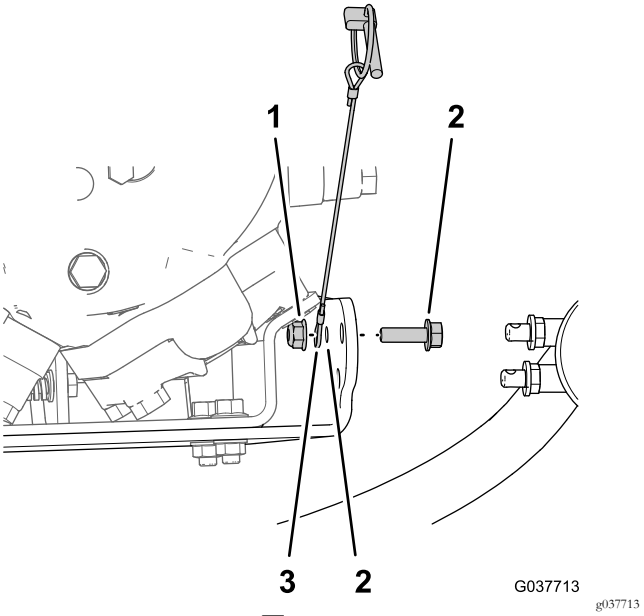


図 81

1. フランジロックナット5/16 インチ
2. フランジヘッドボルト5/16 x 1 インチ
3. ケーブルリンチピン)
4. 穴8mmスプレーヤポンプブラケット

2. ドレンバルブの固定ペグ2本図 82のそれぞれにゴム製ワッシャが取り付けられてることを確認してください。

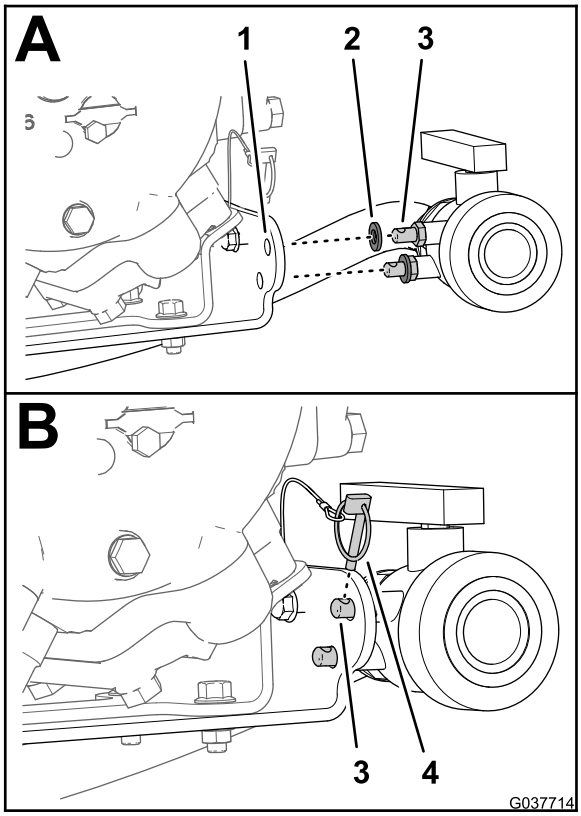


図 82

1. 散布ポンプのブラケット
2. ゴム製ワッシャ
3. 固定用ペグ
4. リンチピン

3. 固定用ペグ2本をスプレーヤポンプの2つの穴11 mmに合わせる図 82。
4. ドレンバルブをポンプブラケットにリンチピンで固定する図 82。

14

ブームホースを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	給液ホース左側ブーム2 x 205cm
1	給液ホース中央ブーム2 x 58cm
1	給液ホース右側ブーム2 x 170cm

給液ホースを各ブームのバルブに取り付ける

1. 各ブームの給液ホースをそれぞれのブームバルブに図 7に示すように配設する。

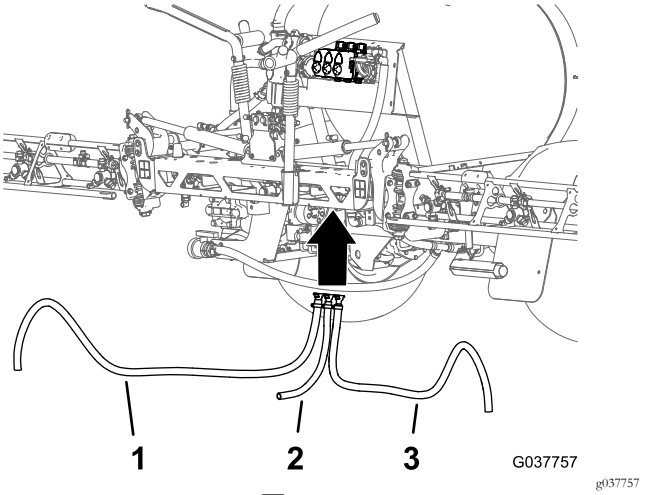


図 83

1. 左側ブーム用送液ホース
2. 中央ブーム用送液ホース
3. 右側ブーム用送液ホース

2. 左ブーム用給液ホースのバーブ付きストレートフィッティングを、左ブーム用バルブのクイックコネクトフィッティングに取り付ける図 84。

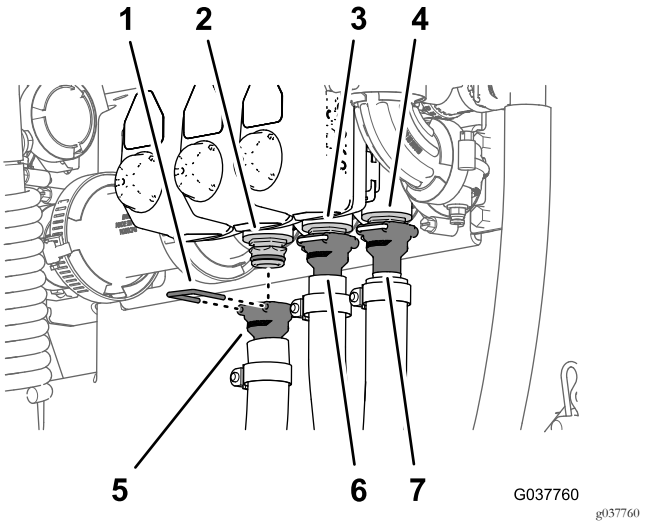


図 84

1. リテーナ
2. クイックコネクトフィッティング左ブームバルブ
3. クイックコネクトフィッティング中央ブームバルブ
4. クイックコネクトフィッティング右ブームバルブ
5. バーブ付きストレートフィッティング左ブーム用給液ホース2 x 205cm
6. バーブ付きストレートフィッティング中央ブーム用給液ホース2 x 58cm
7. バーブ付きストレートフィッティング右ブーム用給液ホース2 x 170cm

3. バーブ付きストレートフィッティングを、クイックコネクトフィッティングに取り付けるホースに付属しているリテーナを使用する図 84。

4. 中央および右ブームと、中央および右ブーム給液ホースについても、ステップ 2 と 3 を行う。

給液ホースをブームに取り付ける

1. 中央ブーム用給液ホースを、中央ブームのT字フィッティングに接続する図 85。

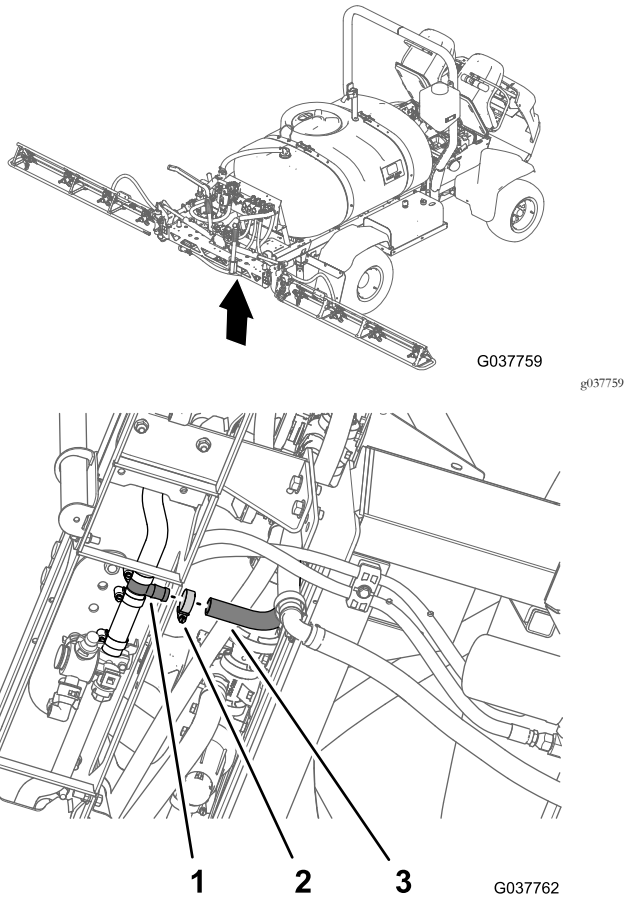


図 85

1. T 字フィッティング
2. ホースクランプ
3. 給液ホース中央ブーム2 x 58cm

2. ホースとT字フィッティングとの固定には、ブームホースを取り外す (ページ 18)で外したホースクランプを使用する。
3. 右側ブーム用給液ホースを、中央ブームのサポートクランプに通す図 86。

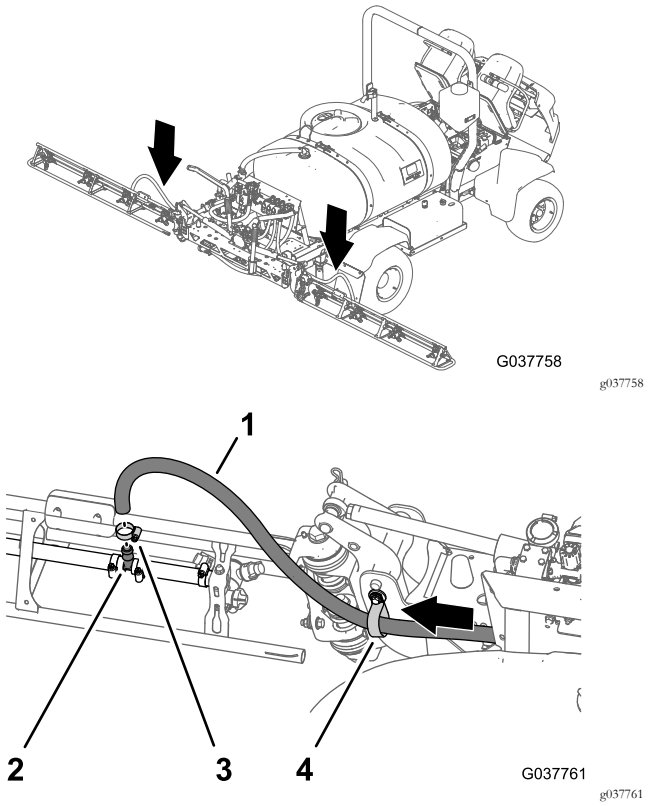


図 86
図は右ブーム

1. 給液ホース右側ブーム2 x 170cm
2. ホースクランプ
3. T 字フィッティング
4. サポートクランプ

4. 中央ブーム用給液ホースを、右ブームのT字フィッティングに接続する図 86。
5. ホースとT字フィッティングとの固定には、ブームホースを取り外す (ページ 18)で外したホースクランプを使用する。
6. 機体の反対側のブームでも、ステップ 35 の作業を行う。

15

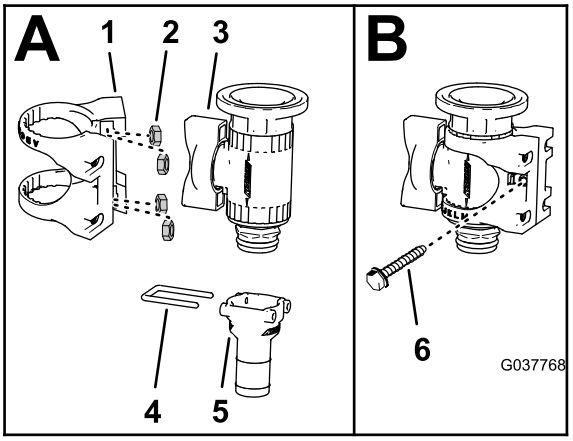
オプションのスプレーガンキットや電動ホースリールキットに停止バルブとホースを接続する

この作業に必要なパーツ

1	フランジ停止バルブ
1	ブラケット ナイロン製
1	90° エルボ圧力ポート付き
1	ガスケット25 x 35mm
1	フランジクランプ40~64mm
4	ワッシャ5/16 x 13/16in
4	ボルト6 x 16mm
2	ホースクランプ
1	クイックコネクトフィッティングソケット
1	バーブ付きストレートフィッティング (1/2 インチ)
1	ホース1.3 x 762cm
1	ホース1.3 x 180cm
3	ケーブルタイ

停止バルブの準備

1. ステンレス製ナット4個をまだ組み付けていない場合は、ナイロン製ブラケットフランジ停止バルブに取り付ける図 87。



g037768

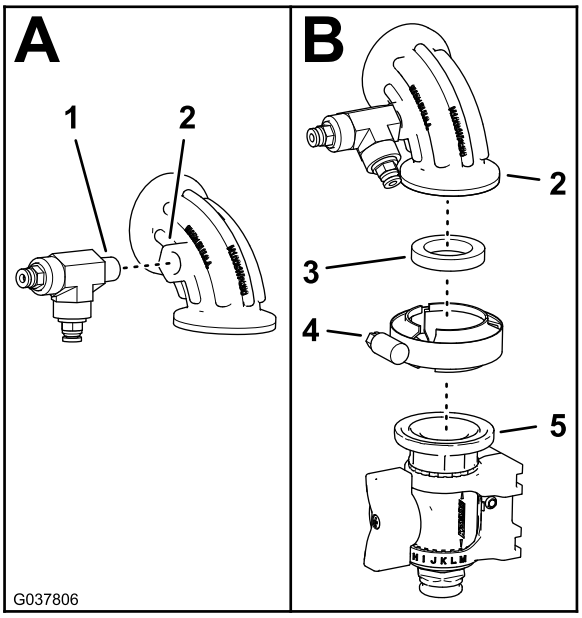
図 87

1. ナイロン製ブラケット
2. ステンレス製ナット
3. フランジ停止バルブ
4. リテーナ
5. バーブ付きストレートフィッティング (24mm)
6. ねじ6/-32 x 5/8 インチ

2. バーブ付きストレートフィッティング3/4 インチとリテーナを停止バルブから外す図 87。

   注 オプションの電動ホースリールキットを搭載する車両では、 給液ホースを取り付けるオプションの電動ホースリールキットを搭載している車両 (ページ 41)で使用するためのバーブ付きストレートフィッティング3/4インチとリテーナを保管しておいてください。**オプションのスプレーガンキット**を搭載する車両では、バーブ付きストレートフィッティング3/4インチは不要です。

3. フランジ停止バルブを、ナイロン製ブラケットに、図 87のように取り付ける。
4. ナイロン製ブラケットをフランジ停止バルブに固定するねじ6-32 x 5/8 インチを使用する図 87。
5. ステップ 4 水圧検知チューブと散布ホースを外すオプションのスプレーガンキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両 (ページ 9)で取り外したT字フィッティングを、圧力ポート付き90° エルボに取り付ける (図 88)。



g037806

図 88

1. T 字フィッティング
2. 90° エルボ圧力ポート付き
3. ガスケット25 x 35mm
4. フランジクランプ40~64mm
5. フランジ停止バルブ

6. 90° エルボを、フランジ停止バルブに組み付ける図 88ガスケット25 x 35 mm、フランジクランプ40~64 mmを使用する。

攪拌停止バルブを取り付ける

1. 右側ブームバルブのフランジにあるフランジクランプ、90° エルボアセンブリ、ガスケットを取り外す 図 89。

注 外したフランジクランプとガスケットは2で取り付けに使用します。90° エルボアセンブリは廃棄して構いません。

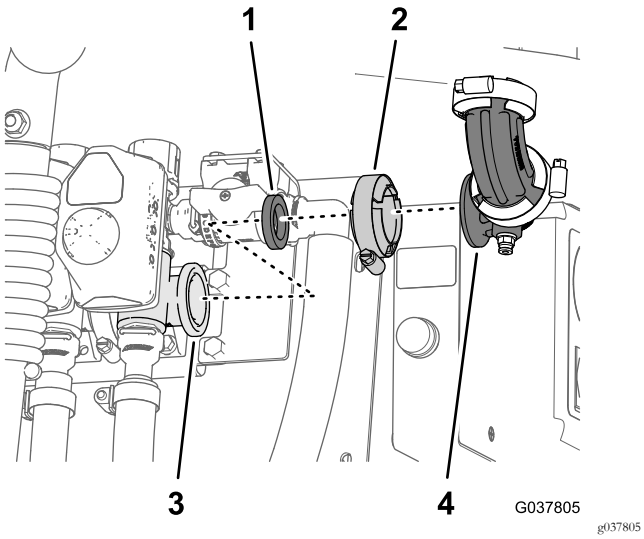


図 89

1. ガスケット
2. フランジクランプ
3. フランジ ブームバルブ
4. 90°エルボアセンブリ

2. 90° エルボとフランジ停止バルブを、右ブームバルブのフランジに取り付けるステップ 1 で取り外したフランジクランプとガスケットを使用する。

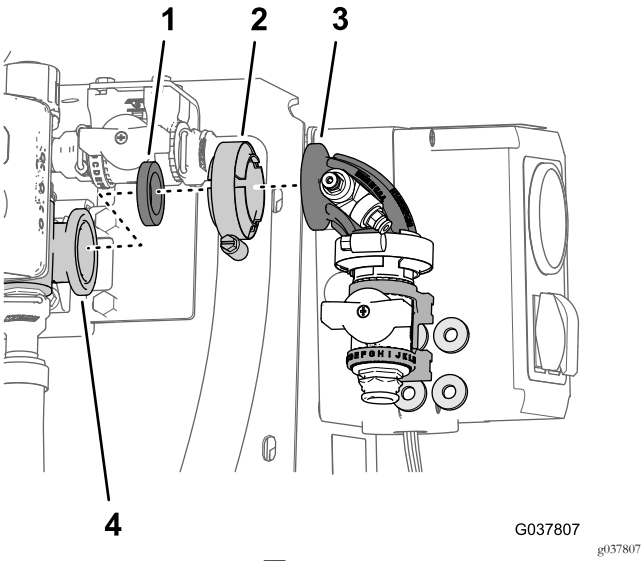


図 90

1. ガスケット
2. フランジクランプ
3. 90° エルボとフランジ停止バルブ
4. フランジ 右側ブームバルブ

3. フランジ停止バルブのナイロン製ブラケットとバルブマウントとの間にワッシャ 5/16 x 13/16 インチ4枚をセットする 図 91。

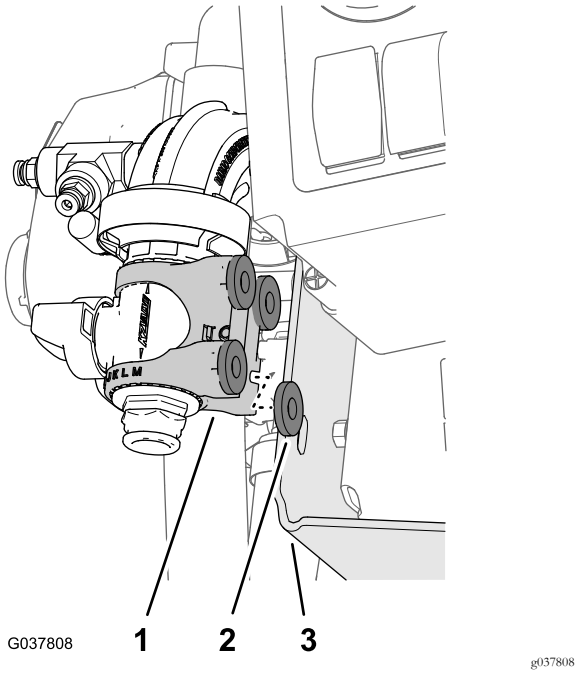


図 91

1. ナイロン製ブラケット
2. ワッシャ5/16 x 13/16 インチ
3. バルブマウント

4. ナイロン製ブラケットとワッシャをバルブマウント取り付けるボルト6 x 16mm4本を使用する 図 92。

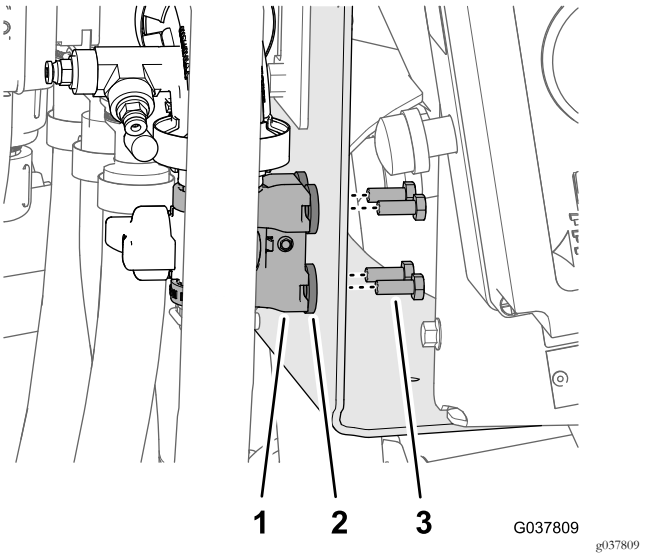


図 92

1. ナイロン製ブラケット
2. ワッシャ5/16 x 13/16in
3. ボルト6 x 16mm

給液ホースを取り付けるスプレーガンキットを搭載している車両

1. クイックコネクトフィッティングソケットを、バーブ付きストレートフィッティング1/2 インチホース 1.3 x 762cm に組み付けるステップ

給液ホースからスプレーガンを取り外す (ページ 17)で外したクランプを使って図 93のように取り付ける。

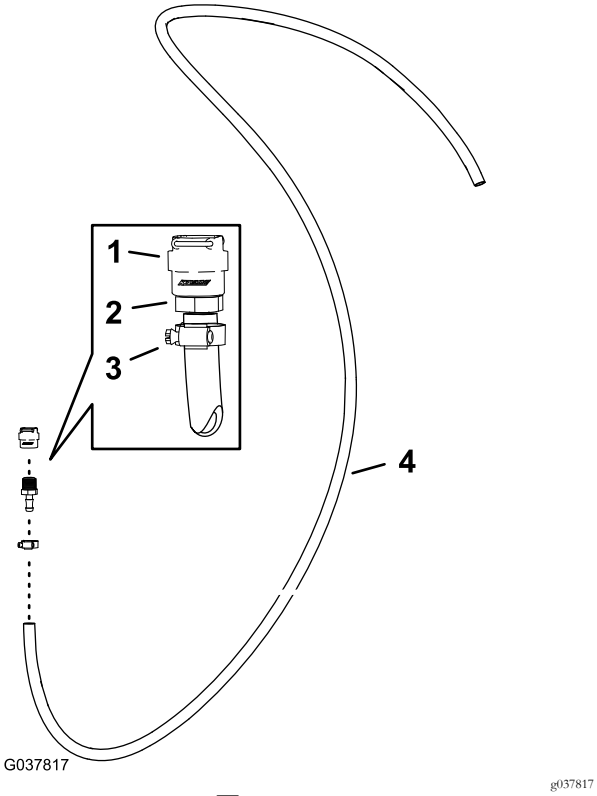


図 93

1. クイックコネクトフィッティングソケット
2. バーブ付きストレートフィッティング 1/2 インチ
3. ホースクランプ
4. ホース1.3 x 762cm

2. ホースのクイックコネクトフィッティングソケットを、フランジ停止バルブのクイックコネクトフィッティングに取り付ける図 94。

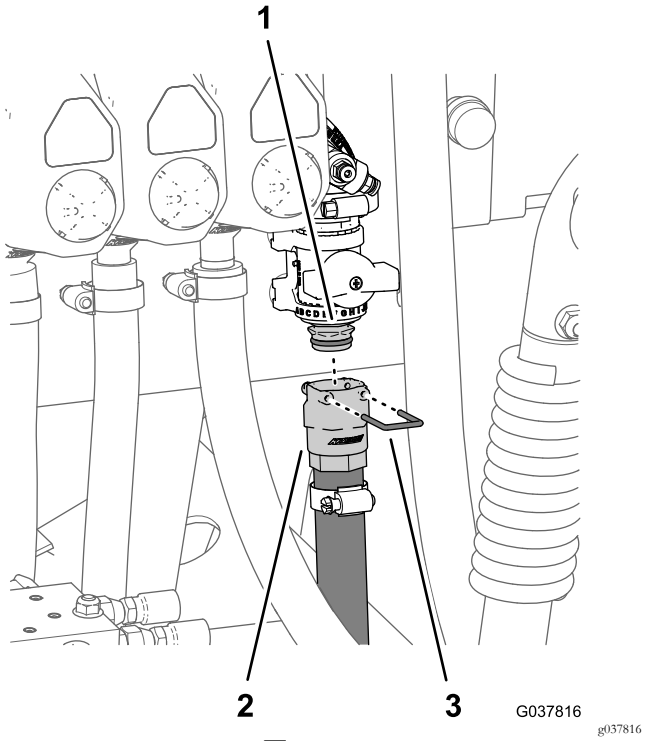


図 94

1. クイックコネクトフィッティングフランジ停止バルブ
2. クイックコネクトフィッティングソケット
3. リテーナ

3. ホースのクイックコネクトフィッティングとフランジ停止バルブを、ホースのクイックコネクトフィッティングについているリテーナで固定する図 94。
4. 給液ホースを、車両前方に配設する液剤タンクに沿ってスプレーガンブラケットへ導き、ここで、ケーブルタイ3本を使ってホースをタンクフレームに固定する図 95。

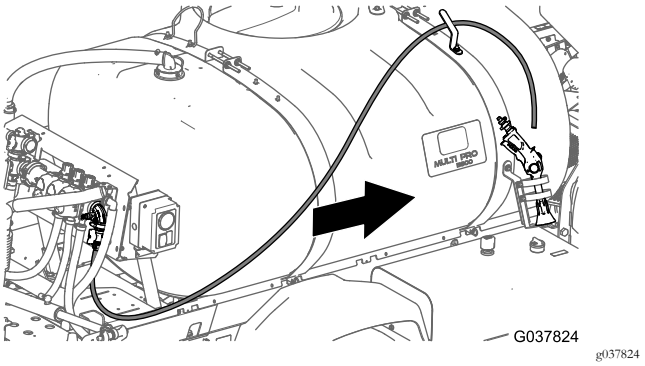


図 95

5. ステップ 給液ホースからスプレーガンを取り外す (ページ 17)で外したスプレーガンのバーブを、ホースクランプで給液ホースに取り付ける図 96。

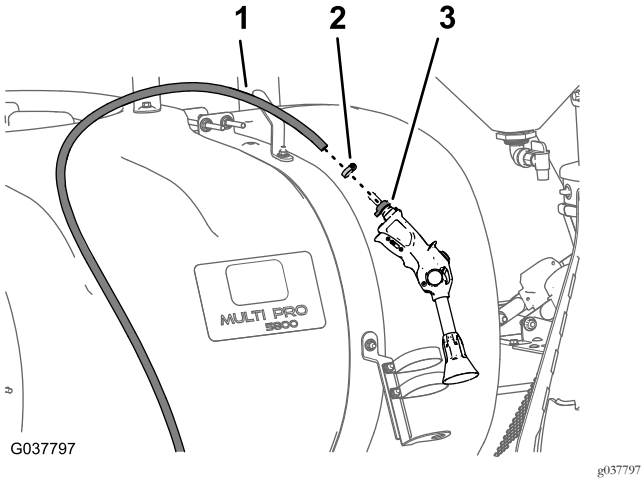


図 96

1. 給液ホース
2. ホースクランプ
3. ホースバーブスプレーガン

6. スプレーガンをスプレーガンブラケットにセットし、ホースをホースフックに掛ける。

給液ホースを取り付けるオプションの電動ホースリールキットを搭載している車両

1. ステップ2 停止バルブの準備 (ページ 38)で外したバーブ付きストレートフィッティング3/4 インチを、ホースクランプでホース1.3 x 180cmに取り付ける図 97。

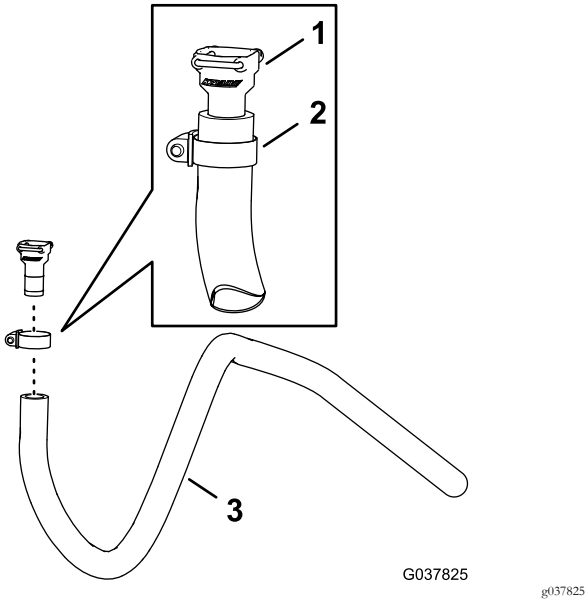


図 97

1. バーブ付きストレートフィッティング 3/4 インチ
2. ホースクランプ
3. ホース1.3 x 180cm

2. ホースのバーブ付きストレートフィッティングを、フランジ停止バルブのクイックコネクトフィッティングに取り付ける図 98。

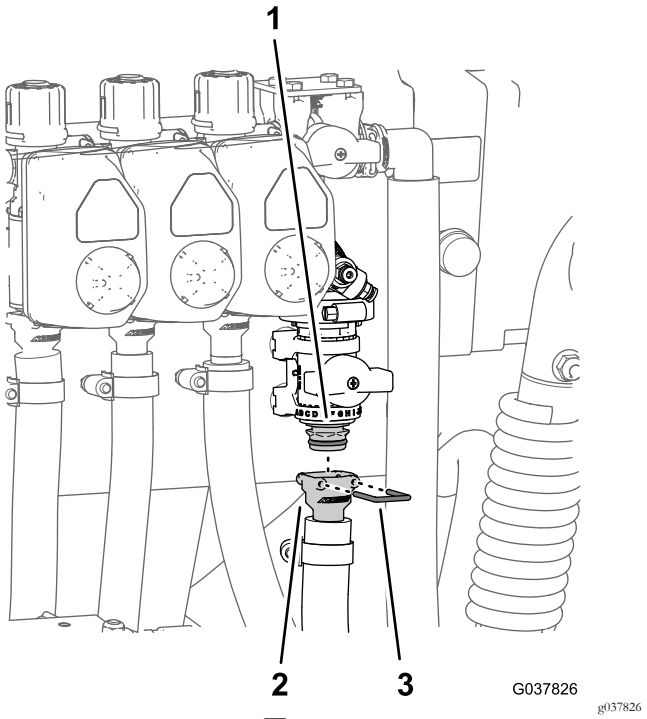


図 98

1. クイックコネクトフィッティングフランジ停止バルブ
2. バーブ付きストレートフィッティング
3. リテーナ

3. バーブ付きストレートフィッティングとクイックコネクトフィッティングをリテーナに固定するホースのクイックコネクトフィッティングについているリテーナを使用する図 98。
4. 給液ホースを、車両前方に配設する液剤タンクに沿ってホースリールへ導き、ここで、ケーブルタイ3本を使ってホースをタンクフレームに固定する図 99。

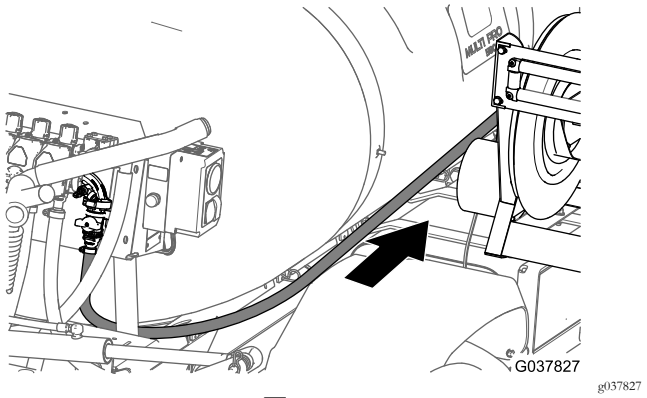


図 99

5. 給液ホースを、ホースリールのバーブ付きストレートフィッティングに接続し、ホースクランプで固定する図 100。

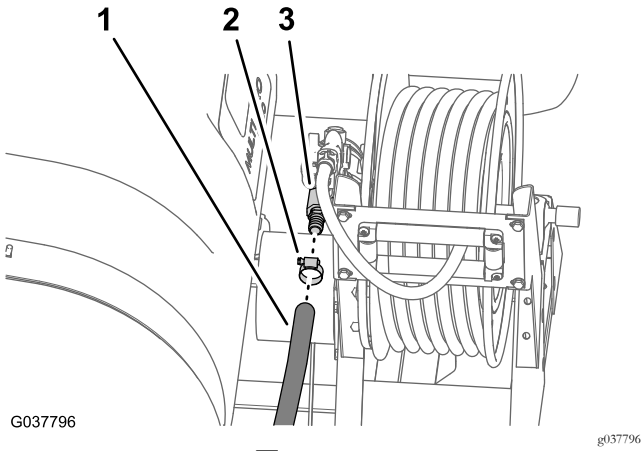


図 100

1. 給液ホース
2. ホースクランプ
3. ストレートホースバーブ

16

後方ワイヤハーネスを車体に取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	後方ワイヤハーネス
3	ケーブルタイ

フレームチューブに沿ってワイヤハーネスを敷設する

1. 新しい電気ハーネスから、168cm の枝線を探し出す図 101。

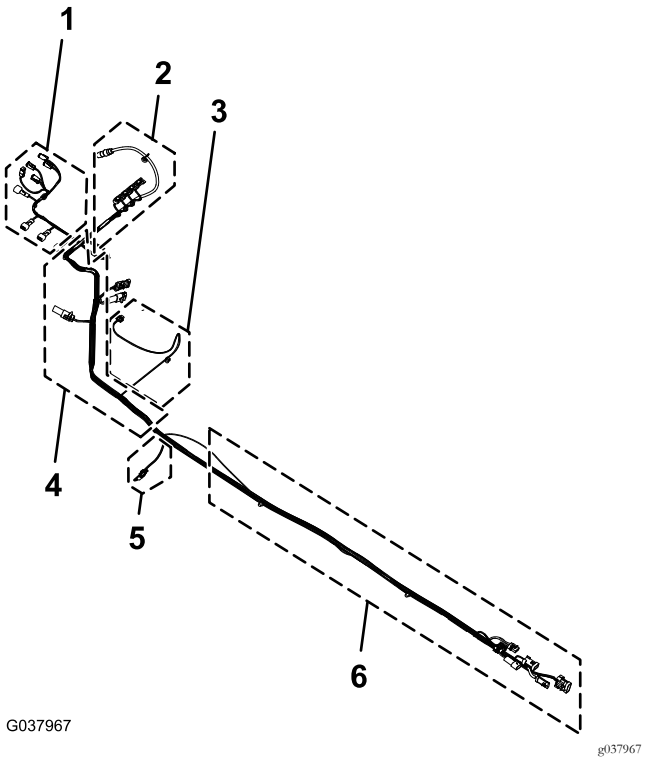
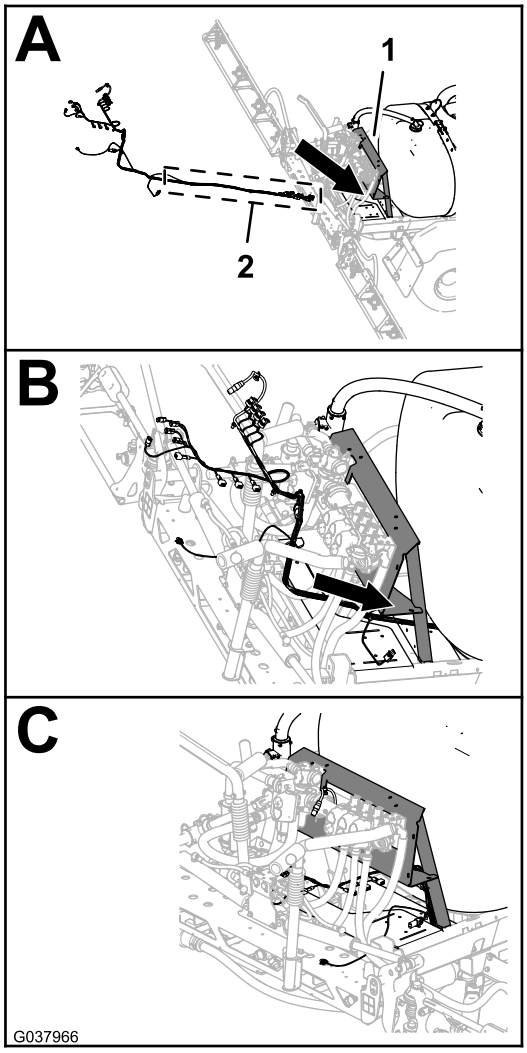


図 101

1. 64cm **昇降シリンダのソレノイド**
2. 76cm のハーネス枝線 **各ブームのスプレーバルブ、攪拌バルブ、フローメータ**
3. 74cm のハーネス枝線 **スプレーポンプのソレノイド**
4. ワイヤハーネスの枝線**すすぎポンプ、ホースリールの電源、ホースリール**
5. 30cm のハーネス枝線 **速度センサー**
6. 168cm のハーネス枝線 前方ハーネスへのコネクタ

2. 新しいハーネスの168cm の枝線を、バルブマウントとマニホルドマウント用の右側サポートとの間に通す図 102。

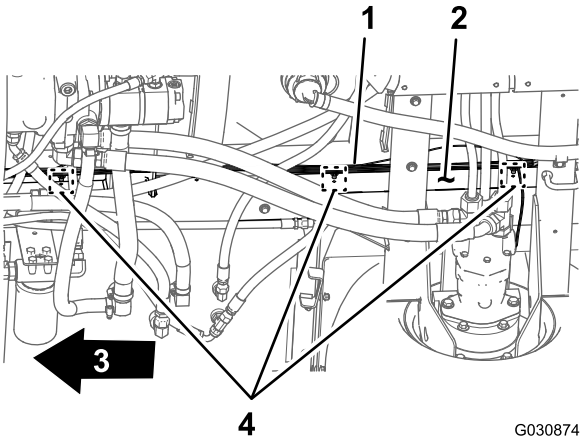


g037966

図 102

1. マニホルドマウント
2. 168cm のハーネス枝線 前方ハーネスへのコネクタ

3. 168 の枝線と cm の枝線を、右側フレームチューブに沿って前方へ延ばす図 103。



g030874

図 103

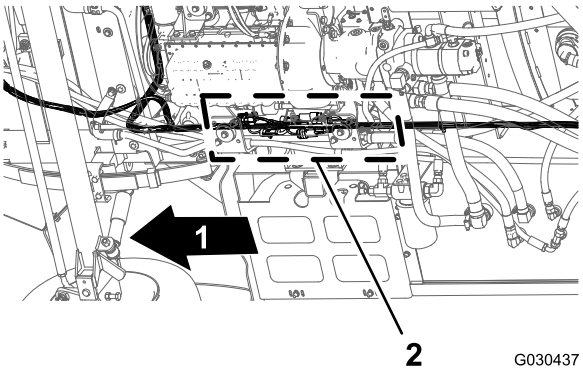
1. 後方ワイヤハーネス 168cm の枝線
2. 右側フレームチューブ
3. 機体前方
4. 押し込み型ファスナとケーブルタイの位置

4. 後方ワイヤハーネスの 168cm の枝線の押し込み型ファスナを、右側フレームチューブの穴に差し込む図 103 この穴は、古い後方ワイヤハーネスを取り外した跡の穴ステップ 3 前ハーネスと後ろハーネスの接続を外す (ページ 10)を参照。

前ハーネスと後ろハーネスを相互に接続する

注 前ハーネスと後ろハーネスの接続を行う時は、ホイストで機体を持ち上げて行ってください。

1. 機体の下の右フレームチューブに沿って配設されている前後のワイヤハーネスの相互コネクタを探し出す図 104。



g030437

図 104

1. 機体前方
2. コネクタのインタフェース前と後ろハーネス

注 前方ハーネスの3ソケットコネクタは使用しません 図 105。

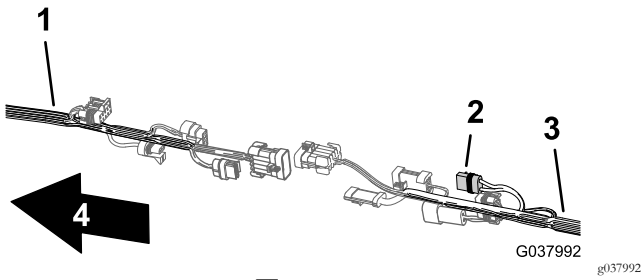


図 105

1. 前方ワイヤハーネスス
2. 2ソケットコネクタ **使用しない**2015年以降の新しいホースリール電源
3. 後方ワイヤハーネス
4. 機体前方

2. 前方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクトの10ソケットコネクタを、後方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクトの10ピンコネクタに接続する図 106。

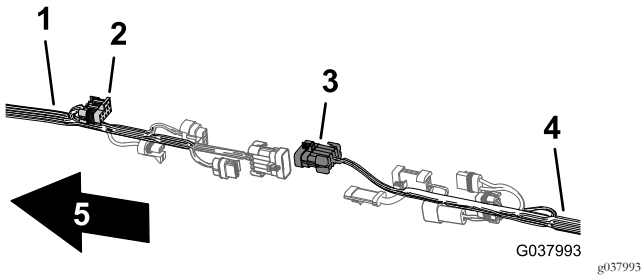


図 106

1. 前方ワイヤハーネスス
2. 10ソケットコネクタスプレーヤ用ハーネス前ハーネス
3. 10ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
4. 後方ワイヤハーネス
5. 機体前方

3. 前方ハーネスのフローメータ用の3ソケットコネクタを、後方ハーネスのフローメータ用3ピンコネクタに接続する図 107。

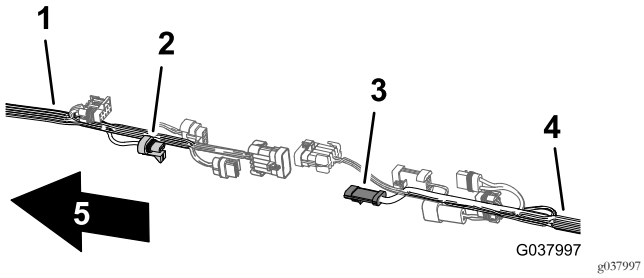


図 107

1. 前方ワイヤハーネスス
2. 3ソケットコネクタフローメータ前ハーネス
3. 3ピンコネクタフローメータ後ハーネス
4. 後方ワイヤハーネス
5. 機体前方

4. 前方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクトの8ピンコネクタを、後方ハーネスのレートスイッチ用8ソケットコネクタに接続する図 108。

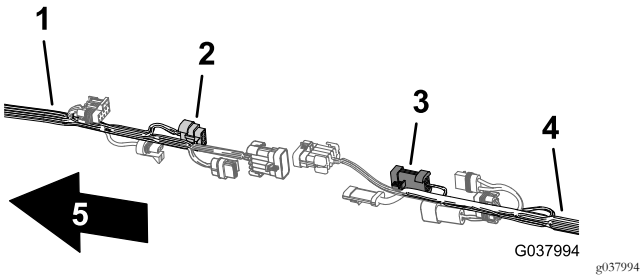


図 108

1. 前方ワイヤハーネスス
2. 8ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
3. 8ソケットコネクタレートスイッチ後ハーネス
4. 後方ワイヤハーネス
5. 機体前方

5. 前方ハーネスのすすぎポンプ用2ピンコネクタを、後方ハーネスのすすぎポンプ用2ソケットコネクタに接続する図 109。

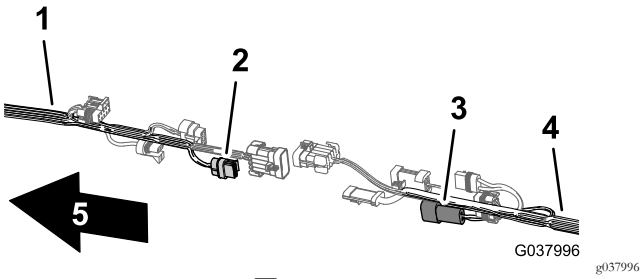


図 109

1. 前方ワイヤハーネスス
2. 2ソケットコネクタすすぎポンプ後ハーネス
3. 2ピンコネクタすすぎポンプ前ハーネス
4. 後方ワイヤハーネス
5. 機体前方

6. 前方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクトの10ピンコネクタを、後方ハーネスのスプレーヤ用ハーネスインターコネクトの10ソケットコネクタに接続する図 110。

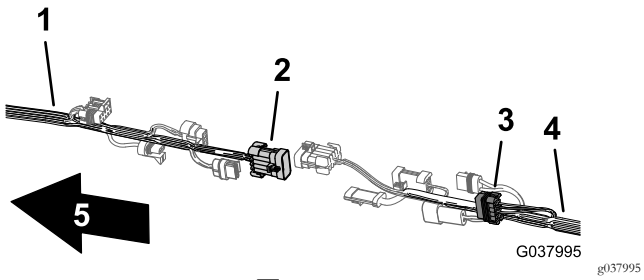


図 110

1. 前方ワイヤハーネスス
2. 10ピンコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス前ハーネス
3. 10ソケットコネクタスプレーヤ用ワイヤハーネス後ハーネス
4. 後方ワイヤハーネス
5. 機体前方

ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを後方ワイヤハーネスに沿って配設する

1. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを、車体の後方ワイヤハーネスに沿って配設する図 111。

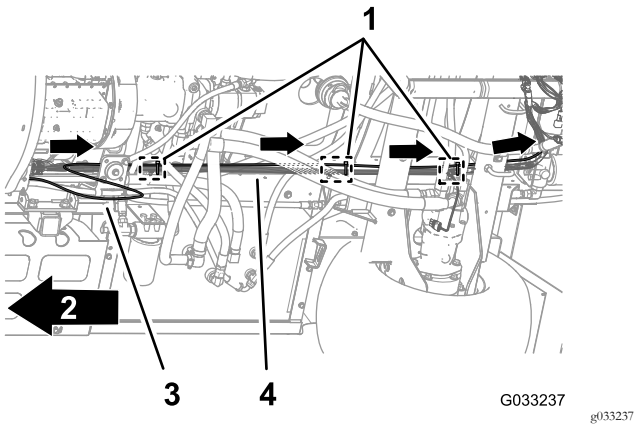


図 111

1. ケーブルタイ (押し込み型ファスナシャーシのアンカーポイント)
2. 機体前方
3. 水圧検知チューブ
4. 後方ワイヤハーネス

2. 水圧検知チューブを後方ワイヤハーネスに固定するケーブルタイ3本を使い、後方ワイヤハーネスのシャーシ上のアンカーポイント押し込みファスナの近くに固定する図 111。

重要 水圧検知チューブを縛ってつぶさないように注意してください。ケーブルタイはチューブを固定できる程度の力で締め付けてください。

17

後方ワイヤハーネスを接続する

必要なパーツはありません。

ワイヤハーネスをマニホルドマウントへ敷設する

1. 図 112に示すように、ワイヤハーネスの 76cm の枝線を、バルブマウントのサポートストラットよりも車体内側を通して車体後方、ブームバルブと攪拌バルブまで導く。

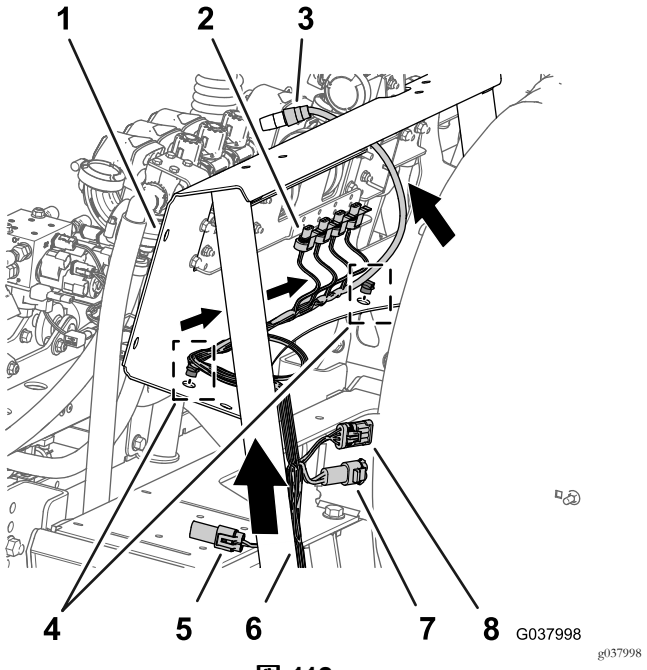


図 112

1. マニホルドマウント
2. 3ソケットコネクタブームバルブと攪拌バルブ
3. 3ソケットコネクタフローメータ
4. プッシュインファスナー
5. 2ソケットコネクタすすぎポンプ
6. 76cm のハーネス枝線 各ブームのスプレーバルブ、攪拌バルブ、フローメータ
7. 2ピンコネクタ2015年以降の新しいホースリール電源
8. 3ソケットコネクタホースリール

2. 76cm の枝線の押し込み型ファスナを、マニホルドマウントの下側フランジに差し込む図 112。

スプレーヤポンプ用のワイヤハーネスを敷設する

1. スプレーポンプのソレノイド用の 74cm の枝線を、機体のフレームチャネル部材の上を横断

させ、そこから下がってポンプソレノイドへ配設する図 113。

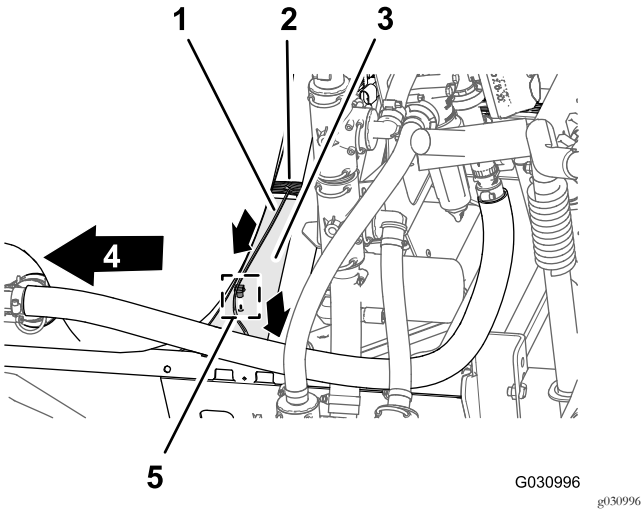


図 113

1. 74cm のハーネス枝線 スプレーポンプのソレノイド
2. 76cm のハーネス枝線 各ブームのスプレーバルブ、攪拌バルブ、フローメータ
3. チャネル部材スプレーヤのフレーム
4. 機体前方
5. プッシュインファスナー

2. 74cm の枝線の押し込み型のファスナを、機体フレームのチャネル部材の穴に差し込む図 113。

ワイヤハーネスをブームバルブと攪拌バルブに接続する

1. 攪拌バルブのアクチュエータ用の3ピンコネクタを、76cm の枝線の AGITATION VALVE というラベルの付いた3ソケットコネクタに接続する図 114。

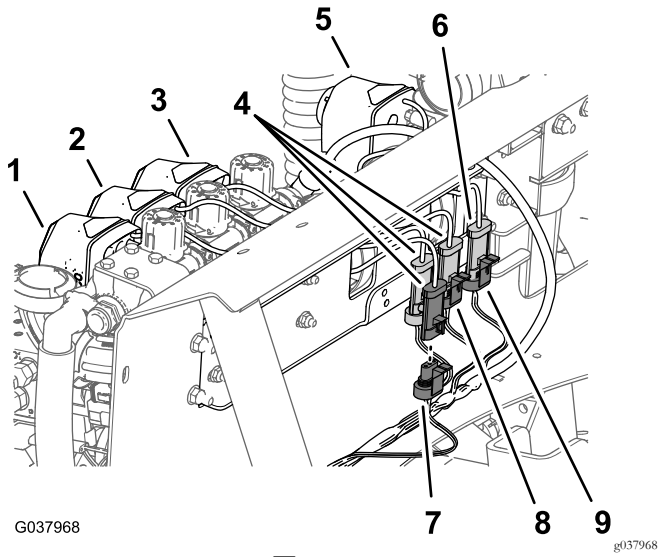


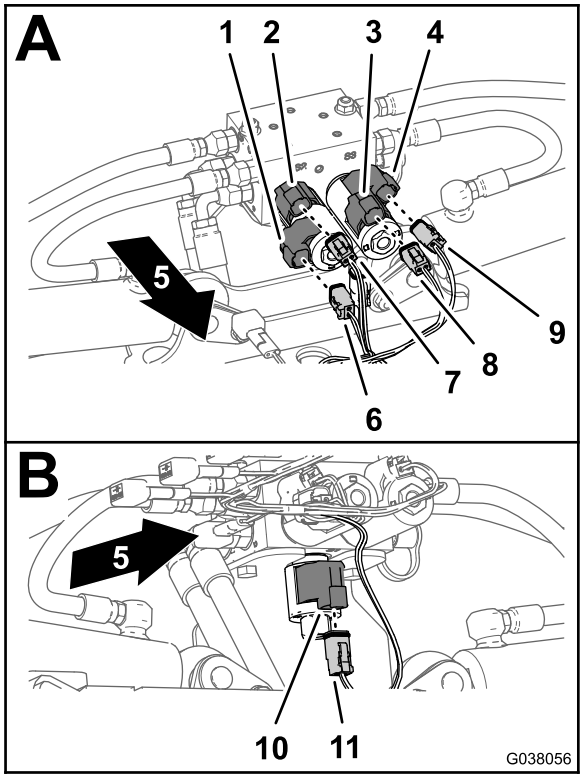
図 114

1. 左アクチュエータブームバルブ
2. 中央アクチュエータブームバルブ
3. 右アクチュエータブームバルブ
4. 3ピンコネクタハーネスブームバルブのアクチュエータ
5. アクチュエータ 攪拌バルブ
6. 3ソケットコネクタ攪拌バルブ
7. 3 ソケットコネクタ RIGHT-SPRAY VALVE というラベルが付いている
8. 3 ソケットコネクタ LEFT-SPRAY VALVE というラベルが付いている
9. 3ソケットコネクタAGITATION VALVE というラベルが付いている

2. 左ブームバルブ用アクチュエータの3ピンコネクタを、LEFT-SPRAY VALVE というラベルの付いた3ソケットコネクタに接続する。
3. 中央ブームバルブ用アクチュエータの3ピンコネクタを、CENTER-SPRAY VALVE というラベルの付いた3ソケットコネクタに接続する。
4. 右ブームバルブ用アクチュエータの3ピンコネクタを、RIGHT-SPRAY VALVE というラベルの付いた3ソケットコネクタに接続する。

ワイヤハーネスを昇降シリンダのマニホルドの各ソレノイドに接続する

1. 左下のソレノイドで、後方ワイヤハーネスの LEFT DOWN SOLENOID というラベルのついた2ソケットコネクタを、左降下ソレノイドの2ピンコネクタに接続する図 115。



g038056

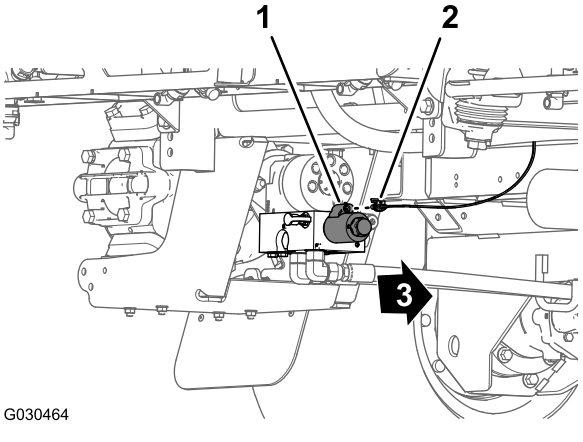
図 115

1. 2ピンコネクタ右降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド
2. 2ピンコネクタ右上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド
3. 2ピンコネクタ左上昇ソレノイド昇降シリンダマニホルド
4. 2ピンコネクタ左降下ソレノイド昇降シリンダマニホルド
5. 機体前方
6. 2ソケットコネクタRIGHT DOWN SOLENOIDメインハーネスのコネクタ
7. 2ソケットコネクタRIGHT UP SOLENOIDメインハーネスのコネクタ
8. 2ソケットコネクタLEFT UP SOLENOIDメインハーネスのコネクタ
9. 2ソケットコネクタLEFT DOWN SOLENOIDメインハーネスのコネクタ
10. 2ピンコネクタ「イネーブル」ソレノイド昇降シリンダマニホルド
11. 2ソケットコネクタENABLE SOLENOIDメインハーネスのコネクタ

2. 左上のソレノイドで、後方ワイヤハーネスのLEFT UP SOLENOIDというラベルのついた2ソケットコネクタを、左上昇ソレノイドの2ピンコネクタに接続する図 115。
3. 右上のソレノイドで、後方ワイヤハーネスのRIGHT UP SOLENOIDというラベルのついた2ソケットコネクタを、右上昇ソレノイドの2ピンコネクタに接続する図 115。
4. 右下のソレノイドで、後方ワイヤハーネスのRIGHT DOWN SOLENOIDというラベルのついた2ソケットコネクタを、右下降ソレノイドの2ピンコネクタに接続する図 115。
5. 昇降シリンダ用マニホルドの下部で、後方ワイヤハーネスのENABLE SOLENOIDというラベルのついた2ソケットコネクタを、「イネーブル」ソレノイドの2ピンコネクタに接続する図 115。

ワイヤハーネスをスプレーヤポンプと速度センサーに接続する

1. 機体後部、スプレーヤポンプの車軸側で、86cmの枝線にあると2ソケットコネクタを、ポンプのリレーの2ピンコネクタに接続する図 116。

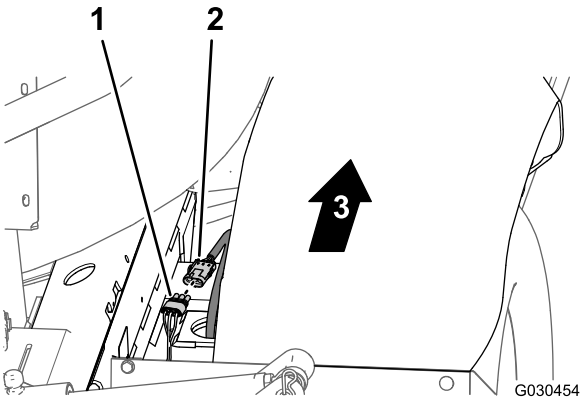


g030464

図 116

1. 2ピンコネクタポンプ用リレー
2. 2ソケットコネクタワイヤハーネスの 86cm 枝線
3. 機体前方

2. 機体後部右側フレームチューブと右側フェンダとの間で、速度センサーハーネス右側油圧走行モータにあるの3ピンコネクタを、後方ワイヤハーネスの3ソケットコネクタマーキングなしに接続する図 117。



g030454

図 117

1. 3ソケットコネクタ後方ワイヤハーネス
2. 3ピンコネクタ油圧モータのハーネス
3. 機体前方

18

後ワイヤハーネスをオプション機器に接続する

この作業に必要なパーツ

1	ジャンパハーネスオプションのスプレーガンキットまたは電動ホースリールキット

ワイヤハーネスをオプションのスプレーガンキットや電動ホースリールキットに接続する

1. 車両後部で、後方ハーネスの 4 ソケットピンコネクタ HOSE REEL というラベルが付いているのキャップを外す図 118。

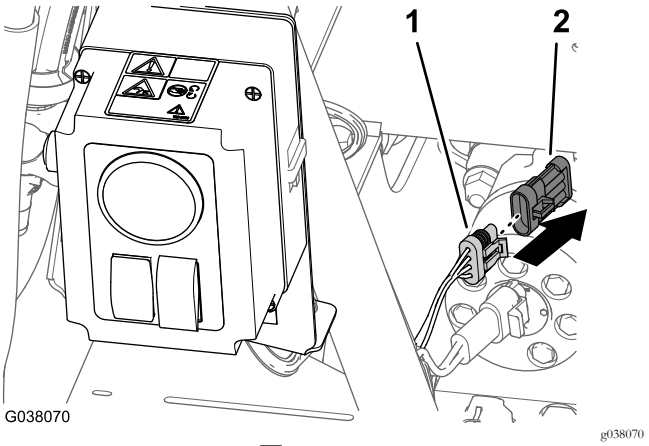


図 118

1. 4ソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルはHOSE REEL
2. キャップ

2. ジャンパハーネスの 4 ピンコネクタを、後方ハーネスの 4 ソケットコネクタ HOSE REEL というラベルに接続する図 119。

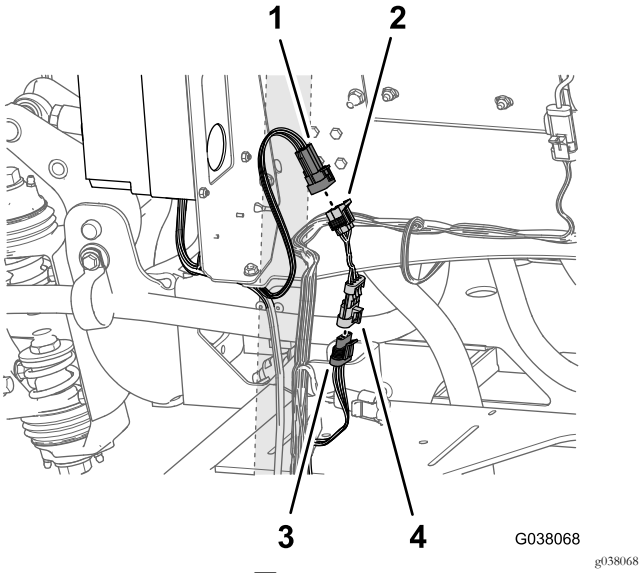


図 119

1. 6ピンコネクタラベルはRATE SWITCH INTERCONNECT (OPTIONAL SPRAY GUN)。
2. 6ソケットコネクタジャンパハーネス
3. 6ソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルはHOSE REEL
4. 4ピンコネクタジャンパハーネス

3. スプレーガンや電動ホールリールのコントロールボックスの裏側にある6品コネクタ (図 119ラベルは RATE SWITCH INTERCONNECT (OPTIONAL SPRAY GUN) を探し出す。
4. 6ピンコネクタレートスイッチインターコネクトを、ジャンパハーネスの6ソケットコネクタに接続する図 119。

注 後方ハーネスのHOSE REEL POWER というラベルの付いた2ピンコネクタは使用しません。

オプションのフォームマーカーキットにワイヤハーネスを接続する

1. ワイヤハーネスの 236cm の枝線の端部についている4ソケットコネクタ仕上げキットを、コンプレッサから来ているハーネスの4ピンコネクタに接続する図 120。

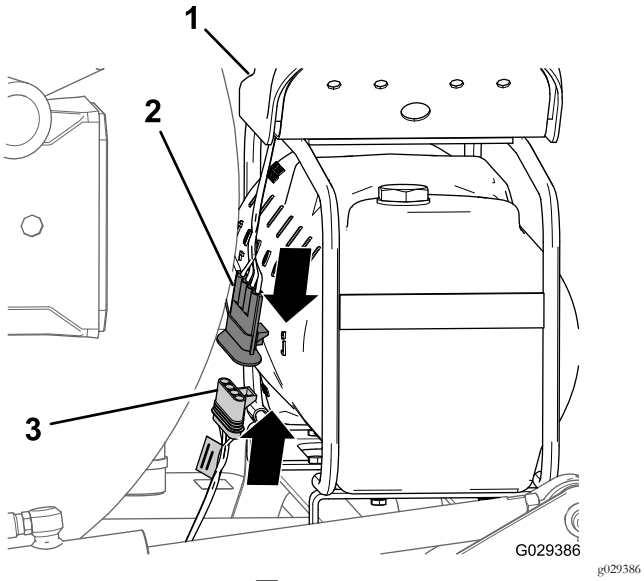


図 120

1. コンプレッサ
2. 4ピンコネクタコンプレッサのワイヤハーネス
3. 4ソケットコネクタ仕上げキットのワイヤハーネス

2. 4口コネクタに4ピンコネクタを接続する図 120。

   注 コネクタどうしが相互ロックするまで完全に押し込んでください。

オプションのすすぎキットにワイヤハーネスを接続する

1. すすぎポンプハーネスの 6 ピンコネクタを、後方ハーネスの 6 ソケットコネクタ RINSE PUMP というラベルに接続する図 121。

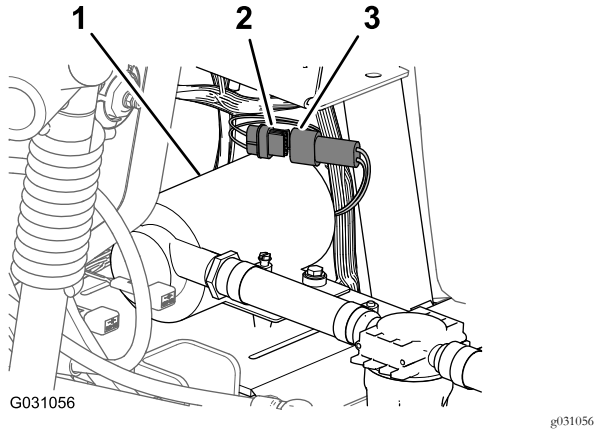


図 121

1. すすぎポンプ
2. 6ソケットコネクタ後方ワイヤハーネスラベルはRINSE PUMP
3. 6ピンコネクタすすぎポンプのハーネス

2. すすぎポンプのカバーを、すすぎポンプ用サドルプレートに合わせる図 122。

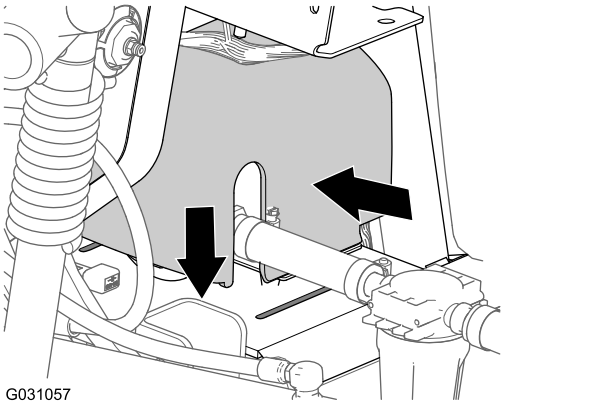


図 122

3. すすぎポンプのカバーを両側から同時に押して、カバーについているタブをサドルプレートに合わせる図 122。
4. スロットにタブを差し込み、カバーを両側から押していた力をゆるめる図 122。

オプションのプロコントロールキットにワイヤハーネスを接続する

76cm の枝線のフローメータ用の3ソケットコネクタラベルなしを、フローメータ用ハーネスの3ピンコネクタに接続する図 123。

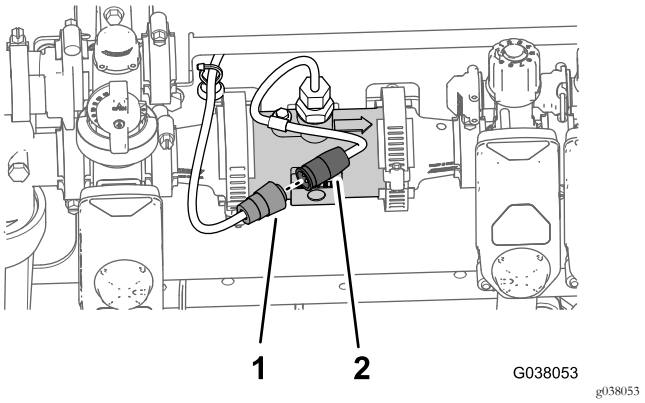


図 123

1. 3ソケットコネクタ後方ワイヤハーネス76cm 枝線
2. 3ピンコネクタFlow Meter

19

ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブを接続する

必要なパーツはありません。

ダッシュボードのゲージ用の水圧検知チューブを接続するオプションのホースリールキットを搭載していない車両

1. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブ樹脂チューブの口を、チューブカップラのロッキングカラーに合わせる図 124。

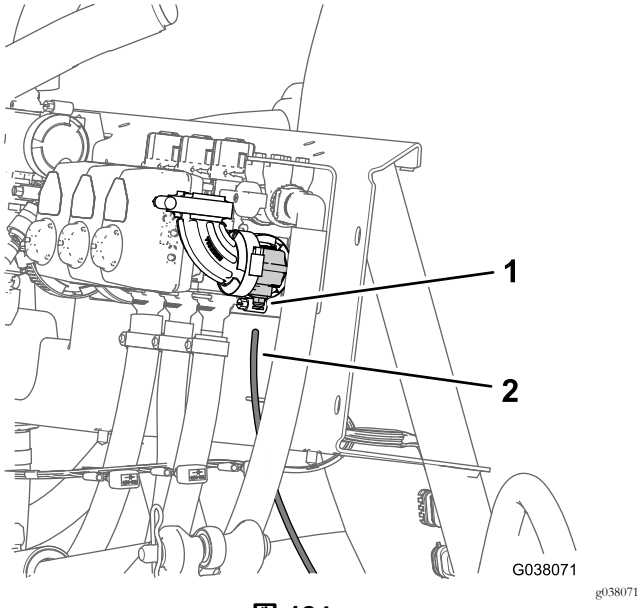


図 124

1. ロッキングカラーチューブカップラ
2. 水圧検知チューブ (ダッシュボードの水圧計用)

2. 検知チューブをロッキングカラーに挿入して一番奥まで押し込む図 124。

水圧検知チューブを接続するオプションのスプレーガンキットまたは電動ホースリールキットを搭載している車両

1. ダッシュボードの水圧計用の水圧検知チューブ樹脂チューブの口を、T字フィッティングのチューブカップラ用ロッキングカラーに合わせる図 125。

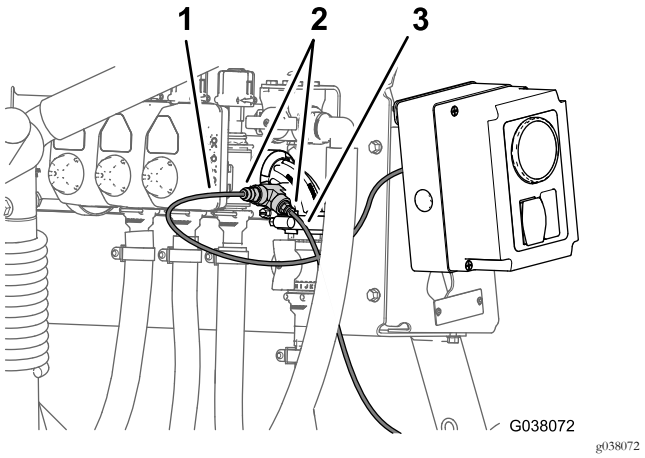


図 125
オプションのスプレーガンキット

1. 水圧検知チューブスプレーガンまたはホースリールの水圧計用
2. 水圧検知チューブダッシュボードの水圧計用
3. チューブカップラT字フィッティング

2. 検知チューブをロッキングカラーに挿入して一番奥まで押し込む図 125。
3. スプレーガンキットまたは電動ホースリールキット用のコントロールボックスの水圧計用の水圧検知チューブ樹脂チューブの口を、T字フィッティングのチューブカップラ用ロッキングカラーに合わせる図 125。
4. 検知チューブをロッキングカラーに挿入して一番奥まで押し込む図 125。

20

Arag から KZ バルブへのコンバージョンキットの取り付けの最終作業を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 座席を押さえていたロッドを外して座席をもとに戻す。
2. バッテリーのプラス赤ケーブルをバッテリーの端子に、マイナス黒ケーブルをバッテリーの端子に取り付け、ボルトと蝶ナットで固定する図 4 バッテリーの接続を外す (ページ 6)を参照。
3. 両方の端子に絶縁ゴムカバーを取り付ける図 4 バッテリーの接続を外す (ページ 6)を参照。

4. バッテリーカバーを取り付け、ストラップで固定する図 3 バッテリーの接続を外す (ページ 6)を参照。

製品の概要

各部の名称と操作

撹拌スイッチ

運転席右側、センターコンソールにあります車両の*オペレーターズマニュアル*を参照。前に倒すと撹拌を開始し、後ろに倒すと停止します。ONの時にはそのスイッチのランプが点灯します。撹拌を行うには、エンジンがアイドリングよりも高速で回転しており、スプレーヤのポンプがONである必要があります。タンク後部に撹拌バルブがついています図 126。

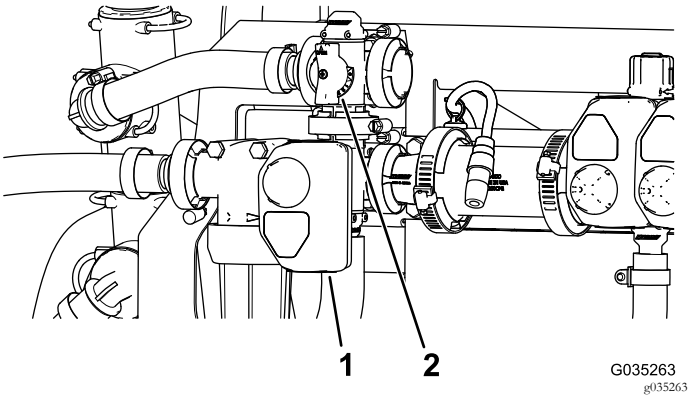


図 126

1. アクチュエータ撹拌バルブ
2. 撹拌バイパスバルブのハンドル

撹拌バイパスバルブ

撹拌を停止したときにスプレーヤのポンプに液剤を送り返すためのバルブです図 126。撹拌バルブの上方にあります。このバルブを調整することにより、撹拌をONにしてもOFFにしても水圧が変化しないようにすることができます 運転操作」の章の「撹拌バイパスバルブの基本設定 (ページ 53)を参照。

撹拌スロットルバルブ

撹拌スロットルバルブは手動式のボールバルブで、メインタンク内の撹拌ノズルへのフローをコントロールします。大きな散布量投下水量で散布したい場合に、撹拌ノズルを調整してスプレーヤの散布圧を上げることができます。このバルブはポンプ上方にあります図 127。

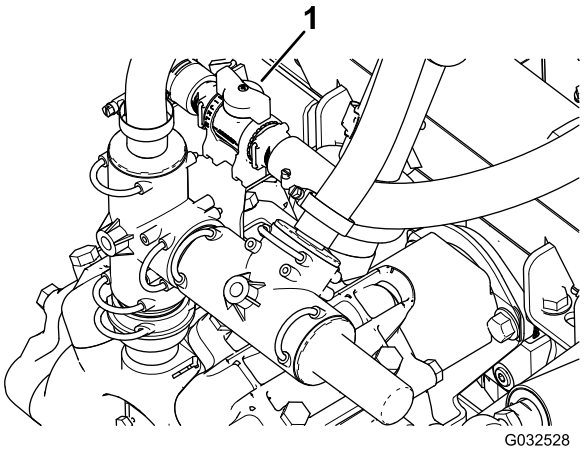


図 127

1. 攪拌スロットルバルブのハンドル

個別ブームバルブ

個別ブーム 3 本へのフローを個別に調整するバルブで、ON/OFF可能です図 128。

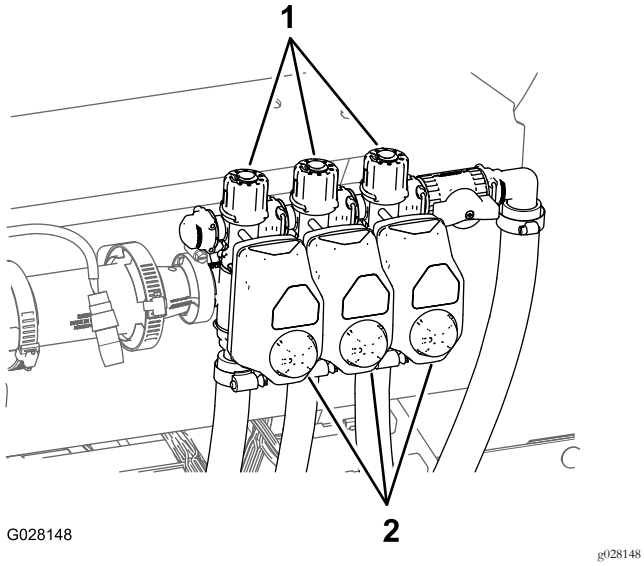


図 128

1. ノブ個別ブームバイパスバルブ
2. アクチュエータ個別ブームバルブ

個別ブームバイパスバルブ

手動モードの時のみ

ブームの一部が OFF になったときに余剰となる液剤をタンクに逃がすためのバルブです。このバルブを調整して、どのブームを ON にしても水圧が変化しないようにすることができます。

運転操作

個別ブームバイパスバルブの設定

手動モードの時のみ

重要 自動モードで使用する時は、個別ブームバイパスシャットオフバルブを閉じておきます。

スプレーヤを初めて使用する前や、ノズルを交換したときなどには、スプレーヤの流量、速度、ブームバイパスの調整キャリブレーションを行う必要があり、手動モードで使用する場合には個別ブームバイパスの設定を行う必要があります*オペレーターズマニュアルの「キャリブレーション」*を参照。

注 ノズルを変更した時には必ずこの個別ブームバルブの調整を行う必要がありますただし手動モードで使用する場合のみです。

この作業は平坦な広い場所で行ってください。

1. 液剤タンクに水を半分まで入れる。
2. ブームを下降させる。
3. 駐車ブレーキを掛ける。
4. 散布制御スイッチを手動にセットする。
5. ブームスイッチを3つともONにセットするが、マスターブームスイッチはOFFの状態にする。
6. ポンプスイッチを ON にして攪拌を開始させる。
7. エンジンを全開にする。
8. レート調整スイッチを使って、散布率水圧を2.75bar2.8kg/cm2 = 40psiにする。
9. 左ブームをOFF にし、ブームバイパスノブ 図 129 を使って、先ほどと同じ水圧に調整する。

   注 バイパスのノブについている目盛りや針は単なる目安のためのものです。

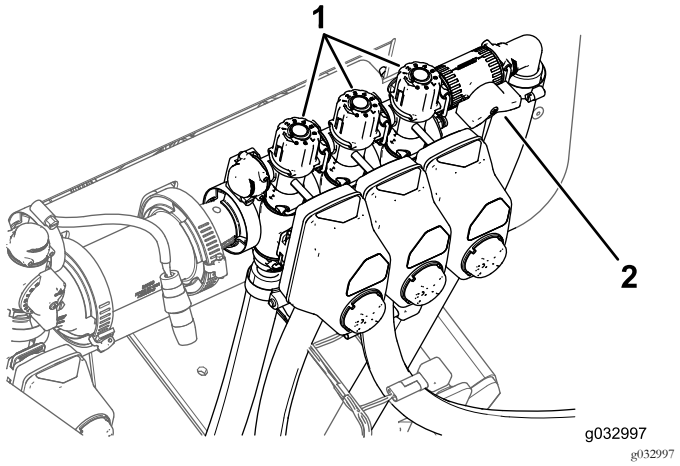


図 129

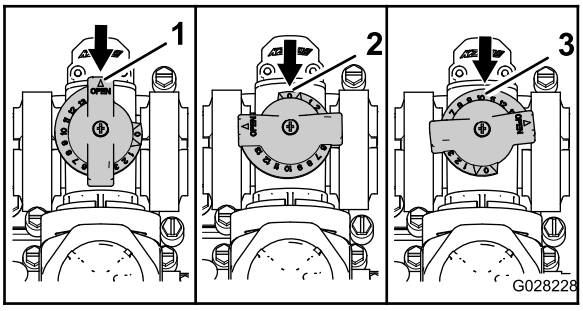
1. 個別ブームバイパス調整ノブ
2. 個別ブームバイパスシャットオフバルブ

10. 左ブームをON にし、右ブームをOFF にする。

11. 右ブームのブームバイパスノブ 図 129 を使って、先ほどと同じ水圧に調整する。
12. 右ブームをON にし、中央ブームをOFF にする。
13. 中央ブームのブームバイパスノブ 図 129 を使って、先ほどと同じ水圧に調整する。
14. 全部のブームをOFFにする。
15. ポンプを停止させる。

攪拌バイパスバルブのノブの位置

- 攪拌バイパスバルブが全開位置: 図 130。
- 攪拌バイパスバルブが閉(0) 位置:図 130。
- 攪拌バイパスバルブが中間位置システム水圧に合わせて調整された状態: 図 130。



g028228

図 130

1. 開
2. 閉 0
3. 中間位置

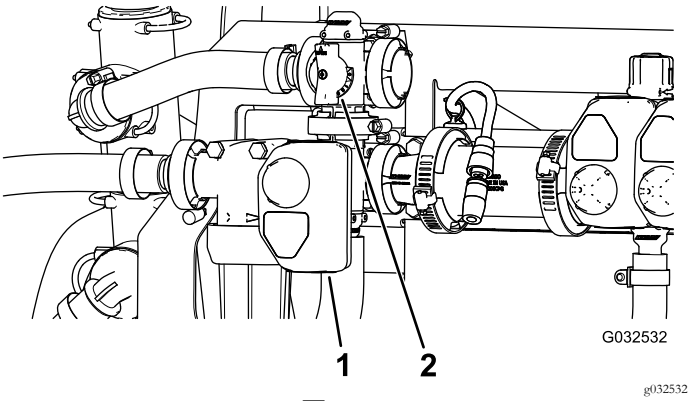
運転操作」の章の「攪拌バイパスバルブの基本設定

整備間隔: 1年ごと—攪拌バイパスバルブの基本設定

重要 ベース散布システムを搭載している場合には、電源を OFF にしてください。

1. この作業は平坦な広い場所で行う。
2. 液剤タンクに水を半分まで入れる。
3. 攪拌コントロールバルブが開いていることを確認する。

   注 何らかの調整が行われて全開になっていない場合には、ここで全開にする。
4. 駐車ブレーキを掛け、エンジンを始動させる。
5. ポンプスイッチと攪拌スイッチを ON 位置にする。
6. スロットルレバーをFAST位置にセットする。
7. マスターブームスイッチを OFF にする。
8. レート調整スイッチを使って、水圧を調整して 6.89bar7kg/cm2 = 100psiにする。
9. 攪拌スイッチを OFF にして水圧計の読みを見る。
   - 水圧計の読みが 6.89bar7kg/cm2 = 100psiであれば、攪拌バルブの基本設定は適切である。
   - 水圧計の読みが変化している場合は以下の設定手順を行う。
10. 攪拌バルブの背面についている攪拌バイパスバルブ図 131を使って、水圧計の読みシステム水圧が 6.89bar7 kg/cm2 = 100 psiになるように調整する。



g032532

図 131

1. アクチュエータ 攪拌バルブ　2. 攪拌バイパスバルブ

11. ポンプスイッチを OFF 位置に戻す。
12. スロットルレバーをアイドル位置に戻し、始動キーを OFF にする。

保守

圧力フィルタの交換 設定画面

整備間隔: 400運転時間ごと—圧力フィルタスクリーンを交換する。

注 オプションとして、圧力フィルタスクリーンがあります。代理店にてお買い求めいただけます。

1. 平らな場所に車両を移動し、スプレーヤポンプとエンジンを停止し、駐車ブレーキを掛け、キーを抜き取る。
2. 圧力フィルタの下に受け容器をおく図 132。

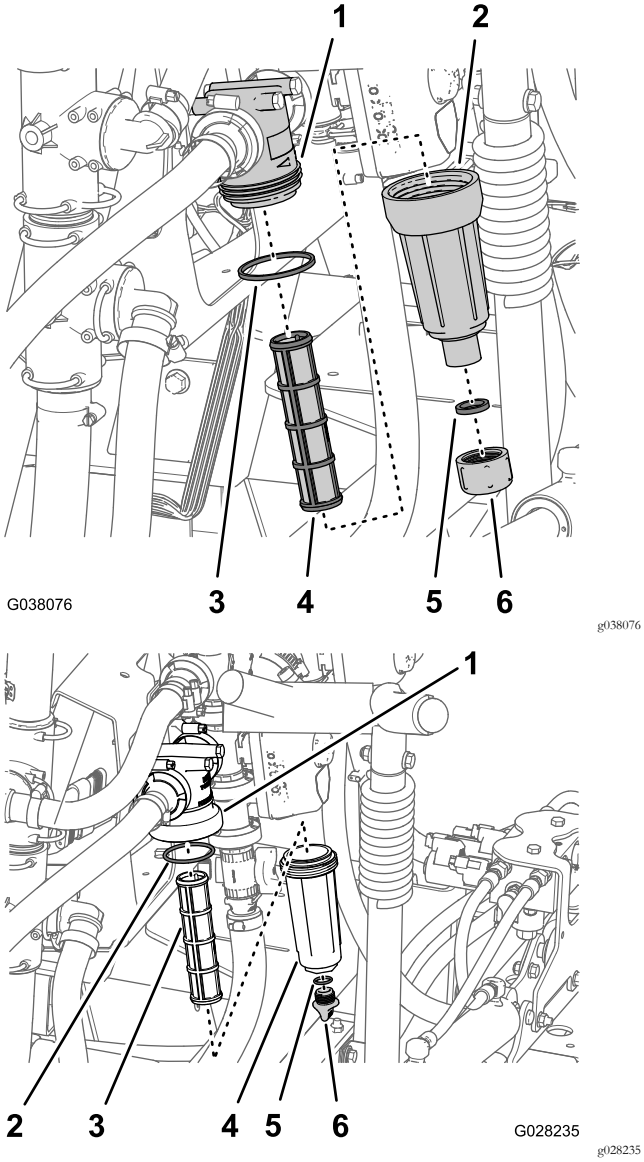


図 132

1. フィルタのヘッド
2. Oリングボウル
3. フィルタのエレメント
4. ボウル
5. Oリングドレンキャップ
6. ドレンキャップ

3. 圧力フィルタのボウルについているドレンキャップを左に回して外す図 132。

   注 ボウルから液が完全に抜けるのを待つ。
4. ボウルを左に回してフィルタヘッドから外す図 132。
5. 古い圧力フィルタエレメントを外す図 132。

   注 外した古いフィルタは廃棄する。
6. ドレンキャップのOリングボウルのねじ溝付きフィッティングとボウルのOリングに傷や破損がないか点検する図 132。

   注 プラグ用もボウル用も、磨耗したり破損したりしているOリングは交換してください。
7. 新しい圧力フィルタエレメントをフィルタヘッドに取り付ける図 132。

   注 フィルタエレメントがヘッドに密着していることを確認してください。
8. フィルタヘッドにボウルを取り付けて手締めする図 132。
9. ボウルにキャップを取り付けて手締めする図 132。

攪拌バルブと個別ブームバルブの清掃

- 攪拌バルブの洗浄については以下の項を参照のこと
  1. バルブアクチュエータの取り外し (ページ 54)
  2. 攪拌マニホルドバルブの取り外し (ページ 55)
  3. マニホルドバルブの洗浄 (ページ 57)
  4. マニホルドバルブの組み立て (ページ 59)
  5. 攪拌マニホルドバルブの取り付け (ページ 59)
  6. バルブアクチュエータの取り付け (ページ 60)
- 個別ブームバルブ3個の洗浄については以下の項を参照のこと
  1. バルブアクチュエータの取り付け (ページ 60)
  2. ブームバルブマニホルドを取り外す (ページ 56)
  3. マニホルドバルブの洗浄 (ページ 57)
  4. マニホルドバルブの組み立て (ページ 59)
  5. 個別ブームマニホルドバルブの取り付け (ページ 60)
  6. バルブアクチュエータの取り付け (ページ 60)

バルブアクチュエータの取り外し

1. 平らな場所に駐車し、駐車ブレーキを掛け、ポンプとエンジンを停止し、キーを抜き取る。

2. スプレーヤ用ハーネスの3口コネクタから、バルブアクチュエータ用の3ピンコネクタを外す。
3. アクチュエータを散布量制御用、撹拌、マスターブーム、または個別ブームバルブ用のマニホルドバルブに固定しているリテーナを外す 図 133。

   注 リテーナの2本の足を寄せながら下へ押すと外れます。

   注 アクチュアクチュエータとリテーナは バルブアクチュエータの取り付け (ページ 60)で再取り付けするので廃棄しないでください。

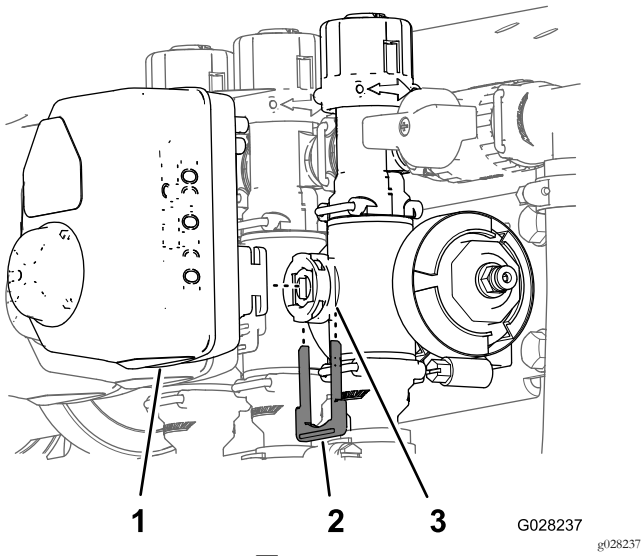


図 133
図は個別ブームバルブのアクチュエータ撹拌バルブのアクチュエータもほぼ同様

1. バルブアクチュエータ 図は個別ブームバルブ
2. リテーナ
3. ステムポート

4. マニホルドバルブからアクチュエータを取り外す。

撹拌マニホルドバルブの取り外し

1. 撹拌バルブのマニホルドを撹拌バイパスバルブ、圧力フィルタヘッド、リヂューサカップリング、アダプタフィッティング撹拌スロットルバルブに固定しているクランプとガスケットを外す図 134。

   注 クランプ、ガスケット、クイックコネクト、クイックコネクトピンは 撹拌マニホルドバルブの取り付け (ページ 59)で使用します。

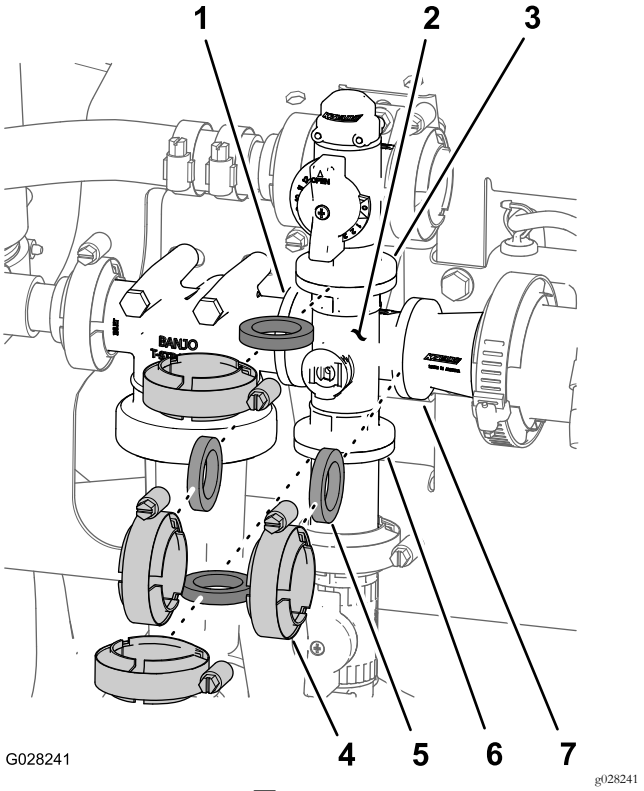


図 134
撹拌バルブ

1. フランジ圧力フィルタのヘッド
2. マニホルド撹拌バルブ
3. フランジ撹拌バイパスバルブ
4. フランジクランプ
5. ガスケット
6. フランジ撹拌スロットルバルブのアダプタフィッティング
7. フランジリデューサカップリング

2. 機体から撹拌バルブマニホルドを取り外す図 135。

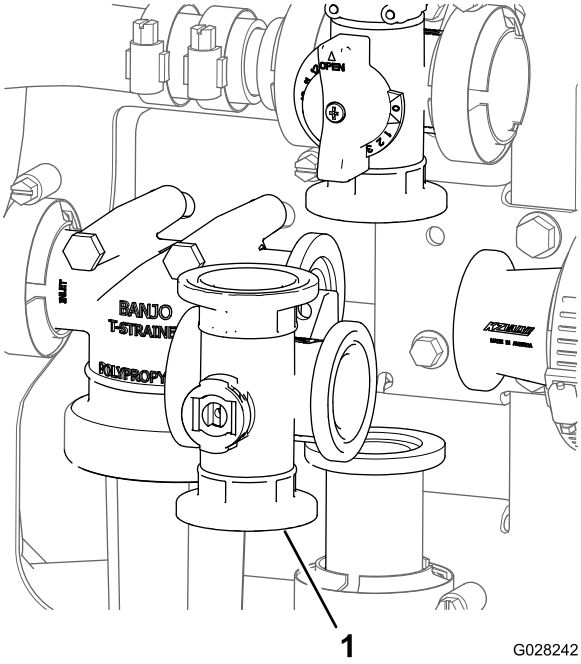


図 135

1. 攪拌バルブマニホルド

ブームバルブマニホルドを取り外す

1. 個別ブームバルブ 図 136 のマニホルドを隣接する個別ブームバルブ左ブームの場合はリデューサカップリングに固定しているクランプとガスケットを外す。

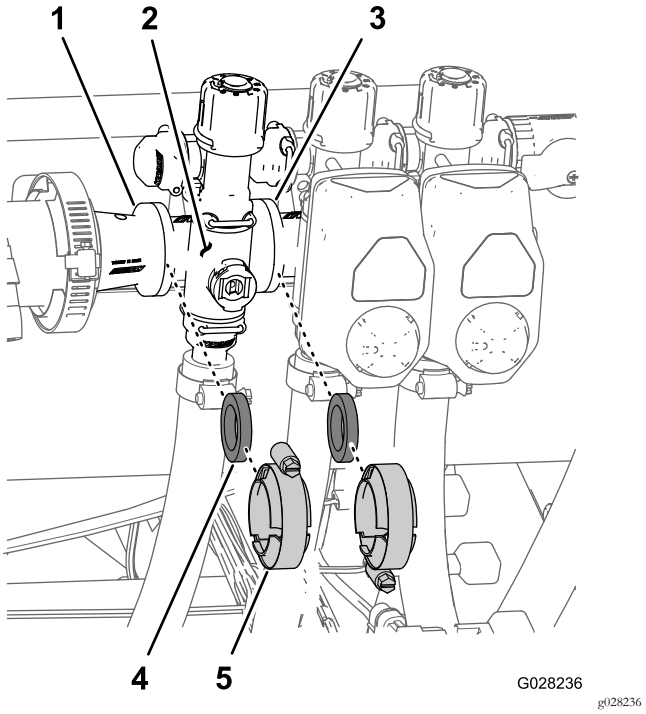


図 136

1. フランジリデューサカップリング
2. マニホルド個別ブームバルブ
3. フランジ隣接する個別ブームバルブ
4. ガスケット
5. フランジクランプ

2. 個別ブームバルブのマニホルドをバイパスフィッティングに固定しているリテーナを外す図 137 。

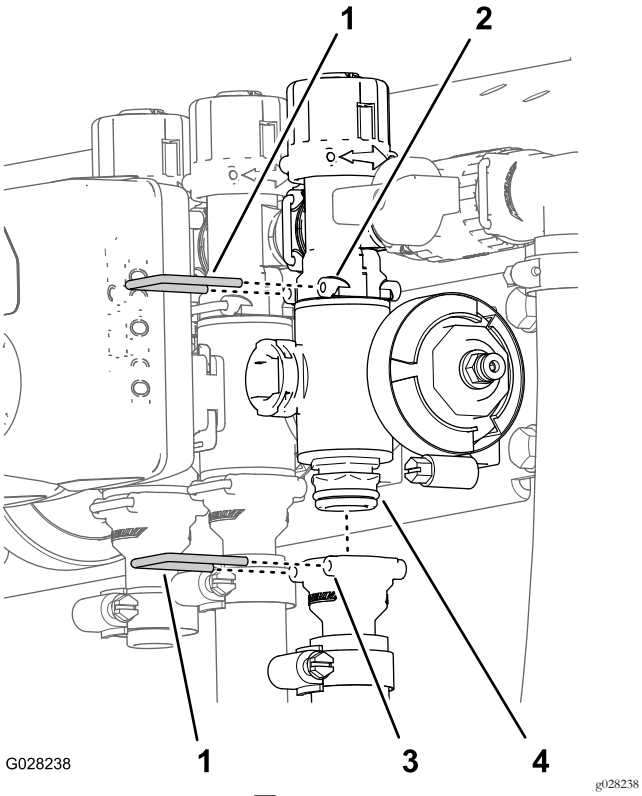


図 137

1. リテーナ
2. ソケットバイパスフィッティング
3. マニホルドバルブアセンブリ
4. ソケット出口フィッティング

3. 機体から個別ブームマニホルドを取り外す図 138。

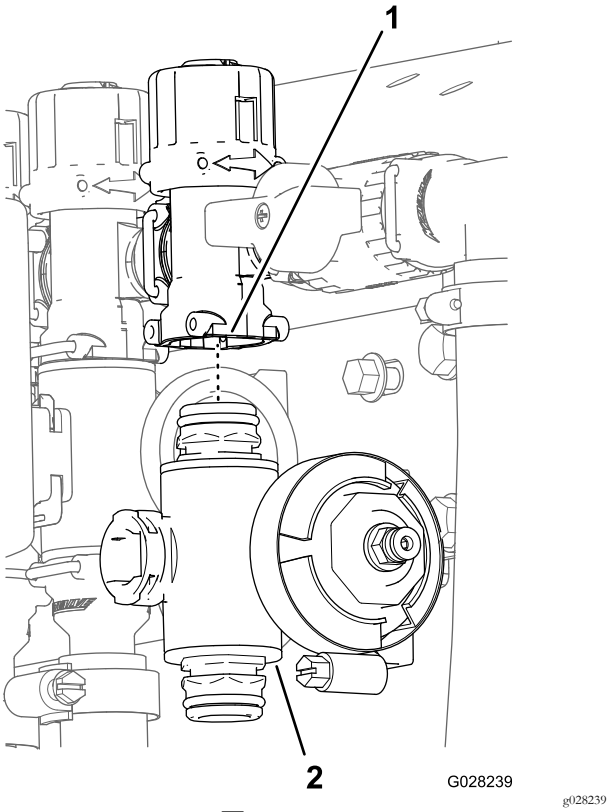


図 138

1. バイパスフィッティング
2. 個別ブームバルブマニホルド

マニホルドバルブの洗浄

1. バルブのステムを閉にセットする図 139。

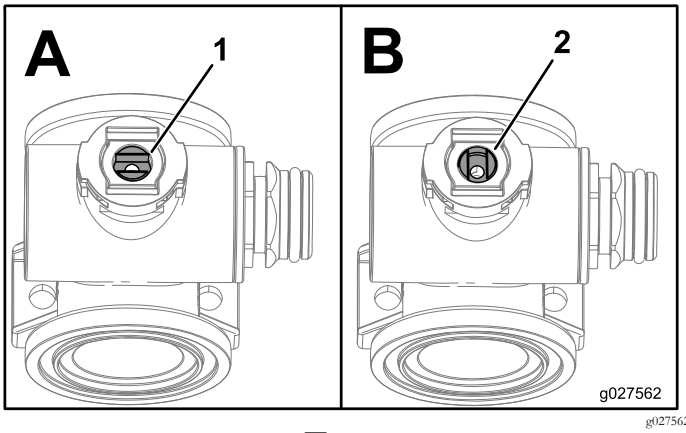


図 139

1. バルブ開
2. バルブ閉じる

2. マニホルドのボディ両端部にあるエンドキャップフィッティングアセンブリ2個を取り外す図 140 と 図 141。

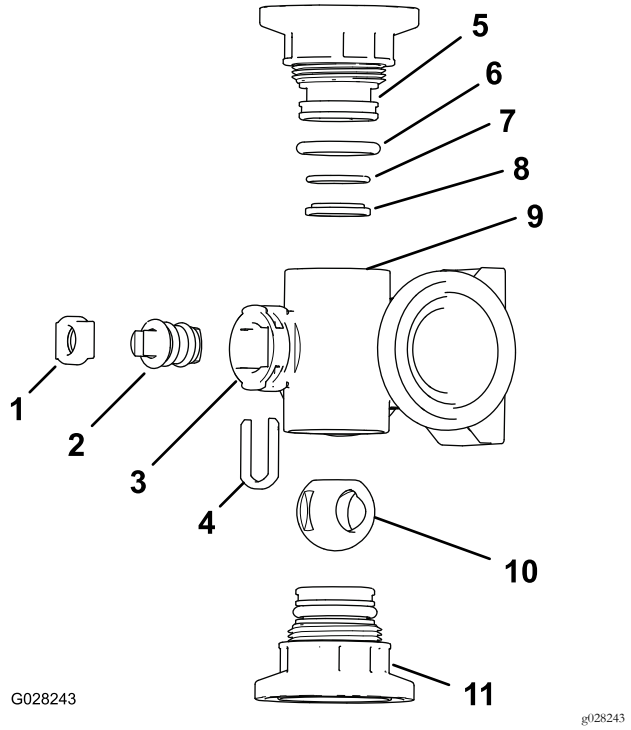


図 140

攪拌バルブのマニホルド

1. ステムのリテーナ
2. バルブステム
3. ステムポート
4. ステムのリテーナ
5. エンドキャップフィッティング
6. エンドキャップのシールのOリング20.2mm / 3.5mm
7. バックシートの Oリング 17.2mm / 1.8mm 0.676 インチ / 0.07 インチ)
8. バルブシートのリング
9. マニホルドボディ
10. ボールバルブ
11. クイックコネクト

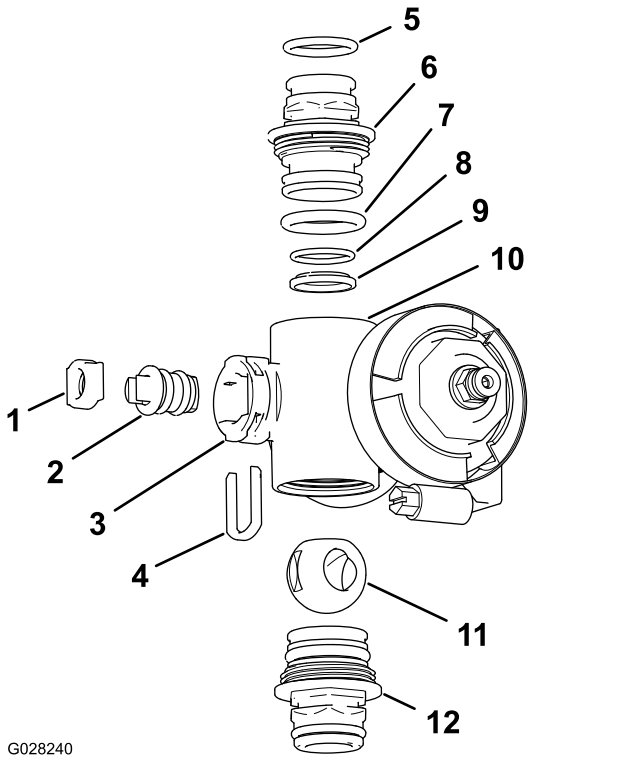


図 141

個別ブームバルブマニホルド

1. バルブステムのシート
2. バルブステムアセンブリ
3. ステムポート
4. ステムのリテーナ
5. 出口フィッティングの Oリング18.7mm/ 2.6mm 0.737 インチ / 0.103 インチ
6. エンドキャップフィッティング
7. エンドキャップの Oリング 20.2mm / 3.5mm 0.796 インチ / 0.139 インチ
8. バックシートの Oリング 17.2mm / 1.8mm 0.676 インチ / 0.07 インチ
9. ボールシート
10. マニホルドボディ
11. ボールバルブ
12. エンドキャップフィッティングアセンブリ

3. ボールの位置が開になるようにバルブのステムをセットする 図 139。

   注 ステムが流れ方向と平行になり、ボールが出てきます。

4. マニホルド内部のステムポートのスロットからステムリテーナを取り外す 図 140 と 図 141。
5. マニホルドからステムリテーナとバルブシートを取り外す図 140 と 図 141。
6. マニホルドボディの中に手を入れてバルブステムアセンブリを取り出す 図 140 と 図 141。
7. マニホルド内部とボールバルブの外側、バルブステムアセンブリ、ステムキャプチャ、およびエンドフィッティングをきれいに洗浄する。

マニホルドバルブの組み立て

1. 出口フィッティングのOリング個別ブームバルブマニホルドのみ、エンドキャップのOリング、バックシートのOリング、ボールシートそれぞれに傷や過度の摩耗がないか点検する図 140 と 図 141。

   注 磨耗したり破損したりしているOリングやシートは交換してください。

2. バルブのステムにグリスを塗り、ステムをバルブステムシートに取り付ける図 140 と 図 141。

3. バルブステムとシートをマニホルドに取り付けてステムリテーナで固定する 図 140 と 図 141。

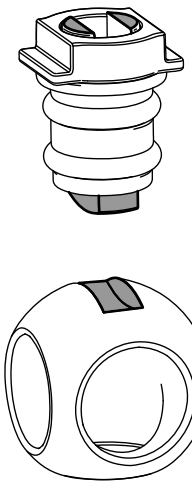
4. バックシートのOリングとボールシートが相互に整列しており、エンドキャップのフィッティングに適切に収まっていることを確認する図 140 と 図 141。

5. エンドキャップフィッティングアセンブリをマニホルドボディに取り付け、エンドキャップフィッティングのフランジがマニホルドのボディに接触したら図 140と図 141、その位置からさらにバルブを 1/81/4 回転締め付ける。

   注 フィッティングの端部を破損しないように注意してください。

6. バルブボディーにボールを入れる図 142。

   注 バルブのステムはボール駆動スロットに収まります。収まらない場合は、ボールの位置を調節してください 図 142。



g027565

図 142

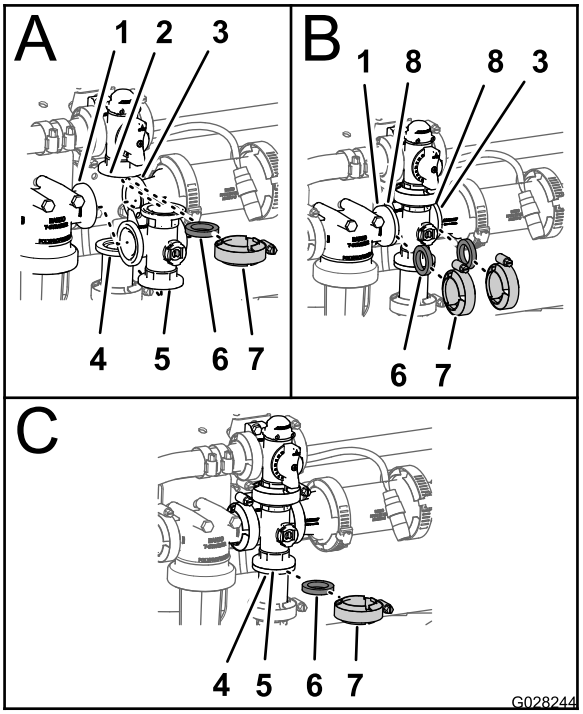
7. バルブステムアセンブリを「閉」にセットする図 139。

8. もう一つのエンドキャップフィッティングアセンブリについても、上記のステップ 4 と 5 を行う。

撹拌マニホルドバルブの取り付け

1. 撹拌バイパスバルブのフランジ、ガスケット1枚、撹拌バルブマニホルドのエンドキャップフィッティングのフランジを整列させる図 143。

   注 必要に応じ、圧力フィルタのヘッドの取り付け部をゆるめて隙間を作ってください。



g028244

図 143

1. フランジ圧力フィルタのヘッド
2. フランジ撹拌バイパスバルブ
3. フランジリデューサカップリング
4. フランジクランプ
5. ガスケット
6. クイックコネクト
7. マニホルド 撹拌バルブ
8. フランジ撹拌バルブのマニホルド

2. 撹拌バイパスバルブ、ガスケット、撹拌バルブマニホルドを組み立てて、クランプを手締めする 図 143。

3. 圧力フィルタヘッドのフランジと撹拌バルブマニホルドのフランジの間にあるガスケットを整列させる図 143。

4. 圧力フィルタヘッド、ガスケット、撹拌バルブマニホルドを組み立てて、クランプを手締めする 図 143。

5. 撹拌バルブマニホルドのフランジと縮径カップリングのフランジとの間にあるガスケットを整列させる図 143。

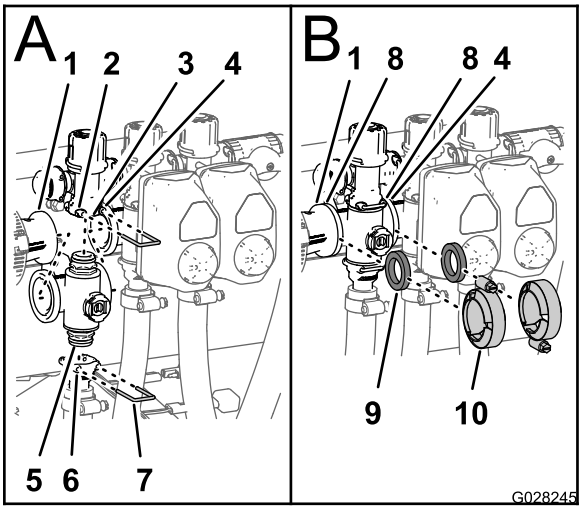
6. 撹拌バルブマニホルド、ガスケット、リデューサカップリングを組み立ててクランプを手締めする 図 143。

7. 攪拌バルブマニホルドのフランジとアダプタフィッティングのフランジとの間にガスケットを整列させる 図 143。
8. 攪拌バルブマニホルド、ガスケット、アダプタフィッティングを組み立ててクランプを手締めする 図 143。
9. 圧力フィルタのヘッドの固定をゆるめた場合には、そのボルトとナットを 19782542N·cm 2.02.6kg.m = 175225in-lbにトルク締めする。

個別ブームマニホルドバルブの取り付け

1. マニホルドバルブの上側エンドキャップフィッティングをバイパスフィッティングに取り付ける 図 144。

   注 必要に応じ、バイパスバルブの取り付け部をゆるめて隙間を作ってください。



g028245

図 144

1. フランジ縮径カップリング
2. ソケットバイパスフィッティング
3. バイパス・バルブ
4. フランジ攪拌バルブに隣接するマニホルド
5. エンドキャップフィッティングマニホルドバルブアセンブリ
6. ソケット出口フィッティング
7. リテーナ
8. フランジマニホルド — 個別ブームバルブ
9. ガスケット
10. フランジクランプ

2. エンドキャップフィッティングをバイパスフィッティングに取り付けるバイパスフィッティングにリテーナを差し込んで固定する: 図 144。
3. 出口フィッティングを、マニホルドバルブの下側エンドキャップフィッティングに取り付ける 図 144。
4. エンドキャップフィッティングを出口フィッティングに取り付ける (出口フィッティングのソケットにリテーナを差し込んで固定する 図 144。
5. 縮径カップリングのフランジと個別ブームバルブマニホルドのにガスケットを入れる 図 144。
6. リデューサカップリング、ガスケット、個別ブームバルブマニホルドを組み立ててクランプを手締めする 図 144。
7. 一番左側のつの個別ブームバルブを取り付ける場合には、両隣のつの個別ブームバルブのフランジとの間にガスケットを入れる 図 144。
8. 各個別ブームバルブ、その両隣の2つの個別ブームバルブのマニホルド、ガスケットを組み立ててクランプを手締めする 図 144。
9. バイパスバルブの固定をゆるめた場合には、そのボルトとナットを 10172543N·cm1.01.3kg.m = 90110in-lbにトルク締めする。

バルブアクチュエータの取り付け

1. アクチュエータをマニホルドバルブに合わせる。
2. アクチュエータとバルブを固定するステップ 3 バルブアクチュエータの取り外し (ページ 54) で外したものを使用する。

保管

短期・長期にわたる格納保管には、以下の整備を行ってください。

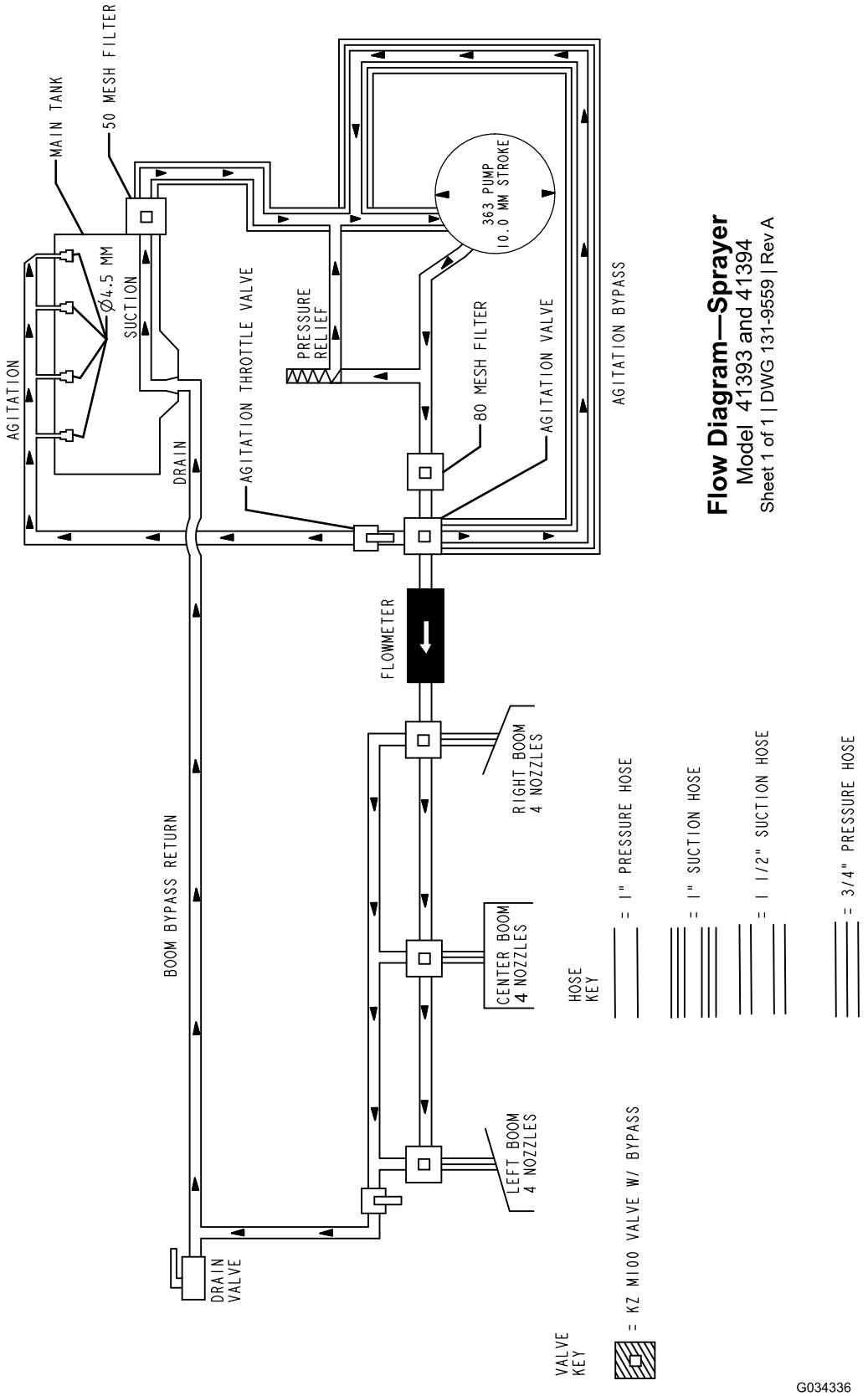
- **短期の格納保管**30 日以内には、スプレーシステムの洗浄を行う; *オペレーターズマニュアル* を参照。
- **長期の格納保管**30 日以上には、攪拌バルブおよび個別ブームバルブ3個の洗浄を行う 攪拌バルブと個別ブームバルブの清掃 (ページ 54)を参照。

故障探究

散布システムの故障探究

問題	考えられる原因	対策
ブームから散布しない。	1. ブームバルブの配線不良。 2. ヒューズがない飛んでいる。 3. ホースが何かにはさまれている。 4. ブームバイパスバルブの調整不良。 5. 個別ブームバルブの破損。 6. 電気系統が故障している。	1. バルブを手動でOFFに戻す。コネクタを外して接点部の点検と清掃をする。 2. ヒューズを点検し、必要に応じて交換する。 3. ホースを修正または交換する。 4. 正しく調整する。 5. 代理店に連絡する。 6. 代理店に連絡する。
散布がとまらない。	1. バルブの破損。	1. 個別ブームバルブを分解点検する;「洗浄」の章を参照。全部の部品を点検し不良品を交換する。
ブームバルブから液洩れする。	1. Oリングの劣化。	1. バルブを分解してシールを交換するバルブ修理キットを代理店から入手する。
ブームを ON にすると水圧が下がる。	1. ブームバイパスバルブの調整不良。 2. ブームバルブ内部に異物。 3. ノズルフィルタが詰まっている。	1. 正しく調整する。 2. バルブ前後の接続を外して異物を取り除く。 3. 全部のノズルを外して点検する。
ブームアクチュエータが正しく作動しない。	1. アクチュエータ作動回路に取り付けられているサーマルブレーカヒューズブロックにあるが高温で作動した。 2. アクチュエータの故障、または作動回路に取り付けられているサーマルブレーカヒューズブロックにあるが作動した。	1. 温度が下がるまで待つ。ブレーカが何度も作動する場合には代理店に連絡する。 2. 代理店に連絡する。

図面



散布系統配管図 131-9559 (Rev. A)



Count on it.